滿洲日報
二月二日發行
(昭和八年十二月二十五日第三種郵便物認可)
大連市東公園町三十一番地 滿洲日報社

海軍比率問題に關し 日米間に豫備的協定 米國務省が締結を希望

【東京特電二日發】ワシントン一日發電によれば、一九三五年の軍縮會議においてアメリカが五・五・三の比率を固執せんとするに對し、日本は議會における大角海相の聲明等よりして均等要求乃至は比率撤回を要求することは明瞭で、現在のまゝ推移せば會議は必ず暗礁に乗上ぐべく、會議決裂せば日米關係はとみに惡化すべしとの觀測より、アメリカ國務省においては會議に先立ち日米間に豫備的協定を遂げんとする意見有力となり、近く何等かの形式で日本政府に豫備交渉の意なきかを問ふものとみられてゐる

【ニユーヨーク一日發國通】米國海軍委員會は近く開會される海軍會議で現行比率の變更を標榜する日本と、從來の五、五、三の比率維持を主張する英米兩國の對立を續つて早くも非常な昂奮を豫想されてゐるが、ニユーヨークタイムスワシントン特派員の報道によれば米國々務省當局では來年の海軍會議で起るかも知れないといはれてゐる會議の停頓を豫かじめ避ける目的を以つてこゝ數ケ月以内に日本と海軍會議を開催する可能性を考慮中であると

我海軍當局の意向

【東京二日發國通】米國々務省では一九三五年の軍縮會議の破綻を防ぐため、數ケ月以内に日米豫備會商開催を考慮してゐると傳へられるが、我海軍當局は左の意向の模樣である

一、米國側で暗に傳へる所によると、日本が招請の意思を提示するやう期待してゐるが、日本としては積極的に提案準備なし、アメリカ側で我主張を諒解の上招請する場合參加の用意ぜん

一、九ケ國條約參加國全部を招請せば會議混亂せん

なほ外務當局は公電未着で意見は述べられぬが、海軍側と協議の上愼重考慮する、問題の性質上海軍側の意見を尊重すると語つた

貴族院の反政府空氣 政府最初から手段を盡さず 最早如何ともし難し

【東京特電二日發】議會の現狀は、衆議院はなほ豫算總會で問答を續け、貴族院はいまなほ國務大臣の演說に對する質疑を行つてゐるが、衆議院は今後農村對策を急速に實行要望することに主力を傾けるに對し、貴族院は例の綱紀問題を中心に現内閣の施設の根本に向つて假借なき解剖のメスを揮ひ、その結果内閣自體の運命に影響を及ぼすも已むを得ずとする空氣が頗る濃厚である、元來貴族院に對する操縦策は歴代内閣の最も苦心するところであるが、現政府は最初から何らの手段を盡さず、殊に貴族院各派は近來會派としての統制に意を用ひず各自の自由行動に任せてゐる傾きがあるので、院内に濃厚となれる政府不信任の空氣は最早如何ともし難いであらう、要するに議會の中心は早くも貴族院に移つた觀がある

交換の公正會席上「齋藤内閣は五・一五事件後の人心安定と政界淨化のために生れ、政策について は期待しなかつたが、政界淨化の上に存在理由がありとされたのに國防第一主義を標榜しながら國家施設燃料對策完全ならず、農村問題にも冷淡であり、一枚看板の政界淨化さへ綱紀問題で非難される樣では存在意義なし」と反政府的意見有力に出たが從來政府に好感を持つて來た公正會の立場は貴院各派に影響ありと重視されてゐる

公正會の反政府傾向 成行重視さる

米の專賣が適當 藏相の米價對策意見

【東京二日發國通】一日政友會の交渉委員が政府側と會見、農村經濟について政府側に好意的警告を爲したる際、米價對策につき高橋藏相は鮮米の統制を行ふならば此際は微温的なものとせず專賣案を採用すべきであると述べたことは政府の米價對策の指針を示すものであるとして各方面から注目されてゐる

滿洲事變費 大藏省調査發表

【東京二日發國通】大藏省は一日九年度滿洲事件費豫算額を發表した、その總額は一億六千三百六十五萬八千圓で各省別左の通り(單位千圓)

省	金額
外務省	三、八五三
大藏省	一〇、〇〇〇
陸軍省	一三三、八三四
海軍省	一一、六三七

議會スケッチ

衆議院傍聽の婦人

北支の政情 日支關係の好轉 紐育タイムス特派員の報道

本文はニユーヨーク・タイムス紙の記者にして事變勃發以來昨年七月迄滿洲に特派されありしA・T・ステイール氏が北平轉任後發信しある情報の一にして最近の北支政情を傳へたるものである(一九三三年十二月三日附同紙掲載)

最近に至つて日支關係には大なる進展を見た、南京政府は滿洲及びそれと關聯せる問題の解決の爲に日本と正式外交交渉に入り一般の不興を買ふ如き態度に出づる事を未だ能くしないが、日本外交は黄郛を首領とする北支政黨と非公式折衝をなしそれに依つて大なる實績をあげつゝある

塘沽停戰協定が日支戰に一段落を劃して未だ半ケ年足らずであるが、此短期間に北支政權の對日態度は辛酸より最善の友情と妥協に一變した、北支政權中の反日分子は漸次一掃され、日本軍部並びに外交家と北支要人との關係は日に増し親密を加へつゝある、特に去る十月中日本は北支に親善の種を播く事に一入熱心であつた

有吉公使が北京に來たつて黄郛始め他の支那側要人連と種々會見をなした事は北支では一般に好評を博した、最近は關東軍ですら北支に對し疑惑と超壓の態度を棄て專ら友好的態度を以て臨みつゝある

×

斯くして南京とは直接交渉の必要なく日本は北支に我意の儘の氣運を醸成しつゝある、そして此新氣運が日本側の希望する如く中部及び南方支那迄普及するか否かは別として、著るしく擴大された日本勢力は最く共滿洲國々境の安寧を確保するに充分である事だけは一般に期待されて居る所である、而して滿洲國々境沿ひの治安確立が日滿兩國間の形勢惡化の際極め

(以下判讀困難)

越境行動を自由とし 國境警備の共同工作 滿鮮間に劃期的取極め

【京城特電二日發】長尾滿洲國民政部警務司長は一日來城、總督府及び朝鮮軍との間に滿鮮國境警備取締に關する打合せ行つたが、仄聞するところによれば左の如き事項につき滿鮮一體となり徹底を期すべく國境に關する根本的共同工作樹立に基き實行されるものであると

一、滿鮮國境の警備取締は滿鮮兩機關共同とし越境行動を自由ならしむること

一、密輸出入特に煙草、阿片類等の取締を嚴にし根絶すること

一、豆滿、鴨綠兩江運航の完全を期するための取締を嚴にすること

これにより國境における匪賊討伐等には軍隊の越境行動をも自由を期し得るもので兩者治安維持保全上劃期的取極めが實現されるものであると

黄郛委員長

【北平一日發國通】種々の事情から南下を延期してゐた黄郛氏は近く南下、河北の情況を中央に報告することゝなつた、但し南下の日取はいまだ決定してゐない

衆議院 豫算總會 (二日)

▲特別會計 朝鮮總督府 關東廳

三、九九四 三、三三七

【東京二日發國通】衆議院豫算總會第七日は二日午前十時三十分開會

武田德三郎氏(政友) 藏相…

が公債發行限度を七億八千萬圓とした理由如何、公債發行限度は國民所得により決ぜらるべきで國民貯蓄は大正二年二十億より昭和八年百四十六億に增加した、然るに公債は二十六億から九十三億に增したのみで率からいへば百九十億迄の發行餘力があり、又消化力にも餘力がある藏相は何故農村對策時局匡救の豫算一億内外を抑けたか

高橋藏相 私は公債發行限度等定めない、明年度豫算は唯財政切詰めの査定の結果、又國民の貯蓄は總て公債に向けられるものでない

けふの議會

【東京特電二日發】二日の議會は貴族院は本會議を開き劈頭農業倉庫法案を可決して後質疑演說を續行、津村重舍、關直彦氏が登壇する、關氏の思想問題質問が注目されてゐる、衆議院は引續き豫算總會を開いたが、質問通告者が多いので三日までに終る見込みなく總會を更に五日まで延長しそれだけ分科會を短縮することにならう

白衣の勇士 十五名旅順へ

白衣の勇士十五名は二日午前七時着列車で來連、同七時半發列車に乘り換へて旅順衛戍病院へ向つた

軍部の産業機構監督 當然變化あるべきだ 林陸相けふ貴院で言明

【東京特電二日發】二日の貴族院において津村氏が滿洲に對する我資本の進出難は軍部が資本家排斥を唱へ且産業經濟機構を軍司令官の手に收めたためであると思ふが、軍部は何時迄も現狀を續けるつもりかと質問に對し、林陸相は所謂資本家排斥の無根なることを說いた後、經濟機構を軍司令官の手で監督することが資本家の進出を鈍らせるといはるゝは御尤もである只今日迄の滿洲は兵備第一であつたゝめ、斯樣なことは過渡期において已むを得なかつたと見なければならぬ、將來滿洲の兵備が常態に復するに伴ひ、この制度にも當然變化…

軍部の米麥 産組より購入

【東京二日發國通】疲弊農山村救濟の一助として陸海軍當局は從來主として商人より購入した米麥類を直接産業組合より買入れる事になり最近その方針を決定した、之れに應ずるため全國販賣聯合會でも來る…

前陸相療養

…遅れるだらう

奈良縣知事更迭

發令された
依願免本官 奈良縣知事 久米成夫
任奈良縣知事 東京府内務部長 兒玉政介

學良就任と將領態度

【天津一日發國通】張學良の剿匪司令就任說が略確實と觀らるるに…

學良の地位問題につき左の如く語つた

學良の新職は四中全會で安徽、河南、湖北の三省剿匪司令に決定學良も既に同意を示し居り、明日の中政會で再審議の上發表する事となつてゐる、併し學良の駐在地についてはまだ決定してゐない

尚目下杭州にある學良は嚢に四中全會終了後南京より飛行機で安徽省に飛び…

星ケ浦に町名

星ケ浦は大連市に編入後…

技術者檢定

…規則に依る主任技術者…三月二十七日より三十日…受付は三月二十日まで…

人事

民間側被告 明日判決 五・一五事件

【東京二日發國通】非常時日本の全視聽を集めた所謂五・一五事件の民間側に對する判決は愈々三日午前十時から東京地方裁判所陪審一號法廷で裁斷が下されることゝなつたが、既に陸海軍側が何れも反亂罪で處斷された後を受けて被告等の決行動機を如何に認定し如何にそれが判決に反映するか異常なる衝動を世に起した歴史的事件の大團圓をみせる判決だけに頗る注目されてゐる

建設係長會議

滿鐵々道建設局の各事務所電氣、車務、庶務の各係長會議は來る七八の兩日大連で合同のうへ開催されることゝなつた

うすりい丸船客

【門司特電二日發】四日大連入港豫定うすりい丸の主なる船客諸氏

昭和製鋼所社長伍堂卓雄、滿鐵理事十河信二、滿日囑託日笠芳太郎、三共支店長前川幾雄、博物館主事島田貞彦、日清製油重役古澤丈作、滿鐵社員田所耕耘、三井物産支店長阿部重兵衛、ツーリスト南方守、中央銀行鐵林永日、宮代昭、三田善靖、小澤太兵衛、葛和善雄、爲永清作、鬼倉秀雄、池田友五郎、末本宇吉、野々宮精一、山本謙治

生活の虹 (32)

菊池寛 作
志村立美 畫

怪我(一)

(連載小說本文 判讀困難)

情痴渦卷く 青柳殺し

愈よ核心に觸れ 邪戀の不死鳥を裁く

兒玉事件第二日目公判

邪戀の不死鳥、兒玉邸殺人事件のヒロイン藤森勝美に關する事實審理は愛慾地獄の相貌の一端を公判廷に曝け出し、潔よく過去の罪業を清算せんとする勝美の淡々たる態度は灼熱の戀に身を燒く中園秀雄にとりまさに致命的な陳述となり、終始不利な自供となつて現れつゝある——第二日目依然として殺到する傍聽人の雪崩に、通用門の開扉が午前七時、今日は引續き勝美に關する死體遺棄、證據湮滅に關する事實審理が行はれ終つて同事件の主役、中園秀雄に關する審理が行はれる、かくて公判はいよ〳〵深みへ深みへと法の鋭いメスにより細くこまかく解剖されて行く、午前九時半、胸の惱み、罪の償ひの幾らかを第一日に述べ立て幾分ホッとした落付きを見せた勝美並に裁きの廷でウツチヤリを食つた中園秀雄の兩被告の入廷によつて嚴とした法廷のうちは緊張の度を加へ、滿廷の傍聽人を事件の深みへグイグイと引ずり込んで行く、まづ勝美の口から恐るべき青柳貢の死體の始末に關する血なまぐさい事實が細々と語られ出した……

博士は中園を賞めて 勝美と眠られぬ一夜

青柳殺害後から審理

兒玉事件の第二回目公判は二日午前九時三十分から開廷、川畑裁判長は前日の審理に引續き藤森勝美から青柳殺害の直後行動に就き審理を開始した

裁判長 女中馬場ウメの監視は誰から命ぜられたか、それから女中も一緒に殺して終へとは誰が云つたか

勝美 中園からも兒玉からも命ぜられました、女中を殺さうとは中園が申したのでしたのですが私は女中は感づいてゐないからその必要はないと止めました

裁判長 その時兒玉はチフス菌を飲ませるとすぐ死ぬから自分の手で殺すといつたといふではないか

勝美 そんな事は聞きません早く階下に降りて女中部屋で寝ろと申しましたので私はその通り致しました、女中は目を覺ましてなり、兇行を知つてゐるやうな知らぬやうな風でしたから私は喧嘩なんかされて困ると申しました、尤もこれは中園が云へと教へました

裁判長 兇行直後青柳が外出したやうに裝ふたといふがどうか？

勝美 さうです、兒玉と中園がドアーをガタンと開け兒玉の聲で「もう來るナ」と怒號する聲が女中部屋に聞えましたが、これは結局女中に青柳が歸つた如く思はせる狂言であつたのです

裁判長 青柳の死體を被告は見たか

勝美 玄關にうつ伏せとなつてゐるのを見ました私が二階へ上つたのは十二時三十分頃でしたがその死體には白い布を被せ、兒玉と中園が死體の處置に就き相談してゐました、血に染つた衣類、ワイシャツまた青柳の所持品等殆んど全部燒却しました、中園はこれで漸く安心した、大連市中も大手を振つて歩けると申してゐました、その時私は兒玉に對し國へ歸らせて下さいと賴みましたが聞き入れて呉れませんでした、中園と兒玉から翌朝女中を連れて外出せよと命ぜられました

裁判長 その時中園と被告との關係について兒玉に何か話したか

勝美 私は中園さんとは交際してゐるが淸い仲であると嘘を申しました、すると兒玉も喜び、中園は義俠的な英雄だと賞めました、當日中園は午前三時ごろ歸つて行きました

裁判長 被告達はその夜よく寝ることが出來たか

勝美 夫も私もやすめませんでした、殊に私は青柳が氣絶してゐるやうで、今に起き上つて來るのではないかといふ氣がして恐ろしくてなりませんでした、すると夫は青柳は大丈夫死んでゐるから安心せよと申しました、私はその時夫に對し私の爲こんな事件を惹起して濟まぬから離縁して下さいと申しましたが夫は聞き入れてくれませんでした

裁判長 翌朝の行動は？

勝美 夫や中園からいはれてゐる通り午前九時半ごろ女中を連れて外出し三越や寶館で活動寫眞を見物して時間を費し午後四時ごろ歸宅しました、すると夫は死體は三疊押入れの天井裏に隱したから安心せよと申しました

裁判長 死體の傷口は誰の手で縫つたか？

勝美 兒玉の手で縫ひ合せ中園が血止油を傷口に塗りました、そしてその翌朝（七日）再び女中を連れて外出し午後四時半ごろ歸宅しますと兒玉は中園と二人で死體をトランクに詰め「滿鮮お駒といふ人の床下に埋めて來た」と申し安心した態でした、しかし女中が血腥い臭ひがするといふのでリゾールで家の中を掃除しました

裁判長 被告は女中に「こんなことを外部へ話すではないよ」と口止めしたといふがどうか

勝美 左樣でございます

この時裁判長は兒玉博士の右手の指に傷のあるのは中園に手傳つて兇行を演ずる時受けたといふ說、中園の兇行を制止せんとして負ふた傷であるといふ重大な疑問符を解くため鋭く突き込んで訊したが勝美は「制止する時受けたものであります」と極力博士の殺人共犯の點を擁護した、次いで證據湮滅及中園と勝美が旅順で情死を企てんとした新事實の事實審理に移る

裁判長 兇行用の短刀は最初星ケ浦の海中に投ずる考へであつたといふがどうか

勝美 翌日午後七時ごろ兒玉は散歩にゆくといつて外出した際短刀は馬欄河の橋下へ、青柳の靴と燒け殘つた蟇口の金屬類を棄てました

裁判長 七日朝被告は中園と會つたか

勝美 午前十時半ごろ吉野アパートに中園を訪れました、中園は荷物を取り纏めてゐましたが、何んだか泣いたやうな顏をしてゐたのでどうしたかと尋ねますと昨夜鍵をお前の宅へ返しに行つた時、二人の女が聖德街をウロ〳〵としてゐた、見ると青柳の母と妹であつたのですつかり氣を腐らして終つた、どうか僕と一緒に死んで呉れと申しますので私も情死に同意しお互に遺書を書きました、中園の母親宛の遺書には寫眞と私の髪の毛を切りました、情死の場所は旅順にしようと相談しましたがその時未だ死體の處置がしてなく兒玉が非常に氣にしてゐたので私は兒玉を安心さすべく死體の處置だけはして死にませうと中園に申し一旦歸宅しました、その後種々な事情から情死は決行出來ませんでした

遺書まで認め 旅順で情死の相談

勝美の唇から新事實

更に裁判長から中園は何處で青柳を發見して被告の宅へ連れて行つたかと問はれ、ペロケダンスホールで青柳を發見し自分は勝美の義兄であると僞り青柳を中園の下宿へ連れゆき、勝美を中心に戀の葛藤を演じた揚句博士邸に連行したまでの經緯を事細に陳述し當時如何に中園が殺意に燃えてゐたかといふ例として

ペロケで一思ひに殺さうかと思つたが思ひ止まり中央公園、バスの中といろ〳〵考へたが遂に私の宅で決行する氣になつたと中園が云つてゐました、しかしペロケで會つた時青柳が今少し惡かつたといふ態度を披瀝すれば殺害までに至らなかつたとも申してゐました

〃惱む青柳の臭ひ〃

勝美の陳述はいよ〳〵青柳の死體遺棄に關する點まで進んで何となく法廷に血のりの臭が漂ふ樣な氣がする、そしてその陳述によつて死體の臭がいかにしつこく消えないものであるかゞ立證された、拭つても〳〵消えない血あぶら、女中馬場ウメ子に「奧さん何だか腥さいですよ」と質問されビックリした事、リゾールでふいても甲斐がなくアイロンをかけて疊を燒いても無駄で呪ひの青柳の臭には飽くまで惱まされたらしい

兇器を前に勝美の審理

愈よ免れぬ 博士の證人喚問

近く第二回召喚狀か

兇行當夜の事實審理の進行に伴れ勝美の陳述に從へば兒玉博士それ自身にもその行動に合點のいかぬところがあり、特に川畑裁判長の審理もその點に力を入れ審理の端々から兒玉博士の當夜の行爲につき何物かを摑み出さんとする意向が歴々と看取されるが、大體において勝美の供述に從へば青柳が死體となるや、即ち兒玉博士、中園それに被害者青柳の三人が階下に降りて次に博士と中園が二階に上る」に如何なる事實が行はれたか全然判らぬところで、從つてこの點を鮮明にするにはこの事件の相當大きな役を背負された兒玉博士が證人として喚問さるゝは當然の事で少くも今日迄の供述によればたゞ博士を證人として喚問するは時日の問題であると云はれてゐる恐らく中園の審理は不明だが中園の供述を待つ迄もなく第二回召喚狀は兒玉博士に發せられるものと見らる

女性三人の證人喚問

辯護士が申請

藤森勝美に關する事實審理は二日午前中をもつて終了、これによつて事件の全貌がある程度迄明かとなつたが、午後よりも件の中心人物中園秀雄の事實審理に移る事となつた、かくて中園、勝美事件を繞り公判はいよ〳〵本格的に移つたわけで法廷内はとみに緊張を呈してゐるが、この事件に關係ある滿鮮おこま、佐藤三輪子、女中馬場ウメ子等證人喚問は關係辯護士より申請される模樣である

恐いもの見たさ

兇行を物語る證據品

兇行に用ひた短刀、中園の血汐のついたワイシャツを切つたハサミ、それにまた歴々と血あぶらの浮いてゐる疊表、さうした兇行當夜を如實に物語る證據の品の數々が出される度に、法廷馴れのしない傍聽者の群、ことに御婦人連中は恐いもの見たさでおよび腰になつて覗き込まうとしては看守の鋭い目にさへぎられる、それにも增してビクついてゐるのは勝美の審理の進行により犯行當時のおのれの姿を再現して傍にひかへた中園は眞蒼な顏をしてゐる【寫眞は兇器を法廷へ】

進んで發言し 犯意を否認

遺書のトリック暴露

この時證據調べに入り裁判長は血痕の附着した短刀、鋏、蓙、桶製支那トランク等を列べ「これは何れも兇行に使用したものであらう」ときめつけると勝美は僅かに頭を上げて打ち眺め「左樣であります」と微かにうなづく、十分間の休憩を宣して立ち上らんとするや勝美は裁判長を呼び止めるが如く發言し證據湮滅、死體遺棄に關する犯意のなかつたことを否認し俄然公判廷に興味を投げかけた

勝美 血痕附着のいろ〳〵の物を處分したり死體遺棄に關し間接的に手傳つたのはこの善惡の判斷がなく只機械的に働いたに過ぎません、これをかうすれば犯行を隱蔽出來るといつた犯意はありませんでした

裁判長 被告は捕へられた時罪の一半は私にありますと自供してゐるではないか、少くとも血糊の着いた着物や死體が自宅にあれば發見された時不利だといふ考へはあつたであらう

勝美 その時そんな考へまで及びませんでした、皆がバタ〳〵働くので私も自然に働いたもので湮滅といふ意志は少しもありませんでした

裁判長 しかし成るべく發見されないやうにと思つたであらう

勝美 それはさうですが中園や夫が大丈夫發見されないと申しますので安心してゐました

と裁判長との間に微妙な言葉のやり取りがあり、裁判長は充分被告の心證を摑んだもの、如く「それでよい」と休憩のためサッサと退廷する、十五分間の休憩の後午前十一時十五分より再開

裁判長 九月八日死體の處分をして安心し次の日中園と會つたか

勝美 九日に自分は兒玉に内地へ歸つても好いかと尋ねたら、それなら歸つても好い、その時は出來たら早い方が好いので十一日の船にしようと思ひました

裁判長 歸り話は被告からか兒玉からか

勝美 兒玉はたしか中園を嫌つてゐそうもないから自分から離縁をさつて行つても好いと申しました

裁判長 歸國の話は中園と相談したか

勝美 致しました、兒玉は最初半年か一年位遊んで來いと申してゐましたがいよ〳〵となると母を連れて早く歸れと申しました中園は一人で上海へ行く考へであつたらしいが、私と行動を共にすることゝなり九月十三日の船で内地へ出發しました、その日兒玉は埠頭まで見送つて呉れました、船中ではデッキで會ふ位で船室では離ればなれになつてゐました、女中馬場ウメ子は私が内地へ發つ前日暇を出しました

裁判長は十五日門司上陸後の行動につき訊問を續けたがこれこそある意味で死の道行であり、また不安ながらもどこか樂しい愛の道行でもあるのだ、門司から別府へ、別府で三日、そして更に門司に引返して宮島に赴きそこで記念撮影をなし尾の道を訪ひ二十二日大阪に到着、それ迄に罪を犯したものゝ戰き勝ちの足取りを判然と述べ二十六日の朝高野に登り、高野において中園の自首說勝美の自殺說でお互に氣まづい思ひをした事を述べた、そして例の遺書を全く中園の口述そのまゝを書いたもので全然自分の意志でなかつたと語り問題になつた遺書がトリックであつた事を暴露した、かくてアダリンによる心中の顛末を述べ二十九日午前九時頃高野警察署の手に捕へられるまでを詳述した、斯くて零時半勝美の審理を終了した

午後、中園審理

先づ佐藤三輪子が登場

午後一時二十分開廷、午前中の公判において勝美の事實審理を終り午後は情痴劇の立役者中園秀雄の審理に移つた、二日間に亘り愛する女から反逆的な陳述をされて不利な立場に陷れられた中園が果してどんな陳述を行つて勝美の陳述を覆へすか？兒玉博士がどの程度まで兇行に關係をもつてゐるか？興味はこの二點に集注されてゐる——裁判長中園を差し招くと高野山以來着たまゝの鼠色立縞の合洋服はヨレ〳〵となり獄中生活の苦心を物語るかのやうだ、先づ

裁判長 昨日注意した通り男らしく制裁を受けよ

と因果を含め、中園の經歷を訊す

大正二年春十七歲の時上京、雜貨店の店員となり一年で飛出して神戸へ行き、大阪商船のアメリカ航路の神間丸のボーイとなつた、それから再び上京、十九歲の時明大に入り僅かで退學、更らに神戸、横濱と轉々流れ歩いたマドロス生活の半生を事細かに小さい聲で陳述した

この間中園は微かに打ち慄へて少しも落ちついたところがない、更に運命の地大連の土を踏んだのは昭和五年[illegible]丸の司厨長の時代でそれから大連に住居することゝなつた、間もなく問題の女佐藤三輪子と知り合つたことを陳述した

十字に開かぬ 鴨綠江鐵橋

安義名物が無くなる

【安東特電一日發】國境名物鴨綠江大鐵橋の開閉については昨年夏ごろから僅かな大型ジャンクのために一日三度宛開橋して橋脚の破損を加速度に早めるのは非常時の日滿大交通路を動脈硬化症に陷らしめるものだといふ鐵橋愛護論が出て朝鮮總督府でも開橋の可否を愼重に研究中であつたがいよ〳〵開橋しないことに決定し一月三十一日附總督府官報で本年から斷然開閉を休止すると正式に發表された、開橋しないため困るのは帆柱の高い少數の大型ジャンクだけで安東、新義州間の徒歩や自動車には却て大いに便利になる譯だから拉濱線松花江鐵橋などが出來た今では「かけし鐵橋は東洋一」どころか滿洲一とも言はれなくなり「十字に開けば眞帆片帆」だけで名を賣つてゐたのがこれから開かずの橋となると共に只の平凡な鐵橋でしかなくなり安義兩市民は唯一の誇りが永久に失はれると非常に名殘を惜んでゐる【寫眞は十字に開くところ】

神兵隊事件の山口中佐急死

【東京二日發國通】神兵隊事件の豫備海軍中佐山口三郎（四五）は慶應病院に入院加療中一日午後六時腦溢血で急死した

天氣予報

三日

北西の風（晴）一時曇

各地溫度（二日）

	午前五時	午前十一時
大連	零下九	零下七
旅順	同八	同六
營口	同十三	同九
奉天	同十七	同十二
新京	同二十	同十二
新義州	同七	同五

今日の小洋相場（十一時半）

金百圓に付百十七圓七十五錢

新講談

丹下左膳 (5)

林不忘作　小田富彌畫

發端篇

罪ですネ源ちゃんは

源死の司馬十方齋先生は、同じ劍家、柳生一刀流の大御所對馬守その間に話のきまつた、その弟伊賀の源三郎の江戸入りを、けふか明日かと待つて、死ぬにも死ねないでゐます。

源ちゃん、品川まで來たのはいいが、婿引出のこけ猿の茶壺を失つて、目下大騷ぎをして搜してゐるさうは、一同ひた隱しにして先生の耳へ入れないでゐる。

「源三郎の顏を見て、萩乃と祝言させ、この道場を讓らぬうちは、行くところへも行けぬわい」

といふのが、死の床での司馬先生の口癖。

ところが。

當の萩乃は、戀不知火のむすめ十九、京ちりめんのお振袖も、袂重い年頃ですなア。

「源三郎樣なんて、馬が紋つきた着たやうな、見つともない男にきまつてるわ」

非道いことを考へてる。

「おゝ嫌だ！伊賀の山奥から、猿が一匹來ると思へばいゝ」

まだ品物を見ないうちから、身ぶるひするほど怖毛をふるつてゐる。

するさ……。

紺の香のにほふ法被の上から、棕櫚繩を欅ちよに絡んで、それへ鋏を差した植木屋の兄イ——見慣れない職人が、四五日前から、この不知火御殿と言はれた壯麗な司馬の屋敷へ這入つて、盛んにチヨキ〳〵やつてゐましたが。

「觸るまいぞへ手を出しや痛い、伊賀の暴れン坊と栗のいが」

口の中で、いやに氣になる鼻唄を歌つてゐる。こいつが萩乃に、變に馴れなれしく口をきいてるのを見て、怒つたのが師範代峰丹波だ。

短氣丹波と言はれた男……。

「植木屋風情が、この奧庭まで入り込むとは何事ッ！誰に許しを得て——無禮者めがッ！」

發矢！投げた小柄を、植木屋、肘を楯に、ツーイと横に外らしてしまつた。柳生流秘傳銀杏返しの「手……銀杏返しといつたつて、髮じやアない。ひどく難しくない劍術のはうだが、峰丹波はサッ！と顏色を變へ、ドサリ、縁に坐つて——指を折りはじめた。

「ハテナ、柳生流をこれだけ使ふ方は、先づ第一に、對馬守殿、これは無論。次ぎに、代稽古安積玄心齋先生、高大之進……ヤ、ッ！これは迂濶！その前に、兄か弟かと言はるゝ柳生源三——おゝウッ！」

傲岸、丹波の顏は汗だ。その呻き聲を後に……觸るまいぞへ手を出しや痛い——唄聲が、植込みを縫つて遠ざかつて行く。■根岸の植留の若えもンで、渡り職人の金公てエ半チク野郎——かういふ名で入り込んではゐるが。

これが、實は、伊賀の若樣源三郎その人なんだ。

かういふところが、源三郎の源三郎たる所以。

供の連中は品川を根城に、眼の色變へてこけ猿の行方を、探索してゐる。その間に自分は、ちよつと退屈しのぎに、斯くは植木屋に化けて、この婿入り先司馬道場の樣子をさぐるべく、みづからスパイに——そんなこととは知らない萩乃は、この美男の植木屋に、ひそかに、熱烈なる戀ごころを抱くにいたりました。

「あんなしがない植木屋なごを、こんなに想ふなんて、あたしは一たい何うしたといふのだらう……あゝ、それにつけても源三郎さまが、あの植木屋の半分も、綺麗であつて呉れゝばいゝけれど——」小さな胸に餘る大きな思案。

罪ですネ、源ちゃんは。

北陸線雪地獄
日活で映畫化

二十八日午後日活撮影所食堂で鈴木傳明は「雪地獄の北陸線、除雪に軍隊出動」の新聞記事を讀んでゐたがフト雪地獄を背景とするドラマチックな映畫製作を思ひつき直に重役室へ杜重常務、甲斐所長を訪ひ、意向を訊して贊成を求めたところ、兩氏ともこの思ひつきに共鳴、早速傳明を一枚加へた重役臨時協議を開いた結果、これが映畫化を可決村上德三郎を督勵して二十九日中に脚本を作り、名古屋鐵道局の援助を得て、この種のものには獨特の手腕を有す鈴木重吉監督を起用、傳明主演で題名決定を待たず北陸雪の世界へロケ隊急遽出發といふプランが極つた

而して主役の傳明はスキーに自信がある上に松竹蒲田時代「大都會勞働篇」北海道ロケでラッセル機關車運轉の技術を獲得してゐるところからこの映畫でもラッセル機關車を使用して物凄い撮影を敢行しようとある

なほ鈴木傳明は更生を誓つて日活に踏み止まつた大島屯の前途を節らう心持ちからこの北陸方面撮影の映畫に大島を共演者に推薦して再度、男をあげた。

うわさ話

白藤六郎君が約二週間の豫定で奉天平安座に特別應援出演中で目下松竹映畫「双眸」を解說してゐる▲花の四月のPCL寶塚ビクター對松竹の華やかな映畫戰さなる「さくら音頭」のPCL作品は日活館が早くも契約した模樣である▲また松竹映畫は全發聲豪華版で伏見晁の脚本で監督は五所平之助と決定した

名畫と大衆映畫
面白い混合プロ
日毎に盛況の日活館

名畫「夢みる唇」に集まる人氣は愈々灼熱化し銀幕に盛られた感激を齎へて日毎に盛々盛況を呈しつゝあるが、一方母なればこその大衆的映畫「ふるさと晴れて」及びやくざものなればこその惱みを描いた股旅物「陣屋の正太郎」も好評で、而も讀者優待割引券を利用すれば階下四十錢で名畫「夢みる唇」を加へた三本立混合プロが見られるので日活館へファンは殺到してゐる

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
定價 一部 金五錢 一ヶ月 金一圓二十錢 郵稅 五十錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別指定場所一行 金二圓六十錢 二割以上加算
發行人 鈴木昇　編輯人 橋本喜代治　印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社 滿洲日報社 振替口座大連六〇番

貴族院本會議（二日）
滿鐵改組現地案 大いに尊重したい
津村氏の質問に對し 永井拓相の答辯

【東京二日發國通】二日の貴族院本會議は午前十時廿一分開會、農業倉庫業法中改正法律案の第一讀會の續を開き山縣委員長より委員會の經過報告あり其通り可決、次いで津村重舍氏 昨日の質問を續け、先づ聯盟脫退前後の日本外交の宣傳不足を述べ、荒木前陸相の進退に言及したる後、滿鐵問題に移り

津村重舍氏（研究）登壇 滿鐵改組案の如き重大問題を拓務省が關知せぬのは何事か、さはれ軍部がこの問題につき今後如何に處置するや、傳ふる如くんばかくも危險なる滿洲に資本家は安んじて投資し得るやと詰問し、轉じて製鐵合同案を取上げ 今後同社の重役選任その他に關し中島商相の注意を促し、寶石密輸事件にまで脫線して資本家擁護論を說き朝鮮の水利組合問題で政府を論難したる後 滿洲投資に對する軍部の所見を質して降壇

永井拓相 滿鐵改組は時勢の要求でそのため現地案の改組案も尊重したい 事變後新設の資本百萬圓以上の會社二十以上 金額總計一億三四千萬圓に達し 尚計畫中のもの一億圓又輸出入四億七千萬圓に增し滿洲產業は駸々發展途上にある、朝鮮の水利組合助成には遺憾なきを期してゐる

廣田外相 在外々交官の數は大國に比し三分の一に過ぎぬが充分效果を擧ぐべく省內でも調査部設置等充分準備を整へてゐる

林陸相 滿洲投資に關しては何等阻止するところなく又軍司令官統轄下にある經濟機構も滿洲治安確立とともに改められると思ふ

岩切商工次官 八幡製鐵所と民間會社間の評價に特別差違は生じない

津村氏更に自席から軍部が政治經濟からなるべく速に手を引く事を希望し外交工作を鞭撻し、次いで

齋藤首相 荒木前陸相の辭任は健康上職務を執り得ぬとの責を痛感したもので他に理由なし

肩替問題追究
關直彥氏拍手を浴ぶ

關直彥氏（同和）登壇 今日我國の各方面で綱紀の弛緩せるに鑑み國家の前途著るしく憂慮に堪へぬと前提し 來るべき一九三五、六年の危機を控へ我國の立場は非常に重大であり軍部の責任亦極めて重いことは疑を容れぬ、併しながら軍部がその立場の重要なるに鑑みてか甚だしく神經過敏の傾あり、私は寧ろ不可解に思ふ

と先づ軍民離間の聲明書問題に觸れ軍部當局の衆議院でなした說明の根據薄弱なるを說き無責任者の瑣々たる言說に捉はれず軍部が專らその職責に邁進されたいと警告し次いで思想問題に移り

極左思想については現在當局の取締も相當徹底し自然對策も研究されてゐるやうであるが私の憂ふるところは寧ろ最近蔓延の兆あるフアッショ思想である、動もすれば憲法を無視し憲政を破壞する惧がある、この思想は今や世界的に流行の勢だが單なる反動思想に過ぎず何等模倣の要なし、我國には畏くも明治大帝の賜へる帝國憲法がある、之等の思想を抱く人々はどうぞ一個の政黨なり何なりを組織し議會を通じその主張を明らかにして貰ひたい、我々は飽くまで憲法の聖旨に從ひ憲法、國體の擁護のため全力を注がねばならぬ 政府はこれに萬全の方策を執られたい

と憲法擁護を切言し綱紀紊亂問題に移り最近起つた政府の綱紀諸問題に關し監督當局の責任を問ひ 臺銀の帝人株賣却問題に言及する

帝人株は一時二百圓となつたのである一種の策動から賣叩き百二十五圓に下落した時臺銀は之を賣つたゝめ十一萬株につき少くも七十七萬圓の損失となつて居る、仲介の某々三人は賣買双方から二十二萬圓の手數料其他六十餘萬圓利得してゐるといふ これには臺銀總裁も關係してゐる又仲介者の利得も全部がその懷に入つたものでないといはれるが然らば何人の懷に入つたか政府にありてはこの事を鮮明にするの責がある、政府の一時逃れの答辯では世間は決して承知しない、取引が六月だつたに拘らず名義書替が五月となつてゐる、かゝる虛僞手續を如何にするか

と鋭く詰寄り更に東拓の南洋興發會社株賣却問題に轉じ

これ亦臺銀と同樣一株七十圓のものを五十五圓で四萬五千株賣つてゐる、當局の責任如何、此の外にも臺銀の神鋼株問題東拓の日魯株肩替問題等の起つてゐる際政府の善處を望む

と結んで降壇すれば珍らしく議場に拍手起る、齋藤首相お座なりの答辯を試みたる後

永井拓相 南洋興發株を東拓が賣却したのは拓務省の認可事項でなく東拓の任意にした事だが私の調査したところでは關氏の質問と著しく事實相違してゐる、即ち賣先は內外投資山一證券等の三會社で賣却價格も七十圓でその間何等不正を認められない又東拓の日魯株問題は不安當と認め中止を命じた

と說明し 午後零時四十八分散會

關直彥氏（寫眞）

爲替安定を待ち 金本位復歸を考慮
武田氏（政友）の質問、藏相の答辯
衆議院豫算總會（二日）

【東京二日發國通】夕刊所報の通り二日の衆議院豫算總會は午前十時三十分開會、**武田德三郎君**（政友）の質問に對し高橋藏相答ふるところあり更に

武田德三郎氏（寫眞）

武田君 米國の平價切下げによる金本位復歸が我財界經濟界に與へる影響を如何にみるか、又爲替政策に如何なる方策をとるか

藏相 平價切下は一國だけで行つても大した效果はない英、佛等との爲替相場協定が早晚なされやうが我國としては常にこれに應ずる用意がある

武田君 藏相は將來我國にても平價切下の考へを持つてゐるか

藏相 我國の金本位復歸は爲替相場安定した時考ふべきで今日の問題ではない

武田君 米穀對策として買上資金增加の意志があるか

農相 米穀統制法の效果に期待してゐる

武田君 米價問題の解決は臺鮮米移入統制にあると思ふがその方策如何

さて移入管理問題、米穀統制法の植民地實施等に亘り詳細意見を述ぶるや時間超過の故を以て議場騷然、結局時局匡救今後の措置につき一、二質疑して質問を打切り代つて

松山常次郎君（政友） 農村負債整理根本案は米價の吊上にある、農相の米價に對する見解如何

松山常次郎氏（寫眞）

農相 最低米價を決定するのは勿論その價格に止まることを望む意味ではない

松山君 今日の地方經濟情勢から金融の地方分權主義を必要と思ふがそのため縣營銀行設立の意思なきや

堀切次官 今日資本が中央に集中するは已むを得ない事でこれも漸次改善されつゝあり政府も愼重考慮してゐる

松山君 朝鮮の農村は未だ小作人中心とは思はれぬ、朝鮮小作令の制定との關係如何

今井田總監 小作令制定に就いては朝鮮の實情に應じ種々考慮し今では當初のやうな反對もなくなつた

松山君 朝鮮の地主は今受難時代だが小作令施行の結果地價が下らぬか

今井田總監 地主の利益地位保護には何等異存はない、併し小作人の地位利益が全く無視されたので小作令の制定をなした

松山君 土地問題を行政權行使で解決した山梨總督の治績がよかつたと思ふ

これにて松山君の質問終了午後零時五十二分休憩に入る

三位一體是非
"必要な暫行制度だ"
池田氏質問、林陸相答辯

【東京二日發國通】衆議院豫算總會は午前に引續き午後一時五十分再開

池田秀雄君（民政） 滿洲の帝政立憲國を實現せんとするに際し對滿機關の名實兼備の爲將來三位一體制を改める意思なきや

齋藤首相 三位一體制は暫定的だが今は改める機でない

池田君 關東州、附屬地は滿洲國に讓渡すべき筋合でないと思ふ

首相 仰せには同感

池田君 關東長官と軍司令官兼務はその性質上不都合でないか

林陸相 今日は治安關係から兼務が便利だ、兼務を解く時期は各關係方面で研究してゐる

池田君 父母の關係にある司令官と大使の兼務もまた性質上不可能でないか

廣田外相 池田君と同感だがこのまゝ治安維持のため當分は便宜と考へる

池田君 滿洲警察制度で憲兵司令官をして領事館警察をも兼務せしむる理由如何

外相 軍隊と國民の治安維持は一致させる必要があるから便宜機關として採用しやうと思ふ

次いで**宮脇長吉君**（政友）荒木前陸相に突つ込んで聞きたかつたと前提し

軍縮條約は成立させたいものだが政府に如何なる用意ありや

大角海相 次期軍縮會議への方針は研究中で具體的にいはれぬが攻むるに足らず守るに足るといふ程度に縮小するは贊成だ

外相 我國防は防禦的自衞的たるを本質とす

宮脇君 軍民離間の軍聲明は輕率だと思ふが如何

陸相 積極的軍民一致に至極同感で軍民離間なる言葉は不愉快に思つてゐる

宮脇君 滿洲事件で軍人が有卦に入り過ぎ却つて國民の反感を招いた、軍人の政治干與の弊を如何にみるか

陸相 軍人が政權をとつて代る等とは考へてゐないと信ず、只世相を憂へ種々疑惑を抱いたのである

宮脇君 軍人が複雜な農村問題の眞相を攫みその對策を樹つる事ありとせば軍人はその本職を擲つものと信ず、將校の農村問題論議は危險だ

陸相 先般農村問題に關心を持つと申したのは私が研究するといふので將校に關心を持たせる意味ではない

宮脇君 在鄕軍人大會の意見は鄕軍全部農村を代表するものでないから誤られないやうに陸相を戒め更に軍人は政治に干與すべからずとの文書を以て全軍に知らしむべきでないか

海相 私も同感で將來勅諭の主旨を文書にして據る可き所を示す積りだ

急所を突く
關氏の質問

【東京二日發國通】二日の貴族院本會議でなされた關直彥氏の綱紀肅正問題は過日の上山滿之進氏の抽象論に對して數字的基礎に基き相當具體的の事實を展開し漸く核心に觸れ政府の急所を突いた感があり貴族院としては珍らしく拍手を浴びせるなど貴族院の同問題に對する空氣も頗る硬化の度を示してゐるが之等の情勢に對し政府は相當狼狽を示し之に就いて防禦的對策を講じつゝあり同問題の諸點につき大藏當局をして更に調査考究せしめた事實を釋明し疑惑を一掃すべく準備してゐる

在滿警察問題
衆議院豫算總會に於ける 廣田外相の答辯

【東京特電二日發】二日の豫算總會で池田秀雄氏から在滿警察問題について今回の制度はやがて憲兵による統一を企圖するものではないかとの質問に對し林陸相はこれを否認し、廣田外相は左の如く述べた

滿洲の治安維持は軍隊側から見たものと國民の立場から見たものと區別する時期ではない、警察事務も軍隊のそれと一致させる必要がある、また附屬地行政權と附屬地外のそれとも密接な關係があるから關東廳の事務と大使館のそれと區別することも困難である、かやうなわけで三者の密接なる連絡と調和をはかるために今回の改制となつたもので、これがさしあたり便宜の手段である、將來滿洲國の獨立性が確實となつてきた時にはまた趣旨のたつ改制を加へたいと考へる

と答へた

現制支持
首陸外相答辯

【東京特電二日發】在滿機關の三位一體制が事實においてなほ大改革を要するものありとの見地から議會において政府がこれを改革する意思ありや否やについて質問行はれてゐるが、二日の豫算總會においても齋藤首相は現在の制度は暫定的のものであるが、未だこれを改革する時機に達してゐないと答へ、陸相も亦現在のところ治安維持がなほ重要視されてゐる關係から軍司令官と關東長官を兼任することは已むを得ない、これを分離することは各方面の關係が頗る圓滑を要すると答へ、廣田外相は軍司令官の大使兼任は一見矛盾にも見ゆるが矢張り治安維持が重點となつてゐる際にはこの兼任が便利と思ふと答へ、政府としてはなほ當分現制度を續ける方針であることが判明した

對日新策を携へ 黃郛氏南京へ
舊東北軍移動開始

【北平特電二日發】張學良の河南、湖北、安徽三省剿匪副司令をもつて同總司令の職務を代行すべき件は數日中に正式任命發令されることゝなつた、學良の右正式就任後における駐屯地に關しては學良本人は河南省の洛陽又は信陽を希望してゐるので信陽に決定するかも知れぬ

張學良は實母の見舞ひと家務整理のため北上することを希望して居り外間の誤解を避けるため三省剿匪總司令代行發令後北上することゝなるだらう

舊東北軍はあげて移動を開始し于學忠軍の殘るもの二個旅となり舊奉天官吏また南下し于學忠の勢力は急激に減少せんとしてゐる、かくしてわが對支外交は好轉すべく黃郛氏は數日中に對日外交に關する具體案を携へて南京に赴くことゝなつた

ドイツの復歸が 軍縮成功の主條件
英政府の軍縮案發表

【ロンドン一日發國通】全く停頓狀態にある軍縮問題の局面打開のため英國政府は去る二十九日關係各國政府に對し覺書を發送したがその內容は三十一日夜發表された 覺書は二部に分れ第一部では英國政府が此の覺書を提出するに至つた點を述べ即ち新らしき指導的提案なくして壽府に於て交涉を再開することは更に失望を招く結果となるであらう、此の際歐洲としては最も軍備の充實した諸國が或る種の武器廢棄の條約に同意するか或は之等諸國が現在の軍備を之れ以上增加しない事に同意するかの何れかを選擇せねばならぬ、而して英國政府としては此の際第一の方策を強調するものであると述べてゐる 第二部は之が方策として英國政府は

一、安全保障
二、權利均等
三、軍備縮小

の三項を骨子とすべき旨を主張するものであるとなし具體的問題に亘り最後に英國政府はドイツの軍縮會議並に聯盟復歸が協定に達する本質的條件であるとの英國政府の見解を強調してゐる

利益金は廿七億
平價切下げて

【ワシントン一日發國通】モーゲンタウ財務長官は米國の平價切下に關し一日新聞記者に對し左の如く語つた

弗價切下實施により米國政府の得た利益は二十七億九千二百九十四萬五百十七弗である

英の軍縮覺書 佛は冷淡
右翼諸紙は反對論明

【パリ一日發國通】三十一日夜發表された英國政府の軍縮覺書に對し、フランスの輿論は極めて冷淡な態度を示してゐる、右翼諸新聞は勿論頭から受諾不可能と斷言して居り穩和派の新聞も大した贊意を表明してゐない

伊國から 飛機購入
團匪賠償金で

【南京特電二日發】國民政府がイタリーへ返還する團匪賠償金をもつてイタリーから每月十臺づつの飛行機を向ふ一年間購入し航空教官卅名を招聘する契約はいよいよ成立し調印する運びとなつた

宮脇君 前陸相が內閣會議に出席したのは國民の軍に對する關心を誤らしめたから今後注意されたいと林陸相にダメを押し次いで**河野一郎君**（政） 非常時局に際し政府は何もしてゐない、首相は宜しく自決すべきだと前提して、商相に取引所監督不行屆を責め東株缺損問題、東株役員の神兵隊事件關係問題、東株增資問題、東京海上の增資問題等につき商相をやりこめ乍ら一問一答を續け

河野君 銑鐵熔鑛爐の設置認可申請を押へてゐる理由如何

福田鑛山局長 昭和製鋼所及び日本鋼管より申請あるも未だ計畫が熟してゐない、認可は製鐵獎勵法の適用、銑鐵需給關係を考慮して研究する

河野君 東拓所有の南洋興發株處分に對し拓相の措置に遺憾なきや

永井拓相 今日貴族院で答へた通り何等遺憾の點なし右の株處分は政府の認可事項でない

河野君尙も帝人に臺銀の某を入社させた事で八ツ當りし現內閣組閣の精神に鑑み遺憾に堪へずと詰問

首相 組閣以來綱紀問題は充分注意してゐるお調べになれば良く判るはずだ

櫻井兵五郎君（民） 商相は何故もつと率直大膽に世界の疑惑を一掃するに努めぬか 北樺太油田試掘の經費百二十一萬六千圓を計上したのは餘り偏してはゐないかと前提し

商相 一、私は自ら進んで諒解を求めたことはない、公正會で求められたゞけで議政壇上でも機會さへあれば私の眞意を表明したい 一、燃料自給自足に重點を置いたから多少の費目を犧牲にした觀はある

櫻井君 商相の產業政策に關する指導精神如何

商相 現代經濟を基調としその統制強化する他社會政策上大衆生活の利害を考慮せる價格の統制が必要だ

櫻井君更に製鐵合同の價格評價に關し相當突つ込んで商相と問答した後

農村を電化し過剩勞働を工業に向け窮乏せる農村窮境を打開しては如何

後藤農相 農村を工業都市化するは不可だ、田園の工業化は目下考慮中

櫻井君 英國と日本との關係の將來に關する見透し如何、又低廉な商品で世界市場を擾亂せんとするソ聯に對する方針如何

外相 日英經濟關係はむづかしいから目下その調節に努めてゐる、ソ聯は新機軸の財政經濟建直しをしてゐる國だからその外交にも違つた觀點から行かれねばならぬ

櫻井君 首相はゆる褌と稱せらるが應急策でも出來ぬものを根本策となし得るや

首相 折角準備中だから暫くお待ち下さい

斯くて前田委員長より各豫算分科主査を報告午後六時十分散會

滿洲鹽田協議

【東京二日發國通】滿洲國における鹽田開發に關する商工省主催官民協議會は二日午前十時本省會室に開會、審議の結果滿洲國の鹽田開發により優良低廉なる工業鹽を日本に供給するため新鹽業會社を設立するに意見一致を見、正午散會した

各分科主査

【東京二日發國通】二日の豫算總會において分科主査左の通り決定

第一寺田市正、第二匹田鋭吉、第三倉元要一、第四八田宗吉、第五青木精一、第六武田德三郎

けふの議會

貴族院 【東京二日發國通】三日本會議委員會とも總休

衆議院 午後一時本會議、治維法改正法律案、臺灣の事業公債補給改正法律案、臺灣官設鐵道用品資金特別會計法中改正法律案、製鐵所特別會計廢止に關する法律案（政府提出）委員附託、豫算總會は午前十時より、杉山元治郎、中村繼男、鷲野米太郎、陸山貞吉、清瀨規矩雄、土屋清三郎諸氏の質問あるはず

議會風景
議院間違ひ
關直彥氏の影ぶり喝采を博す

【東京特電二日發】貴族院で津村中將退氏が又も荒木陸相引退やら滿洲問題の蒸返しをやつたが▲それでも產業經濟の軍部の監督問題で陸相の明確な答辯を引出した等味なところもある▲期待された關直彥氏は聲が低く少しも聞えないので擊機をからだに括りつけて本論に入る▲例に依つてフアッショ排擊と軍民離間問題を一くさりやつて軍部があの聲明の理由とされたアヂビラ等は豆鐵砲のやうなもので軍人のヒステリから見れば何んでもないとか彥九郎を泣かせたものはフアッショ政治であるなど痛烈に皮肉つて後綱紀問題に移り▲衆議院で鍛へた質法を鋭く政府に向けて痛擊しめたが綱紀問題では上山氏等がいはなかつた大官の手數料徵收嫌疑にまで論及し政府を少からず狼狽せしめた▲この議會は議案が一向出て來ないので兩院とも手持無沙汰の態で登院者少い▲貴族院の一部ではこれ政府の怠慢の致すところとして緊急質問で警告をやらうと數爾いてゐる向があるとやら▲現に角珍らしいスローモーション內閣である

（漫畫は林陸相）

社說

帝國外交の基調を明示す

芳澤氏廣田外相の質問應答

日本の國力增進と共に、各國等しく日本の外交政策には非常に注意してゐる。只今議會開會中なので、我國に密接な關係を持つ諸國は、議會の言論に飛耳張目してゐる有樣だ。此際二十三日の外相の演說は各國の注意を惹き、概して好評を博した。その後貴衆兩院の質問及び政府の答辯によつて各國は我邦の意思を探り當てやうとしてゐる。質問は斷片的に相當の要點に觸れたが、三十一日の貴族院に於ける芳澤前々外相の質問演說は我邦外交の各要部に渉つてゐるのと、氏が國際聯盟の日支問題當時の代表で、後に外務大臣であつた點から特に外國の注意を引くべきものである。隨つてそれに對する廣田外相の答辯も注意さるべきもので、此の兩者の言論によりて諸外國は、我邦外交の基調を計量するのであらう。又計量せられて丁度都合のよい言論であつた。

◇

芳澤氏の疑問にしてゐる所はすべて外國人の疑問にしてゐる點である。又吾々日本人もどうかと思うてゐる點である。先づ海軍比率問題は是非共問題になる問題であるが、曩に海相は今の比率に滿足せぬと言明してゐる。外相も、各國の勢力を數字できめるのはどうかと考へてゐるといふ。從來の外相の答辯に比して頗る徹底したものだ。海相のは實際的の問題だが、外相のは理論上の問題である。此の兩者の意見によりて我政策は定まつてゐる。國民はこれによつて覺悟が出來る。諸外國も日本の意思を知り得た。そこで直ぐに衝突といふ事になるなら外交なきに等しい。そこを外交によりて衝突せずに各國間の諒解點を發見しやうといふのが廣田外相の意見である。芳澤氏もそれには贊成だと云ひ、首相もその積りで考へてゐるのだといふ。外國から見ても同樣で、それなら日本と戰爭してやらうといふなら外交無しだ。諸國もそれ程無鐵砲でもあるまい。日本の此の意向が明瞭になつた上は、諸外國もその上に打開法を考慮するであらう。卽ち此の問答によつて此の問題が解決に一步を進めたわけだ。

◇

次いで芳澤氏は南洋委任問題では、外國から日本の永久保管に苦情が出ても、取り上げるに及ばぬと云ひ、日滿問題でも、通商問題でも戰爭などする必要はなく、すべて政治的平和工作にて解決すべきだと論じてゐる。併しながら、十分に平和的外交手段を取りても、尙外國が諒解せずして兵力にでも訴へて來やうといふものがあるなら、それには屈するわけにはいかぬとも論じてゐる。それに對しても、首相外相共に同感の意を漏し、同樣な精神で外交を進めてゐると答へてゐる。議會と政府の外交二權威の意見の一致したことによりて、諸外國も日本の意思が平和解決にあることを知るべく、然も無理押してはいかぬものだとのことも理解したであらう。

◇

從來の日本の外交に、動もすれば稜稜の點があつて、明白に意思主張を表示せず、單に妥協を主とした憾みがあつて、それが他に乘ぜられたり、侮られたりする間隙を作り、爲めに却つて難問題を起したり、後日に累を殘すといふことにもなつた嫌ひがある。それが淸算されたことによつて、諸外國は眞劍になつて、日本の國力なり、主張の理論なりを、遺漏なきやうに研究する必要を感ずるであらう。そこに始めて合理的な解決案が出て來る筈だ。

◇

尙芳澤氏は、日本の世界的信望を得る第一の急所は滿洲國の確立安定にある。日支問題の如きも、それによつて解決すべきものだといふ。廣田外相の方針も亦そこにあることは前から言明してゐる。更に廣田外相は帝國外交の推進の爲めには確乎たる信念を以て把握してゐなければならぬと云ひ、國民全部が世界の前に立つて、大きな顏をして少しも恥かしいことがないといふことが必要で、それにより國家の信用を高めるといふことが、外交基調の必要條件だと說いてゐる。恐らく外相の理想を披瀝した大演說であらう。これは、所謂外交工作といふのが權謀術數の意味ではなく、又御無理御尤もの苟合でないことを示したものだ。誠意を以て合理的なる日本の意思を開拔し、或は反省を促し、或は協調を求めんとするの意だと解釋される。これに應じて諸外國も、權謀でごまかさんとしたり、兵力で威壓せんとしてもだめだと分つて正義と理論を以て我れに對して來ることを豫期し得る。是れ蓋し諸難問の合理的解決に進むべき重要な段階であらねばならぬ。

皇帝萬歲の聲

熱河に遍き王道の光

張海鵬將軍の談

【奉天特電二日發】一日飛行機で來奉した熱河省長張海鵬氏は二日はさて新京に向つた　滿洲建國の際は侍從武官長であつた氏は溥儀執政が三千萬民衆の要望により皇帝に登極されるにいたつたことを非常に喜び左の如く語つた

大典がいよ／＼行はれることになつたことは滿洲國の將來のため喜ばしい、熱河省も既に日本のお蔭をもつて匪賊も一掃されたが大典をひかへてゐるので省警備軍においても萬全を期する覺悟である、なほ執政にも拜謁するが熱河省四百萬民も皇帝卽位は非常に要望してゐる

大典の日

奉天の催ほし

きのふ打合せ會議

【奉天特電二日發】滿洲國の三月一日に行はれる大典の盛儀に對し奉天省公署においては二日午後三時から市長及び市政公署、日滿各代表者會合し大典に關する打合せ會議を開いた、省公署で一般祝賀式を擧行する外市政公署では市民の大祝賀會を開催し同日各機關公衆等三層飾り城內數路に裝飾を施しイルミネーション等を設けて市民の大典に對するその日を祝福する意向で二日の會議で大體の方針を決定した

宣傳工作

奉天省教育廳

【奉天特電二日發】省公署教育廳にては三月一日の滿洲國大典の盛儀を一般民衆に知らしめるため宣傳班五班を組織し滿洲建國の精神たる王道仁政と建國二年來の國家の業績その他を映畫につき認識せしめることになり各班は三月五日各沿線に出發、宣傳工作を行ふ

滿洲國人ボーイの ソ領事館員傷害事件

“地方的に解決したいものだ”

外交部當局の談

【新京特電二日發】一月三十一日朝大黑河滿洲國警務局長臧順氏のボーイ馬某が主人臧氏を殺害せんとして果さず居合せた職員四名に重傷を負はせ對岸のブラゴエスチエンスクに逃走せんとした際折柄ブラゴエより大黑河に歸還せんと自動車で現場を通りかゝつたソ聯領事館書記生ウーソフ氏が犯人を逮捕せんと威嚇發射をしたところいよ／＼逆上した爲に同氏に發砲し負傷せしめた事件に關し滿洲國外交部當局は左の如く語つた

事件の原因經過に關して詳細取調べを行つて居るがこの單純なる突發的犯罪行爲に對し側杖を喰つて負傷したソ聯領事館員には甚だ御氣の毒に堪へない、勿論犯人は滿洲國に引取り處罰するのが正當であり、また事件は地方的に處理されることを望んで居るがソ聯側も諒解してゐることゝ思ふ

極寒征服討匪行

全軍の士氣あがる

司令部局子街へ前進

【敦化二日發國通】討匪司令部は二十七日朝敦化より更に局子街に進出した、之に依り前線の空氣は彌が上にも緊張し一齊に第二期的行動を開始した、卽ち○○部隊は東京城より圖們線方面へ人見部隊は京圖線より圖們以南へ滿洲國軍飛行隊亦之に呼應して一擧に粉碎すべく各軍の士氣は益々旺に東部吉林の山野を壓する觀あり司令官も馬を陣頭に進め全軍の指揮に當つてゐる

匪賊團擊退

哈市同江間

【奉天特電二日發】鐵路總局ハルビン同江間自動車は、巴彥西方十[illegible]

アムール事情（四）

物資の缺乏甚しき蘇聯側沿岸

暗黑世界から黎明へ

五、蘇聯沿岸狀況

一九三〇年以來蘇聯邦は第二次五ケ年計畫の重點は極東地方へ指向せらるべしと稱し、同年十二月には極東地方開發計畫を發表官傳し事實又極東開發の爲に相當の努力を拂ひつゝある、しかし蘇支紛爭によりて對岸滿洲國との交易を不可能にし更に五ケ年計畫なるものは徹頭徹尾僞瞞と彈壓によつて强行せられ、其犧牲として殘辣なる搾取と極度の物資缺乏に民の疲弊其極に達し全く生色なしといふも過言でない、沿岸航行に方りて武市よりストレルカ間の三十餘部落を觀るに村落の疲弊民衆の困窮狀態は敢て住民の直話に據らざるも明瞭に看取される、今其狀況を簡單に列舉すれば

一、全部落を通じ革命以後建築せられたりと思はるゝ木造家屋は僅かにゲ・ペ・ウの兵舍及びコルホーズ（共營若くは集團農業）の建物數棟に過ぎず

二、各部落の民家は軒は傾き屋根破れ窓硝子無く、部落の三分の一は廢屋にして住民疎らなり

三、民衆の服裝の如きハルビンの乞食以下なり、上流沿岸においては既に冬なるも兒童にして靴を穿つもの極めて稀にして八〇%は跣足なり

四、河岸に現るゝ兒童何れも榮養不足、發育不良にして中には飢餓地の兒童の標本かと思はれる非慘いのがある

五、アムール州一帶は牧畜林業地帶なるに拘はらず沿岸地方には殆ど馬牛豚等の家畜及び犬の群を見ず

六、目下强制勞働者を沿岸森林地帶に入れ伐木中であるが、伐木運搬に從事するもので牛馬に牽かせず自ら搬出するものが多い

以上は單に航行中に瞥見せるに止まるが、若し上陸して更に詳しく實地を踏査したら蓋し想像外の慘澹に目を蔽はざるを得ぬであらう

六、蘇聯の不法行爲

滿洲國成立以來黑龍江上流地方において蘇聯人不法に越境し、滿人に對して或は暴行を或は掠奪を更に又殺傷等の擧に出でし事既に十數件を數ふべく等しく公憤を感ぜざるを得ざる所であるが今その原因及び目的と判斷さるゝものを擧ぐれば左の通りである

一、蘇聯內の極度の物資缺乏に基因し暴動化せる官民の食糧品其他の掠奪

二、物資の掠奪及犯行隱蔽の爲の殺人暴行

三、掠奪殺人等の犯行隱蔽の爲の放火

四、日滿特に日本勢力の沿邊進出を妨害する爲の放火（滿洲國人の談に依れば對岸蘇聯人は日本人の進出を怖れ、日本人の來る能はざるが爲に部落を燒拂ふと廣言しつゝありといふ）

五、滿人部落は日滿軍の軍事行動の據點たり得るが爲之を燒拂ふ右に依る時は蘇聯官民の不法行爲は對日滿恐怖觀念より官憲自體が兇暴化せる證左である、且つ近時頻に蘇聯が其國境に兵力を充實せしめつゝある如き全く冷靜を缺くものといふべきであらう、大同元年より最近に至る迄の當地方に於ける蘇聯邦の不法行爲を列擧すれば左の通りである

一、大同二年一月九日夜蘇聯コルサコフ村より對岸部落（呼瑪縣八十里灣子）の農家を襲ひし十數名の蘇聯人、滿人六名を殺し家屋十五棟を燒き掠奪を恣にす

二、大同二年四月、依西肯卞（黑河上流四七二露里）において侵入せる蘇聯人三名は掠奪の上放火一名を慘殺す

三、同年四月所屬及び兵數不明の蘇聯兵鷗浦縣依西肯卞を襲ひ建物を燒き番人を射殺し死體を燒却す

四、同年四月二十四日夜、巴爾嘎力卞（漠河下流一一五露里）において卞官赴黑中蘇聯人數名侵入し、留守人を殺害して家屋を燒く

五、同年五月初旬前記巴爾嘎力上流十支里上地營子において蘇聯人のため滿人五名殺害され家屋二戶燒却さる

六、同年七月二日蘇聯人二名呼瑪縣地方に越境し來り農民二名及白系露歸人一名を殺害す（尙此外事態明白なるもの十數件あるも略す）

沿岸各地何れも交通不便の地なれば此種暴虐事件にして公ならざるもの枚擧に遑なかるべく、しかも彼等の一度襲擊せる痕は全く文字通りの廢墟と化するに至りては何人と雖も憎惡を感ぜざるを得まい

七、結言

黑龍江沿岸地方は過去十數年の暗黑の世界より漸く曉を迎へんとする黎明期に入らんとして居る、過去十數年間における沿岸住民の粒々辛苦に對して報いられたるものは蘇聯の暴虐と數度の水災と之に伴ふ物資の缺乏、貪官汚吏の搾取であつた、幸ひ滿洲建國の業なりて其王道樂土の恩澤此邊地にもやがては及ぶであらうが吾人はこの地沿岸一帶の持つ經濟、軍事、國交上の重要性を思ふ時、それが一日も早からんことを祈つてやまぬものである

日滿電信料改訂

新單價八錢か

近く行惱み解消せん

【東京特電二日發】日滿電信料改訂案は成るべく急速に實施する方針であつたが會社と遞信省との間に官報電信料の點その他で交涉なほ行惱みの爲め決定は暫く延期される模樣であるが問題の骨子たる普通報の料金は既報の如く五字單位一語とし單價八錢に落つくものと見らる

“人絹黃禍論”

ドイツ日本品排斥

わが報復手段如何

【東京特電二日發】某所着情報によればドイツは日本商品の進出に對し頻に黃禍論を叫んで妨害宣傳に努め最近日本の人絹に對して輸入禁止に近い高壓手段を執るに至りわが官民兩方面からの諒解運動を一蹴して排日態度を露骨にしてゐるので日本としても已むを得ずドイツ品に對して報復手段を執る外ないといふ意見が關係者間に行はれてゐる

稅務監督署

出張所設置

【新京二日發國通】滿洲國財政部では徵稅事務の監督を完全にすべく全滿十二ケ所に稅務監督署出張所を設置して稅捐署の監督を行ひ徵稅事務の嚴正並に稅務官吏の公正を期する事となつた之は徵稅機關の整備が嚴格的な軌道に乘つて來たものでその結果は期待されてゐる、出張所の位置は左の通り

▲奉天稅務監督署
安東出張所（安東縣城）
營口出張所（營口縣城）
錦縣出張所（錦縣々城）
四平街出張所（梨樹縣四平街）
山城鎭出張所（海龍縣山城鎭）
▲吉林稅務監督署
新京出張所（新京特別市）
▲濱江稅務監督署
延吉出張所（延吉縣城）
一面坡出張所（珠河縣一面坡）
佳木斯出張所（樺川縣佳木斯）
▲龍江稅務監督署
海倫出張所（海倫縣城）
▲熱河稅務監督署
朝陽出張所（朝陽縣城）
赤峰出張所（赤峰縣城）

郵便より「おそい」電報

奧吉林の不便・電々會社藤起

【吉林二日發國通】目下中央政府省公署各方面よりの大合同班を組織し最後的政治工作の行はれつゝあるが吉林省東北方への省公署よりの指令その他は交通不便なるより一ケ月を要する狀態にあるが一昨日省公署に到着した撫遠縣よりの報告に依れば省公署より發した撫遠宛の至急電報が何んと二十日乃至約一ケ月半を要してなり結局高い料金を支拂ひ簡單な電報より郵便の方が早いといふ珍現象を呈してゐることも判明した、右報告による一、二の例を擧げれば限りないが現在政治工作は電々會社より特派された數名の派遣員の手により電線工事に着手近く改善の筈である

大連軍人後援會

大連軍人後援會では二日午後一時民政署貴賓室にて評議員會を開催し事業解散せず大連市出身兵に限り事業を繼續すること並に資金は將來必要を生じたる場合募集することを申合せた

大連學務委員會

大連市では三日午前十時學務委員會を午後一時參事會を招集し市立中學々制案を附議する筈

人事

▲八木壽治氏（奉天高等女學校長）二日午後七時三十分着列車にて來連ヤマトホテル投宿
▲前田彥祐氏（奉天春日小學校長）同上

關東廳辭令（二日）

任關東州小學校訓導　千田智惠子
關東廳警部補　森田一
依願免本官

女兒の入學難

女兒の保護者

◇在大連男兒の中等學校は保護者各位の熱心なる運動と當局者の同情ある諒解を得て兩中學及び商業の各學級增級の外にそれこそ思ひがけない市立中學校設立の運びにさへ立ち至つてゐる。

◇これによつて男兒中等學校志望者は大分緩和されることゝなつたが、一方女兒はと見ると、滿洲建國以來居住者の增加は生徒の增員となり、又女學校への向學志願は男兒と何等劣らぬ率を示してゐる。

◇本年は殊に烈しく志望四人に對し一人の割しか入學出來ぬと聽いては試驗地獄は既に通り越してゐる。

◇女學校卒業の有無は女として社會に立つ上においての優劣は勿論お嫁入の資格に大變な關係がある、親は糊口に困る程で無い限り、諸事節約しても女學校だけは卒業させたい。

◇女兒の保護者よ眠つてゐるのではないか、如何に待てど、われ等が運動しない限り學級の增加も學校の新設も覺束ない話だ、起てよ保護者と叫びます。

善處を望む

一父兄

◇今期大連における高女入學志願者一千名に對し收容豫定數は三百餘名なりといふ、今可憐の靑六女生は必死の勉强をなして居る我々父兄としては實に可哀想でたまらぬ、若し入學出來なかつたら彼女等はどんなに歎くであらう。

◇男子側は中學の增級設備で大いに緩和されると聞いて居る、其上大連市の方でも一校を新設するとの事、然るに高女の方は父兄會も各小學校長さんも各女學校當局も一向に之に對し無關心のやうだ、少くも對應策に付聲を聞かぬ。

◇學務當局よ、右實情に對し急速にせめて志願者の半分丈でも收容出來る樣御盡力を請ふ。

大觀小觀

白系露人は、赤化がユダヤ人の魂膽に出づるものとして、極端にこれを憎んでゐる▲その言ふ所によれば、ユダヤ人は既にロシア人を征服しその國土を奪ひ、アメリカ人をもその財力を以て征服してゐる▲アメリカ人は手の出しやうなく、これも神の攝理だとあきらめてゐる▲ドイツのユダヤ狩りに對しては、各國の內部に策動して、外交とボイコットを以て對抗する策を定めた▲ユダヤ人は英佛其他の諸國にも、深く內部に喰ひ込んで嘗めてゐるのだが、ひとり意の儘にならぬのが日本人だ▲例の國際聯盟はユダヤ人の考案に係り、その重要人物はすべてユダヤ人だ▲日支問題當時で云へば、ドラモンド事務總長、アブノール次長、ハース交通部長、ライヒマン衞生部長、ソルター經濟部長、コンメン宣傳部長、など國籍こそ異なれすべてユダヤ系だ▲それに各國代表の中、スペインのマダリアーガ、ベルギーのイーマンス、チエッコのベネッシユ、フランスのレーゼー、イギリスのレーヂング、サイモン、アメリカのフエッセンデンが皆ユダヤ系▲その上支那の顧維鈞、顏惠慶、王正廷もユダヤ人の秘密結社たるフリーメーゾンの會員だ▲斯へ立てゝ見ると國際聯盟で日本が敗れたのも由つて來る所あり▲次で英米蘇を驅れて、軍事的に並に經濟的に、日本を包圍攻擊せんとする、これぞユダヤ人が目の上の瘤たる日本を潰さんとするのだ▲ユダヤは世界惡魔の王、日本は人類救濟の選手、兩者が今や正面衝突の場合になつた、日本は宜しく發憤して此の魔王に痛擊を加ふべし▲以上は白系露人の口吻で、こんなおだてに乘つてはならぬが興味ある觀察ではある▲皇道は一視同仁、ユダヤ人とて驅兒あつかひにはせぬ筈だが、一面の言ひ分を聞いておくのも惡くはあるまい

市況（二日）

株式

內地株强調　當市蹉り

新東强保合、日產、日魯高を入れ地場株も蹉りであつた

◇定期後場（單位十錢）

銘柄	當限	先限
新豆（寄）	—	二四五
新豆（引）	—	[illegible]
東新（寄）	—	一八〇五
東新（引）	—	[illegible]
五品（寄）	二七〇	二七三
五品（中）	二七〇	二七三
五品（引）	二七〇	二七四

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇賣取引　商取一八五、六〇〇、六一一、地下鐵一八五、一八七、郵船新一八二、滿鐵二新一六六

特產

買氣旺盛に大豆續騰

後場の定期は大豆は邦商及び油房筋買ひに續騰を辿り豆粕は邦商の買ひに强保合を示し豆油は仕手薄の區々保合高粱は銀安を眺めて强保合を呈した

◇定期後場（銀建）

▲大豆（續騰）單位厘　[illegible]

▲豆粕（强保合）單位厘　[illegible]

▲豆油（區々保合）單位錢　[illegible]

▲高粱（强保合）單位厘　[illegible]

▲包米（出來不申）

◇現物後場（銀建）

品目	寄付	大引
混保大豆（袋込）	三三六〇	三三八〇
大豆（裸物）出來高	百八十車	
普通大豆（袋込）	三三九〇	三三〇〇
大豆（裸物）出來高	十車	
豆粕	一一二〇	一一二〇
出來高	一萬四千枚	
豆油	九二〇	九二〇
出來高	一千箱	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

錢鈔

寄安乍ら引蹉り

後場材料薄で五六十錢安と軟調を辿つたが引際フランス金本位制離脫を懸念される情報を入れ引締り結局保合に引けた

◇定期後場（單位錢）　[illegible]

◇現物後場（單位錢）　[illegible]

商品

綿糸蹉り　麻袋變らず

綿糸　大阪三品後場各限共强調を入れたが當市は氣乘薄閑散
銘柄　約定期　値段　出來高
綿助　四月限　一九九〇　二〇　二十梱
麻袋　出來不申

市場電報

神戶特產

品目	値
大豆現物	五三五
大豆先物	四〇五
豆粕現物	一四三
豆粕先物	三一二

東京期米

限	後場寄	後場引
二月	二三六〇	二三七〇
三月	二三八九	二三九五
四月	二四〇二	二四一三

大阪期米

限	後場寄	後場引
二月	二三二七	二三三八
三月	二三五一	二三六八
四月	二三八九	二三九一

神戶期米

限	後場寄	後場引
二月	二三〇五	二三一三
三月	二三四四	二三五一
四月	二三六六	二三八〇

橫濱生糸（後場一節・後場二節）　[illegible]

大阪綿糸（後場寄・後場引）　[illegible]

家庭

宴會に殘された美酒と美肴

……どう整理されてゐるか

當業者に聽く

名流人士の歡迎會や送別會、さては華やかな結婚披露宴や金婚式銀婚式さ未だ春淺いこのごろもあちこちのホテル、料理屋、支那料理店のサロンは快よい樂の音さ美酒美肴を盡しての盛宴に連夜いさまもないやうに見えます、がさて宴果てゝまろうご等の去つてしまつたあとの宴席を覗いてごらんなさい、其處には價高い外國の酒が、普通の家庭ではなか／＼手に入らないやうな珍味美肴があたら手もつけず或はきたならしく食べ殘されて宛ら落花狼藉の趣きがありませう、このおびたゞしい殘澤金にすれば數百金にも値しやうこの贅澤な殘り物がごう整理されてゐるか？大連ヤマトホテルと遼東ホテルについてきいて見ました

銘酒 が、普通の家庭では

ヤマトホテル の洋酒さいへば流石に吟味されてゐるだけシャンパンさなれば一壜十二圓から十八圓、これが大きいカクテルグラスに八杯ごりさして一杯二圓にも當りませうか、葡萄酒でも一壜五圓前後、十杯ごりさして一グラス五十錢さいふんぢや滅多に捨てられません。食前のカクテール、食後のリキュール、また、なか／＼馬鹿にならないわけ、そころが百人もの宴會になるさかういふ呑み殘しの酒が壜に三本から五本にもなるさいふのです。殘つた

酒は 全部一緒にしちまつて滿洲人のボーイ連中に分けるさいふ。日本酒のつく宴會だご殘るのは大抵壜ですから洋酒のやうに粗末にはなりません。これが一宴會に五本から十本見當のこりますが一緒にして日本人のホテル員達の家庭で煮物に使つたりぬかみそに入れたり、それでもなほ使ひ切れぬほごださいふ。パンは手もつけず殘るものも澤山ありますから稀にはこれをパン粉にしたり料理に使つたり——でもそれはほんの僅かで食べ殘りさ一緒にして毎日社會事業協會へ下渡す量が多い日は十斤以上平均四五斤さいふここ ろ料理の殘りは前肴も、魚も、アントレーもローストも一緒くたに四斗樽に投り込んでおくさ兇四保護協會から豚の餌にさ貰ひに來ます。多い日は一樽に入り切れないが平均一日三分の二樽見當でせう その代償さして裏口さゴミ箱のお掃除だけは協會で綺麗にしてくれます。かういふ風に

殘物 は別に金にはなりませんが決して無駄にならず、唯捨てゝしまふより豚の一匹でも肥やすことになれば何よりです——さ寺澤支配人のお話

遼東ホテル は大衆的なだけあつて大人數の宴會が多いので和洋食を司る地下室の司厨部には毎朝夥しい殘り物が集まります、部員慰勞の趣旨から殘つたもので手のつかぬものは殘りのお酒で司厨部員が一杯よろしくやるさいふ寸法これは司厨部員の娯しみの一つなんです、いゝ、きたなくなつたものは一しよくたにして一ケ月八圓位の約束でさる滿洲人へ豚の餌に拂渡すのですが、希望者が多過ぎてこれには頭痛鉢巻さきゝます。其處へ行くさ

支那 料理は元來大勢でつつき合ふやうになつてゐるし、冷めれば幾度あたゝめても味が變らないから、宴會後これも食堂員が一同で殘物整理を娯しむさいふ、もつさもこれは日本人の宴會だけで滿洲人はどんな殘り物でも自宅へ届けさせる習慣だから滅多に殘り物にありつけないさこれは遼東ホテル北平料理部の話です。

奥村五百子さん微笑む

愛國婦人會の〝報國運動行進曲〟

アー大和をもとめに、アノまかせて出征やれ、お國大磐石ゆるぎやせぬヨーイヨーイよさこナ名づけて「愛國婦人音頭」最近更生の意氣で活躍を始めた愛國婦人會御手製の「報國運動行進曲」だ

九段下の本部の晝さがり、慰問袋を縫ふ手を休めた一同、名流夫人から受付嬢まで總動員で圓陣を作る、寒風も物かは……

かよわいながらも、風に折れぬ大和島根の、女郎花あざやかな事、見おろしてゐる奥村五百子刀自の銅像までつり込まれさうだ（寫眞は愛國婦人會の庭で手ぶり面白く愛國音頭）

▲**大連彌生高女** 學藝會並に成績品展覽會を二月四日午前九時より同校にて

各國大同小異の惡魔拂ひの行事

スコットランドのホグマネーやチベットの鬼やらひ

節分の夜 煎り大豆を放つて「福は内鬼は外」と喚びながら豆を打ち撒く追儺の行事は今も各戸に廢らない。豆打ちが終ると一家團欒して、その餘り豆を己れの年の數だけ數へて食ふところがある或は厄拂と稱して豆撒き以前にその炒豆を己れの年數だけとり、更に一粒を加へこれを紙に包み置き豆を撒き了つて後、來合せた厄拂人を選んでこれに與へ、別に金をそへて祝歌を唄はせるところがある。厄拂者はその日にかぎつて出てくる豆藏のごとき者であつて、その祝歌の目出度いものやまた唱へ方の上手なものは澤山人に賴まれる。また、この包んだ豆は錢又はその身につけた物などを添へて四つ角に捨てておいて、人に踏ませて厄を拂ふものもみあたる。

そのほか 地方によつて種々の異風があつて、たとへば大阪では、節分の夜、五六人の人が同じ着付の着物を着て——中には不同の服もあるが、その中の一人が生海鼠に細繩をつけて地上をひきめぐる。その餘の人たちは、各々銅鑼鉦太鼓等を鳴らして、うごろもちは内にかさらごさんのおんまひぢや さ、呼んで自家知音の家にも行つて、お祝ひするのである。うごろもちさは土龍のことであつて、江戸ではむぐらもち、九州長崎邊ではもぐらもちさいふ。さらごさんさは、生海鼠のことであつて、九州ではさうらごさいふ。虎子殿さ書いた本もある。この踊りをやつてもらふさ、その年その家では、土龍が地を動かさぬさいふことで一種のまじなひなのである。京阪あたりでは、節分の夜のみぐるが江戸では、文化元年以來、大晦日さ正月六日、同十四日に出るのが常例である。また

京阪では 「やくはらひませう」さいふが、江戸では物の本によるさ「おんやく、おんやく／＼」さ御字を付けたやうである「厄おとし」さ呼んだのもある。厄拂の辭は音節及び文句さもに三都共通してゐるが、文句は年々變化してゐた。

あゝらめでたいな、めでたいなだんな、住吉御參詣そり橋から西をながむれば七福神の船あそび、中にも夷さ言ふ人は、命長柄の棹をもち、めぎすおぎすの糸をつけ、金さ銀さの針をたれ釣たる鱗が姫小鯛、かほごめでたきおりからに、いかなる惡魔が來るさも、此厄はらひがひさつさらへ、西の海さはおもへごも、ちらりが沖へさらり

このほか役者名盡し魚盡しなごいろいろのものがあつて、當時の時代相を窺ふことが出來る。

前記した やうに追儺の式は外國にも見ることが出來る。蘇格蘭の傳説で有名なスコットランドでは、毎年々末になるさホグマネーさ云ふ儀式をやる。これはやはり惡魔退散の式であつて自分の家の周圍をホグマネーさ唱へながら三度廻るさいふことである。いま一つは、昔ローマに行はれたレムリアさかいふ祭で、死んだ人間の靈を祀る式である。そして死んだ人の靈は、生きてゐる人に害を與へるさいふので、これを追つぱらふために豆を抛り付けるさいふのだからおもしろいものである。次にこれは何さいふ國であるか詳かでないが、アイロネーフさいふさころでは、そこの一番偉い人が市役所にやつてきて、また、普通の人は一軒々々自分の家で、鞭をもつて奴隷を叩いて家の外に追出す風習がある。そしてそのさき日本さ同じやうに「飢餓は外、健康さ福は内」さ、叫びながら奴隷を叩くさいふことを耳にしてゐる。

いま一つ チベットにこの鬼やらひがあつたさうである。それは乞食を追ひ廻すのである。乞食は動物の毛を被つて、つまり日本の夜叉さ同じ意味の扮裝であつて、その年の不幸や病氣やを一切身に引受けたつもりで、お寺から飛び出して來るさ、町の者は太鼓を打ちラッパを吹き、石を投げつけたり、棒で叩いたりして乞食を追ひ廻す。そうするさ乞食は打たれながら人里離れたところまで逃げて行つて、その町から一切姿を消してしまふのである。そこで始めて惡魔が退散したさ云ふのであらう。各國大同小異のこの行事は想ひ合せてみるさまた面白いものである。（松尾義明）

實用的滿洲語 初歩講習會

市内伏見町大連語學校内で開催した第四回滿洲語短期講習會は一月末日を以て終了したので、來る二月七日より更に第五回講習會を開始し、主さして初學者、晩學者の爲め極めて速成に實用的滿洲語初

大連 JQAK

二月三日

▲午前六時卅分 ラヂオ體操第一、各地濕度通報
▲午前七時 ラヂオ體操第二
▲午前十一時 相場（錢鈔、特産株式、各地相場、公設市場値段）
▲正午 時報
▲午後零時五分 相場（錢鈔、特産、株式、各地相場）ニュース
▲午後三時三十分 相場（錢鈔、特産、株式、各地相場）ニュース
▲午後五時三十分 「獨逸語講座」テキスト第五十七課（九一）大連語學校講師荻榮
▲午後六時 ニュース、職業紹介事項
▲午後六時卅分 子供の時間（一）コドモノシンブン（二）童話、節分童話「鬼の着物」大連童話協會編曲及伴奏山田健二、香川岩雄
▲午後七時（東京より）「節分追儺式實況」——淨土宗大本山增上寺より中繼——導師增上寺法主、大僧正道重信教、外一山大衆一、法鼓、喚鐘一、導師昇殿（奏樂）一、誦經一、柝受輿（引聲念佛）一、鳴弦式一、豆撒（導師發聲）
▲午後七時四十分（東京より）「歌澤」唄歌澤寅松、三味線歌澤寅小滿（一）梅が香（二）紀伊の國
▲午後八時（東京より）舞臺劇「三人吉三巴白浪」河竹默阿彌作、大川端庚申塚の場（一）兩國橋西河岸の場（二）場景、配役、和尚吉三（片岡我當）お孃吉三（坂東しうか）お坊吉三（市川松蔦）木屋手代十三郎（坂東鶴之助）傳吉娘おとせ（片岡當若）鷺屋又六（片岡門次郎）金貸太郎兵衛（坂東好三郎）厄拂の八五郎（坂東彌好）土左衛門傳吉（澤村源之助）鳴物連中（芳村伊久四郎社中）
▲午後八時三十分 時報（東京より）
▲午後八時卅一分 趣味講座「樂聖ワグナーの樂劇に就て」（第一日）「序説及ラインの黄金」村岡樂堂
▲ニュース、氣象通報

日本棋院秋季 大手合戰譜（第十一局）

先 三段 中山季還
初段 松林茂比古

●一二一 リ十一 ○一二二 ロ 二
●一二三 ヘ 三 ○一二四 ヘ 二
●一二五 ヘ 四 ○一二六 チ 二
●一二七 カ十五 ○一二八 ワ十五
●一二九 ワ十二 ○一三〇 カ 八
●一三一 ヨ 七 ○一三二 カ十四
●一三三 カ十六 ○一三四 ト 十
●一三五 ト十一 ○一三六 ホ十八
●一三七 ニ十七 ○一三八 ニ十九
●一三九 イ 六 ○一四〇 ロ 六

所要時間累計（白 五時十六分 黒 三時五十一分）（制限時間各七時間）

【7】

對局者のことば 黒 白百二十二を打たれたのでついでに百二十三、百二十五を利かせましたが、白百二十六と受けさせれば滿足できるやうなものゝ（チ三）のツケを失つてゐますから大した事はないやうです

黒 百二十七と打つてこの方面を守ることが出來たのはありがたいやうに思つてゐました、白百二十二の手あたりで百三十三にウチコマれ黒（カ十七）白（ヨ十七）とハネ出されても隅は無事では濟みさうもありません

黒 百二十九は單に百三十三にとイておいてよかつたでせう

黒 白百三十六、百三十八とワタられるヨセをうつかりしてゐたのは申しわけのない次第です

白 百四十のツキアタリは先手を取る意味でした、しかし普通に（ロ七）と受けておく方がよかつたかも知れません

戰の跡 ◇白百二十二は當に左下隅にウチコムべき機會だつた、對局者の言ふ如く百三十三にウチコミ、黒（カ十七）白（ヨ十七）黒（ヨ十六）白（カ十八）黒（ワ十七）白（タ十七）と手を着けて行けば勿論こゝに問題が起つたのである

◇黒百二十七と先鞭して守る事は出來たが、これにて必ずしも黒優勢とする譯には行かない

◇白百三十六、百三十八は巧みであつた、それにしても往々現れる形であるのに、これを看過したのは黒の不覺である

本社特選 新棋戰（其三）

平手 先四段 △加藤富久
四段 ▲建部和歌夫

【圖は六四銀迄の局面】加藤氏持駒歩

▲七五歩	△三五歩	▲七五銀	△同 歩	▲八六歩
△五五歩	▲同 銀	△同 歩	▲八六歩	△六六角
▲七五銀	△同 角	▲八九飛成		

累計四十手

土居八段講評 加藤君は三五歩と素早く突き出し敵角を牽制し、そして味方の飛車の横筋を通したのは可なるも、以下敵の七五歩に對し同歩は拙策、五五歩と突き、敵同歩なら、其の時始めて七五歩と指す所、又五五歩に對し敵七六歩なら同飛、七五歩、二六飛、五五歩、三七桂にて差支ないたのは、些か無理な嫌ひあるも、ここ茲に至つては、騎虎の勢ひ已むを得ない。建部君は自角の活用不可能な際に七五銀と犧牲にして飛車を侵入し

萩原七段解説 加藤氏の三五歩は、敵の六四銀の早計に乘じたもので、この邊の順は新進棋士の元氣横溢な處が十分に現はれてゐる、建部氏の七五歩は、次に六六銀と上られると、敵に三五歩と突かれる關係上、位負けとなつて面白くないので、七五歩と急戰に出たのである、加藤氏の同歩はその時同歩なら七五歩、同銀、五五の時同歩なら七五歩を突くべきで、其評の如く五五歩と突くべきで、其角出があつて良い、建部氏の八六歩は、五五歩を同歩と取つては、同角と出られて面白くないので、八六歩と攻め、一氣に飛車先を撃破せんとするのである、加藤氏の六六角は至當で、敵に七七歩と打たれては、同金、八七歩で惡いのである、建部氏の七五銀は、八七銀では八三歩、同飛、八四歩と打たれて惡いので、七五銀と指して飛車の侵入を圖つたのである。

國境安東に明粧す 氷の殿堂豪華版

全日本スケート選手權大會 けふ華々しく開幕

【安東】待望久しかりし全日本スピードスケーチング選手權大會はいよいよ三日午前九時から新粧成つた鴨綠江の大リンクで開催される、本大會が滿洲で最初昭和三年安東で開かれてから六年目に會場を滿洲に取戻し

再び 鴨綠江の銀盤上で全國の氷上スピードの最高峰爭覇が行はれる事になつたものでまことに極東氷上のオリムピアを以て自ら許す安東の最大の歡びである、外來各地選手役員も連日各列車毎に續々來安し二日午後までに全部到着し各旅館は滿員の態である、指定席券も殆ど賣切れの盛況で流石に日本スケート搖籃の地、安東市民のスケートに對する理解と熱意を

如實 に物語つてゐる、三日の開會式は全日本の代表選手を鴨綠江の大鐵橋を背景にさざ澄ました銀盤上に集めて廿五名の沙河口大ブラス・バンドの演奏裡に進行し空前の壯美を極めるであらう開會式の次第は次の如くである

一、選手入場
二、國旗掲揚（少年團に依つて）
三、交野大會長挨拶
四、岡本安東領事祝辭
五、選手宣誓（河村泰男選手）
六、久保田審判長の競技に關する注意

また本大會の主なる役員は次の諸氏である

會長 交野政邁子爵
顧問 山西滿鐵理事、關屋安東地方事務所長
總務 林田學、下田一夫、鈴木善作三氏
審判長 久保田晴光博士
決勝審判主任 岡部平太氏
計時主任 永田勝惠氏

この大會の主催者は大日本スケート競技聯盟となつてゐるが一切の準備と施設を引受け事實上の主催者となつてゐるものは安東運動協會であつて

開會 を迎へて數ケ月來の苦心と努力が酬いられた喜びを關屋同協會長は語る

安東が今年度の全日本スケート選手權大會々場を引受けた所以はこれに依つて安東の各種スポーツ、就中歴史古いスピード・スケーチングのレベルを高め全市に向つて明朗なスポーツ氣分を吹込みたいといふ理由に出たものであるが日本スケートの搖籃の地である鴨綠江でこの會が催されることはまことに意義深いものがある、がかういふ大きな競技會を責任を以て完成するには可なり骨を折つたが幸に滿洲體協、全滿氷上競技聯盟やとりわけ安東の關係者の非常な協力を得て殆んど理想的な

準備 を完成することが出來た、此大會が來るべき一九三六年獨逸で開かれるオリムピックに備ふるため劃期的記錄を作られる事を希望する（寫眞は大會準備全く成つた鴨綠江リンク）

井上司令官 岫巖縣城へ

【海城】井上守備隊司令官は土肥原特務機關長、于芷山司令、三谷警務廳長等と共に一日九時海城驛前大東旅館を出で獨立守備第○○隊○○隊○○○名及び滿洲國兵○○名と十三臺の自動車に分乘して爆音も勇ましく一路岫巖縣城へ向つた、尹海城縣長、高岡參事官及び縣の要人數名は旅館前より一行に加はり城南まで見送つた

板津中佐

【鳳凰城】獨立守備歩兵第○大隊長板津中佐は三十一日當地から高麗門にいたり同地より金谷安東憲兵分隊長、宮崎鳳凰城縣參事官、郭鳳城縣財務局長等と共に自動車で龍王廟に向つた右は同地で井上守備隊司令官、于芷山警備司令一行を出迎へ、討匪視察並に狀況報告のためであると

天照村の嫁さん 輿入れ遲る

小坂凡庸夫氏歸來談

【金州】馬家屯海岸天照園農業實習所の同園理事小坂凡庸夫氏が通遼縣錢家店天照村の同園移民約七十名に對し御嫁さんを連れて來ると報じて居たが昨三十日の定期船で歸來した、同氏は語る

內地で報じて居る樣に具體化して居る譯でなく簡單に行く問題でないので今回は連れて來る迄の運びに至らず且つ園生諸君の意向も尙早論が多く又自分としても女子の事であるから理想としては陸稻でもよいから米飯位食べさせ得る樣になつてから連れて來る事にする方が健康上の心配がなく、未だ一名も連れて來てないのであるから最初に來た者の結果が將來に重大な關係を持つ事になるから愼重に考慮して居る、而し園生中にも親戚緣者、兄弟等で彼ならやつてもよいと來さしてもよいと言ふ者もあり何れ近き將來には必ず實現する考へである

なほ本年度の實習生は約三十名とし今度は第三回目であるが例年より早く蒔付前に連れて來る積りであると

日本人交換方を置く

總局の通信能率化

【奉天】鐵路總局では通信能率向上のため各路局交換所の滿人交換方では所期の目的を達することが出來難いので日本人交換方を以て置き換へるべくその準備を着々進めつゝある

卽ち適材適所主義、有能の士は大いに拔擢するといふ人事行政上の新モットーの第一歩を踏出し、また鐵道經營のみでなく一朝有事の際における通信機關の占むる重要性を考慮に入れた場合一日も早く能率高き又民族意識強き日本人交換方を以て其の地位を占めて置く事は絶對に必要とするによるものである今各路局の交換所を俯瞰せば次の如くである

線	交換所	人員
奉山線	四ケ所	一五名
瀋海線	六ケ所	四三名
吉海線	二ケ所	一六名
吉長吉敦線	四ケ所	三一名
呼海線	三ケ所	八名
齊克線	二ケ所	一六名
洮昂線	二ケ所	九名
四洮線	五ケ所	四四名
合計	二八ケ所	一八二名

之等は凡て滿人であるが各路局平均九名、計七十二名位を日本人交換方で當てる豫定である、全國線電氣關係從事員は既に一千餘名に達して居り之の中にも日本人を相當增加せしむべく大いに能率刷新策を實施する意氣込である

養豚益金 國防獻金

【金州】金州小學校少年赤十字團では農事試驗場より仔豚の拂下げを受けこれを飼育しその賣却益金を年中行事たるキンヤブとか耐寒行軍等の經費に充當してゐるがその成績頗る良好で今回は團の經費を節約し剰餘金三十圓を非常時日本の國防費に獻金すべく金州民政署にその取扱方を申出たが金額は僅少であるが斯くの如きことは小學生徒に對し活きたる敎訓となり時節柄最も適切な事業で一般父兄においても大いに援助して益々盛んならしむべきである

滿洲各都市には 觀光施設が必要

神戸觀光委員等來奉談

【奉天】神戸市會議員觀光施設委員會員飛田信氏は朝鮮の觀光施設視察の途上來奉語る

觀光施設の備不備はその土地の發達程度を物語ると云つてもいゝ程重要な意義を持つて居る、又この施設によつてその土地を積極的に紹介することになり從つて發展の拍車ともなるものであらう、日本の大都市はこの頃急に此點に注意し初め極力研究を進めてゐる、百聞一見に如かずといふことをよく理解して土地の人は紹介につとめねばならない、統計や其他ちみな方面からほ其地を觀察する方法もあるがほんさに活きた觀察はむしろ街をぶらぶらして居て其の地の政治經濟の實際にふれることが却つて見誤ることが少い樣である、此の意味で新興滿洲國はこれから外人の觀光客が隨分增加することと思ふが觀光施設に充分注意を拂ふ必要があると思ふ、第一奉天に觀光バスがないではないか、これは大きな缺點だ

尙同氏は一日はさで大連に向つた

國幣高の畫く波紋 全滿を搖ぶる

漸く經濟界の惱み化す

【鞍山】問題化し來つた滿洲國國幣高の惱み——滿洲國の銀本位制度實施に關してはその當初より囂々たる贊否兩論が戰はされたものであつたが、その後における國幣の暴騰は遂に全滿經濟界に不測の甚大なる打擊衝動を與ふに至つたため今や各方面の不滿高まり漸く問題化されんとしてゐる

卽ち當地昭和製鋼所の如きは滿洲國幣發行の直後に於て從來小洋建私定換算率に依つて支給してゐた滿人勞働者の賃銀等月額十萬圓に上る滿人への支拂を一齊に國幣建國幣拂に改め實施して來つたところ當時金圓對八十六圓の國幣相場は忽ちにして金圓を凌駕し既に今日百八圓を稱へてゐる如く二割強の暴騰を示すに至つた結果、製鋼所の滿人向諸支拂は早速不測の大膨脹を來して月額二萬餘圓年額實に二十五、六萬圓に達する支出增を生來し豫期せぬ大打擊を蒙るに至り、九年度豫算編成期を前にこゝもと漸く問題視して對策に腐心してゐるわけである

而して右は獨り製鋼所のみならず滿鐵本社並に撫順炭礦その他各大事業筋何れも同樣の立場にあり一般滿人家筋の仕入等に關する不便危險性とともに甚大なる損失、危險を感ずるところたるべく、かくては日滿經濟ブロック結成の根本にも悖るものとして問題は重大且つ愼重なる考慮を要するものとされてゐるが、更に言は滿洲國自體が既にその缺陷を置てゐるもの〻如く最近の國產低物價と輸入品の高物價現象は滿洲國財政のバランスに不都合を生じたことさへ傳へられて居れば遠からず再吟味の問題が起るであらうと

金州の義士會

【金州】二十八日午後六時より金閣寺で行つたが先づ本丸鄕軍分會長司會者側を代表して開會の辭を述べ次いで行事次第書順により第一に民政署本田庶務課長署長の代理として明治初年義士に賜りたる御勅語を捧讀し第二に大石良雄愛讀の遺敎經八大人覺を一同にて讀經次には大連鄕軍分會顧問脇屋二郎氏の義士の心得と現代思想についてといふ講演ありそれより餘興義士のなには節終りて手打そば饗應終りて一同南山上に登り東方を遙拜し往時を回想して冷酒を酌み下山解散したのは十一時三十分であつた

長城第一線を視る（2）

王府に貼ったビラ 曰く『平田活菩薩』

古北口にて 鵜川特派員

凌南に第一夜の夢を貪つた一行は午前七時と云ふに早くも營庭に勢揃ひし行き届いた山崎部隊の歡待に何れも感謝の意を表しながらこの熱河省南隅の一都市におさらばする、關縣長以下官民は前日の通り街外れ迄出て見送つて吳れた、凌南に來て特に記者の眼を惹いたのは蒙古人の多い事であつた、武藤縣指導官の話によれば縣民の四分の一を占めその多くは農業に從事してゐるが王府に稅金を納入してゐる關係上縣が課稅しても徴收出來ず一面滿洲人とシックリ融和せず事每に對立してゐると云ふ事である、熱土滿洲の一隅ここにも民族的鬪爭のあるのを遺憾に思つた

◇

一行を乘せたトラックは左右山を以て劃する盆地の如き高原を一路平泉に向つて疾驅するが興安嶺颪は氷刃のやうに背中から下腹に突き刺して來る、迚も言葉で云ひ表はせない寒さである途中蒙古王府のある八家子に下車、默爾春額王の案內で王府に入る、王府は輪奐の美を極めた壯麗なもので中に佛像の安置あり、玄關に「軍營冠東亞」とか「極我民於水火」等と大書した赤、青無數のビラを貼布し歡迎の意を表してゐた、記者はその中から「平田是活菩薩」のビラを發見し平田統監に「閣下この文句は如何です」不圖氣を惹くと平田統監はニコニコし乍ら「はゝア活菩薩か？振つてゐるな、俺は活菩薩どころか生臭菩薩だよ、わつはゝゝ」と爆笑した

◇

凌南から八十三キロ、これを一氣に突破し一行が凌源についたのは正午少し手前であつた、一同は田中部隊の好意により同部隊集合所で晝食を攝つたが折角凌南から用意して來た辨當は岩石の如く凍り水筒また氷結して一滴も出て來ない、五體は硬直して感覺を失はんばかりなのに午後一時再び車上の人となり、凌源を出發する、凌源は錦州と違ひ瓦葺の家屋多く街の輪廓は小さいが相當ガッチリしてゐると見受けられた、トラックはソレより滿洲國國道建設局の開鑿にかゝる坦々砥の如き承德街道を疾風の如く走つて同五時平泉に着く、この日の行程百八十キロ

◇

平泉は海拔六百五十米、喜峰口へ二百九十支里、承德へ百八十支里、赤峰へ四百支里、熱河省內交通の要衝に當り人口滿人約二萬、邦人約三百名であるが併し解氷期を迎へ諸種の土木事業が勃興すれば慾に五、六百名には達するであらうとの豫想である、保月警察署長はこの地方の風土病として珍しい話をしてきかせて吳れた

平泉と云つても街はづれの瀑河を渡つた南方山中ですがその地方には甲狀線腫脹に據る瘤男、瘤女が多いのです、これは奉天の醫科大學あたりでも研究中であるが土地の滿人等は水質に原因するものだと云へ又岩鹽を多く使用する結果だとも云つてゐます、まだ判つきりしませんがこの瘤は男より女に多いのも面白い現象だと思つてゐます（寫眞は平泉の瘤男）

日滿鮮色彩かに 街を飾る女車掌

奉天に滿人女車掌

【奉天】青バスと對抗して奉天の街を驅る黃バスはサービス主義で改善しつゝあるが最近更に滿人の若い女性を車掌に採用すべく目下養成中で近く日滿鮮色とりどりの女車掌が國際都市の色彩を添へるであらう、處が初め日本人の女車掌が大部分だつたもので最近では殆ど朝鮮人に變つたこれは日本の女性は勤務に堪へない關係で元來隔日勤務であるが鮮人は收入を多くしようとして連日勤務をなすといふ有樣で六十圓位の收入になつてゐると

日鮮滿對抗 氷上競技大會

十一日奉天で擧行

【奉天】二月三、四日安東に於て全日本氷上選手權大會開催後一週間卽ち二月十一日（紀元節）に奉天國際運動場に於て日鮮滿對抗氷上（スピード）競技を擧行することになつたがその要項は左の如し

一、競技は午後一時より開始
一、競技種目 五百米、千五百米、五千米、一萬米、三千二百米リレー
一、出場人員 一チームより各種目に四名宛
一、得點 六、五、四、三、二、一、但しリレーは五、三、一
一、賞 優勝チームは大阪朝日優勝旗
一、主催 全日本スケート競技聯盟

滿洲國鐵道 民間株買收

【奉天】滿洲國では從來民間會社によつて經營して居た瀋海、呼海、齊克、各線の買收を行ひ經營統一をはかつて居るが瀋海線は株主の明確でないもの等あり接收上支障を感じて居たがいよいよ舊正月も接近したので正月迄に全部買收を終る豫定で手配を行ふことゝなつた、卽ち總額千二百萬圓で其の中瀋海線の六百萬圓中四百萬圓は中央銀行の有する所なので殘り二百萬圓が買收される筈で株主不明其他のため約半額の買收を見る見込で呼海齊克は全額買收を行ふ筈である

總局路警員 增員隊着奉

【奉天】鐵路總局自動車經營路線の擴張につれ路警の增員を必要として居るのでかねて關東軍職業補導部に委囑退役軍人より詮考中此の程漸く採用者決定百五十名は身廻り品をごつさり抱へ込んで一日一勢に總局に到着した、中約半數は直に各現地に赴任するが殘りは路警敎習所で一ケ月訓練を受け先赴任者と交代赴任することゝなつて居る

圖們邦人民 會議員改選

【圖們】新興都市圖們の內地人居留民會議員改選の結果左の諸氏當選した

國澤宇吉、山井傳松、橫山靜、鍋島哲三

中外蠶糸會社

【奉天】撫順東一番地九撫順警察出張所に於て山本氏を中心とし福地才四郎氏等發起人となり中外蠶糸株式會社を創立すべく趣意書を各方面に配付贊同を求めつゝあり その事業概目は

一、株式會社組織とし資本金五十萬圓（一萬株）一株五十圓とす
一、名稱は中外蠶糸株式會社
一、營業目的は
1、野蠶製糸
2、家蠶製糸
其他之に關する附帶事業但し當分內野蠶製糸のみとす

新學期から 二學級增設

路立小學校で

【奉天】路立小學校は現在九十五學級を有して居るが三月の新學期から二學級の增設を見る外春秋二部學年制を廢し春期一學年制を採用することゝなつた

尙滿人從事員の子弟敎育上學級增加學校增設を要望されて居る一方日本人の沿線從事員が最近激增するに伴つて住宅設備その他特に子弟の敎育機關不備の結果從事員は家族の分住するの餘儀なきに至つて居るがこれは能率上に影響するものとして從來の日本人學校の學級增加或は學校の新設等對策の確立を急いで居る

大石橋の朝鮮 民會定時總會

【大石橋】大石橋朝鮮民會では一日午後一時から民會經營東成學校講堂で第三回定時總會を開催役員の改選及び補助金の有効使途等有要事項の審議を爲した、顧問赤倉龜次郞氏及び監督官三浦大石橋署長代理反田警部補、來賓協和會美座主事等列席し委任狀提出者二十五名出席、四十二名の出席歩合を以つて定時開會、新役員左の如し

△會長鄭在龍△副會長元致福△評議員金濟、桂定秀、韓德信、咸正宗、金君補、金奉守、李鑫欽△顧問赤倉龜次郞氏、地方係長猪崎勇氏

節分厄除法會

【營口】營口曹洞宗禪隆寺では節分厄除法要を三日午後一時から嚴修し、參詣者には希望に依り三河豐川本院の守札を授與し尙餘興に福引を催す事なれば多數參詣せられたしと

旅順放送

▲滿洲野宮造營に關しては市理事者に於て鋭意準備を進め近かく具體的實施に着手する事となつたので今回市會議員、各町總代、關東廳、軍部、新聞關係者を評議員に囑託した

▲旅順第二小學校では來る三日午前九時から大正公園に於て氷上運動會を開催する

▲第三回全旅順卓球大會は例年の如く小森運動具店主催、四日午前十時より同店に於て主將會議を開催することゝなつた、チームは管內居住者にて選手五名、補缺二名、申込金一チーム一圓五十錢申込みは二日午後七時迄

▲奥地に於て名譽の傷病を爲した勇士二十五名は二日午前九時十分着列車にて來旅する

▲新任大連憲兵分隊陸軍憲兵少佐飯島滿治氏は一日各方面に對し着任の挨拶を爲した

▲加藤東金堂では三月二十五日より六十日間長崎市主催の國際產業博覽會及び四月橫濱商工獎勵會に對し特產「高粱しるこ」の宣傳、休憩喫茶店を開設し大に滿蒙農畜產事業を宣傳するさ

▲御影池大連民政署長は一日午後一時半關東廳を訪問、三時歸連した

拉濱線の出廻澁滞 根本的原因伏在か

總局、對策に乘出す

特産品質の改善、共販組合等

【奉天】拉濱線の使命は軍事的産業的に又其の結果として對北鐵との政治的使命を持つものであるが既に開通以來數旬を數ふる今日全く其の特産出廻期に在るに拘らず全く悲觀材料の加重により各方面より相當憂慮の眼を向けられる樣になつたが例年の出廻りに比し拉濱線に當然持込まるゝ貨物も

北滿 泰安、寧年、安達等に餘り出廻つて居ない狀況よりして又南滿特産物とさるゝものは例年の如く社線國線下九臺、龍潭塑等に出廻るに鑑み何等かの特殊事情あるのではないかと調査が進められて居る、尤も濠江撫松等の特産は匪賊跳梁のため海龍への出廻り非常に少いといふ事情に在るが北滿の不出廻りに比し理由確然たるものである、茲に北滿大豆不出の理由として海外特に歐洲の需要減、鐵驪、品質の粗惡等が考へられるが粗惡はその需要の減退を來し殆んどそれが根本的なものと考へられるので總局地方科では品質改良を目指して先づ優良種の配布を今春播種期より

先づ 鐵道沿線に行ふ筈である、農事改革には相當長年月を要し公主嶺農事試驗所では北滿適用の改良種が生産出來ないため北滿大豆の徹底的改良には意外に長年月を要するのではないかと見られて居る、その外油穀類小麥の生産も大いに奬勵する筈で茲一、二年の特産安のために受ける農民の苦痛に對してはその政治的影響も考慮され何等かの對策が要望されて居る、その對策として生れた特産共販組合も小農者には搾取機關としてしか映じて居ない狀勢に對する對策も要請されて居る

奉天の天然痘 百名を突破

入院患者の一大脅威

【奉天】當地の天然痘は後をたゝず患者續出し三十一日は更に六名の新患者が現れ本年に入つて遂に百名を突破し合計百四名の發生數を出してゐるが三十一日の新患者は

富島町一二白石三代乃（一九）大連署鑛街木田滿子（二六）鈴木春子（二九）淺間町山本讓（一四）琴平町一渡邊吾市（三〇）江の島町二江崎節子（五つ）

で更に三代乃と滿子は醫大醫院精神病舍に入院中の患者又春子も眼科入院患者で醫大醫院の入院患者で天然痘にかゝつたものが十數名の多數に達してゐるが殊に精神病舍の入院患者が天然痘にかゝるなどは極めて珍しい事であり入院患者は多大の脅威を受け病院當局としても大狼狽し之れが防疫と豫防に努力してゐる

更に臨時種痘

【奉天】奉天署で先月施行した臨時種痘では之を受けたものがまだ管内人口の半數にも足りない有樣で依然天然痘患者續出に鑑み一日から左の如く種痘を施行することゝなつたので種痘を受けないものは此際是非共之を受けられたいと

▲二月二、三の兩日午後一時から三時まで奉天署と消防隊の二ケ所で施行
▲同五日午後一時から三時まで彌生小學校
▲同六日春日小學校

金州臨時種痘

【金州】當地警察署では去る十七八の兩日希望者のみに臨時種痘を行つたがその後痘瘡が各地に益々猛威を振ふので更に管内全部に臨時種痘を行ふ事となり左記日割により各警官派出所で施行すると

一月三十、三十一日八里庄、七頂山、二月一日相川村、清橋子、二日三十里堡、馬橋子、三日廠響寺、大孤山、四日山咀屯、大孤山、五日鹽廠屯、六日蘇家屯、黄咀子、七日、八日金州驛前、上江家、九日本署、五江家、十日本署、劉家店、十二日北三里庄、董家溝、十三日劉家店、董家溝

奉天驛の改札 愈々始まる

第一日のナンセンス

【奉天】愈々一日から奉天驛の改札が實施された、通過列車は發車五分前、始發列車は二十分前、輕油動車は發車十分前何れも改札してゐるがいつもならホールからホームへ素通り出來たものが今日は出口に柵を設けられて通ることが出來ないので改札口へ詰寄せ汽車に乘遲れはせぬかと氣をもんでゐるのを驛員が一々說明して追返すが又集まつて來るので整理に苦しんでゐる そして改札が始まると一度に押寄せるのでこれ亦一列に整列させてゐるが自分の持つてゐる切符で改札を通して呉れるか何うかと心配して驛員に確めてやつと安心するなどのナンセンスを演出す、入場券は無料のため通常と少しも變らず今日は却て多い位で午前十時半までに發行した入場券數は四百八十二枚で此調子で行くなら今日中には豫想八百枚を遙かに突破して一千枚以上に達するものと思はれる

インチキ商賣人

奉天署斷乎一掃の肚

【奉天】市内千代田通二十九番地細井松太郎氏は東京市生れ彌生町四十番地石部清藏（四〇）を相手取り奉天署に告訴したが探聞するところによれば石部は昨年一月東京より來奉し市内富士町よねや旅館に投宿し大同協會員、皇華會員の名刺をバラまき自分は軍部に自動車を仕入れを仕事してゐるものであると出鱈目をいつて大袈裟なことを宣傳してゐたものであるが結局金に窮し浪速自動車商會に泣きこみ昨年八月から外交員となつて働いてゐた處その間取引先よりの集金三千圓を横領したものでこの外滿洲の景氣につけこむ内地よりのインチキ商が多數奉天にも入りこみ内地から大資本家が近く來滿するからと詐稱して共同出資を求めその間惡事を働き警察沙汰となつてゐるものが數件に上つてゐる始末で善良な人々に迷惑を及ぼすこと甚だしく奉天署ではかうしたいまはしいインチキ業者を一掃するため徹底的取調べをなし不良分子を驅逐することゝなつた

各地

◇營口 港灣に關する權威者直木倫太郎博士は今回新に滿洲國國道局長に就任、營口地方を巡視することゝなり第二技術處長覚博士後藤治水科長、本庄水利科長等を伴ひ二月二日遼河上流を視察し三日午後一時二十分着で來營し遼河に對し詳細な視察を行ふと

◇營口 三井物産株式會社牛莊出張所は二月一日より從來の牛莊を廢し三井物産株式會社營口出張所と改稱した

◇營口 滿洲國の度量衡器は從來より製造修理販賣等自由にして放任せられ其器物極めて粗惡なりしも何等監督の制度は固より不正商人の取締等の事なく放漫の態であつたが今回度量衡法令發布さる事となれば實地調査の必要を認めこれが調査員を近日中營口に派遣する旨實業廳より通達を授けた來營實地調査員は二名で奉天省一齊に調査に着手する筈にて之れが完成の曉には一般の利益は多大なるものなるべしと

◇營口 營口地方事務所にては二日午後六時より武藏野に於て情報關係者を招待し盛宴を張つた

◇鳳凰城 鳳凰城滿鐵煙草試作場では今回朝鮮專賣局製造課長宇治川技師を聘し三十一日午前九時から鳳凰城小學校で葉煙草に關する講習會を開催した、講習科目は滿洲產葉煙草の製造上より見たる價値並に栽培上の改善に就いて聽講者多數頗る盛大であつた

◇營口 太田營口領事、松木營口警察署長の兩氏は三十一日瓦房店地方の初巡視を行ひ一日午後五時十一分着列車で歸營した

◇奉天 栁井司法領事は二日溝幇子に向つたが國際運輸の出張員殺害事件に關する證人取調べのためである

◇金州 小學校長中山武氏は母堂死去のため三十一日夫人帶同郷里三重縣に歸省

金州神社神苑築造委員會

【金州】三十一日午後一時より民政署に各委員參集先づ圖面につき大體の協議を行ひしも結局實地につき計畫する事となり一同神社境内に至り境界其他諸種の施設、植樹の種類、位置及方法等につき各委員より色々意見あるも容易に纏まらざるため結局大和田、佐多の兩委員に具體的の計畫を一任する事となり植樹の勞力は青年團、郷軍分會員其他一般市民邦人にて奉仕する事にすると

情婦殺し滿洲に高飛

【奉天】大阪府豐野村理髮業杉本重里（二九）は去る十八日豫て情交關係のあつた同村呉服行商毛利善太郎の妻さく（三五）が裏庭に於て用達中突然背後より斬りかゝり慘殺して逃走滿洲方面に逃走したので手配により目下嚴探中である、重里は女もあらうに十七を頭に四人の子供を有するさくを慕ひ常にさくに滿洲まで駈落しやうとすゝめてゐたが十八日さくは之を聞き入れなかつたのでスッカリ變心したと見てこの始末に及んだもので、彼は張昌宗が大分縣別府に亡命中支那軍の指導員として採用方を熱望してゐた事もあると

横領駈落男に判決

【奉天】二萬圓からの堅いセメントを喰つて藝者を落籍し京城まで巧に落ちのびたが遂に發見されその後領事館において取調べ中であつた元滿鐵社員中谷道三に係る横領事件は一日午前十時から總領事館法廷において栁井司法領事高田書記生、長川檢事事務取扱立會の下に左記の判決言渡があつた

懲役一年六ケ月、中谷道三、同一年罰金田村佐假名、同八ケ月罰金二百圓吉村半次假名、同一年罰金百圓入江清一郎、同八ケ月罰金五十圓田原友太郎で田村入江、田原の三名は何れも三ケ年の執行猶豫を言渡された

チチハル花街 十二月の稼高

【チチハル】黑龍江省の歡樂郷、チチハル花街の師走は黄金洪水だつた、官廳會社員のボーナス、土木請負業者等の純益の大半は、紅灯、青い灯に吸ひ込まれる樣に流され、暖かい懷が冷えた時には天主教の除夜の鐘が鳴り渡つてゐた

——チチハル領事館警察署の調査による十二月中の市内カフエー料理店の稼ぎ高は

料理店　九六二一〇圓三二錢
カフエ　五四八七一圓七二錢
合計　一五一〇八一圓九五錢

即ち十五萬圓以上の金がバラ撒かれたわけで、これを軒別にみると料理店では滿壽花の一萬二千七百六十一圓十錢を筆頭に青楊、ハルビン館、一樂、松の家、七福等がつゞき、カフエーでは紅屋の五千五百二十二圓六十錢が依然トップを切り第一ミスチチハル、サロン地球、ロンドン、キング等の順である

遼陽片々

▼遼陽縣治安維持委員例會は三十一日午後十時から驛樓上會議室に於て開催、鞍山守備隊、警察署地方事務所、縣公署其の他から關係者出席道路敷設其の他の件に付協議があり十二時散會したと

▼警察署では去る一月十八日關東廳に於ける資源調査會議に於ける注意事項に付三十一日午前十時から工場關係者を招集指示協議する處があつた

▼滿鐵道場の寒稽古納會では青年組の地稽古幼年組の紅白、高點試合を催したが入賞者は堀川（一等）池田（二等）小笹（三等）猿渡（四等）伊藤（五等）で劍道部皆勤者は青年組姫野虎彦、久保重雄、松原寛人、古澤爲次、楢本一男、高木富治、宍手春市、幼年組折戸、中村、鹽見、金、小笹、鶴田（兄）鶴田（中弟）鶴田（弟）廣田、伊藤、小川、鈴木、池田、諸井、大浦、堀川

▼輸入組合では三十一日午前十時から渡邊帽子店の見本展示會を催した

▼新京線路局に榮轉の中村前地方係長は三十一日はさて赴任、平原新任地方係長は同日はさて家族携行着任した

太田總局次長

【奉天】鐵路總局では目下豫算編成中であるが各路局の申請に對する査定のために太田次長、山領工務處長、龜岡經理處長、木村運輸科長等一行は去る十五日以來沿線出張中であつたが一月末視察一段落を告げ歸奉した、三日更に京圖線視察に向ふ筈である

財布を盗む

【奉天】市内青葉町二十一番地森口俊夫の不在中洋服の下にあつた現金四十七圓入りの二つの折財布が紛失してゐるのを二十六日發見屆出により奉天署では犯人搜査中三十日同町居住無職迫[illegible]（二二）を取押へたが、は係官の取調に對し犯行を自白すると共にその金で西塔朝鮮料理店快樂に登樓遊興に消費した事をも自白した

女の部屋 (82)

林芙美子作　一木弴畫

花束（一）

初霜がおりたらしく、窓の硝子が白く乳色に曇つて、その裏からうらゝかな朝陽が、黄ばんだ暖かさうな光で照り初めてゐた。

中田は何時になく清々しい氣持で眠りから覺めた。

昨夜は何時もに比べて、局部の疼痛も遙かに輕くなり、約二週間不眠の爲めに頭の隅に鉛のやうに重くたまつてゐた眠氣もやうやくいくらか拭ひ取られて、頭もずつと輕くなつてゐた。

パッチリ開いた眼で、先づ室内を見廻した。笠置夫人の心づくしから、室も東南向きのこぢんまりとした清潔な特別室に、看護婦も三人程交替でつけられてゐた。

中田は自分が大手術を受けて彼になるかならないかの境を彷徨してゐる大怪我人である事も忘れて此の病室を恰も何處かの高級旅館の一室かのやうに一瞬間思つた。

床頭臺の上には青磁の花瓶が大輪の薔薇の花束を抱へて立つてゐた。花束の根本は緋色の絹のリボンで結んであつた。

——君江さんが持つて來てくれたのだつけな。

別に何と云ふ事もなしにふと君江が訪問してくれた時の事を憶ひ出して微笑した。

それは昨日の夕方であつた。西に廻りすぎた夕陽が病院の建物に沿つて長く斜に尾を引いて、窓硝子の枠の片側丈を明るく照らしてゐる頃であつた。白衣の看護婦の後から、職業にも似合はずすらりとした令孃趣味の袷姿の君江が、薔薇の花束を胸にかゝへて、夕暮の氣分に相應しい淑な笑みを湛へて入つて來た。

——如何？

——え、ありがたう。

君江は口に譫らせずに目や表情に譫らせる方の女であつたので、そのまゝ默つてベッドの傍に立つてゐた。中田も病狀を說明するには餘りに患部の痛みが激しいので時々顔を顰めながら默つてゐた。

看護婦が花束を花瓶に挿した。

中田はその大輪の薔薇を見てゐる中に心のこりが少し宛されて行くやうに思つて、ほつとした。

——お痛いでせう？

——ちつとも眠れないので閉口です。

〔二〕それから歸る迄約十分程、君江は酸つぱい時にするやうな表情でいたいたしげに中田のげつそり削げた頬、血色のなくなつた頬を見てゐた。そして來た時と同じやうに音もなく歸つて行つた。

後には薔薇の香ばかりが馥郁と香つて殘つた。間もなく夕闇が總てを呑んで了つた。

中田は電燈をつけやうとした看護婦を遮つて、少しこのまゝにしておいてくれるやうに賴んだ。

それから色んなとりとめのない事を小一時間も考へてゐたらうか彼は夕食もとらずにそのまゝ昏々と深い眠りに陷入つて一氣に今朝まで眠り通したのだつた。

看護婦が取つてくれた熱いタオルで顔を拭いた。二の腕から首の邊りにかけては看護婦が自分の手でやつてくれた。

彼は何となく歌ひ出し度い程快活になつてゐた。

——すぐ珈琲御取りになります？

中田は點頭いた。看護婦が向ふの端の硝子窓を半分程引きあけると、雀の淑しい囀り聲が急に室一杯に流れ込んで來た。遠くを走る電車の音が山越しに津浪を聞くやうに莊重に響いて來た。

その時、輕いノックの音がした。

萬家必備の家庭圖書館！造本美の限を盡して壯麗無比！

大百科事典

全廿六巻愈完結！大業遂に成る！

確保せよ絶對最終の好機！

果して聲明通り出來るか、中途挫折しないかと最初は隨分危まれた。為に『必要だが全巻揃つた上で』と申込を差控へた向が多かつた。處が今や『月一回必ず配本』の聲明は如實に實現した。平凡社への信賴と大百科事典への賞讃は俄然として高まつた。特價再募の要求が全國的に捲起つた。此の國民的要求に應ふべく我社は茲に最終の特價提供を決意した。即刻此の世界的大著を確保せられよ！

出版界空前の大特典提供！

代金は月々拂ひで本は全巻一時配本の大特典！

完成記念特價大發賣

見よ！魅力百パーセントの此の思切つた大膽な發賣法！

豫約規定

甲　全巻一時拂—全廿六巻即時配本（申込順）
A　一冊四圓【全額壹百四圓】　B　一冊五圓【全額壹百卅圓】

乙　十三回分拂—月二冊配本。四ケ月目に殘廿冊一時に配本お預けす。
A　毎月八圓五十錢拂込。　B　毎月拾圓五拾錢拂込。

丙　廿六回分拂—月一冊配本。七ケ月目に殘廿冊一時に配本お預けす。
A　毎月四圓五拾錢拂込。　B　毎月五圓五拾錢拂込。

□送料—東京六錢・內地卅錢・臺台六十錢・南滿鮮七十五錢　但、全巻又は廿冊纏めての場合はその實數

内容見本贈呈　はがきにて申込まるれば直ぐにお送りいたします

實物は書店に　全國書店に配本目下發賣中即刻申込下さい

申込〆切　**二月廿八日限**

質・實・量　断然世界第一！

斯の如く完備せる大百科事典が斯の如き廉價にて提供せらるゝは世界出版界の驚異であり日本出版界の誇である！

全巻揃つて一時に配本の用意が出來ました。豫約規定を御覽の上、即刻申込下さい。

質に於て世界第一

第一に清新である。——世界の何れの百科事典の例に見るも、着手後完結まで長年かかる。從つて內容が古くなる。我が大百科は着手後二年余にて完結したから最新の學術的社會事象を悉く網羅してをる。第二に正確である。——千余の專門的權威者が責任執筆せられたもので內容が生々してをる。勃興期にある日本の學界を代表して解説に於ける態度と視野が學的に頗く正しい。第三に完璧である。——歐米の百科事典は概ね歐米中心の態度で編輯され、東洋に關しく薄く誤謬が多い。わが大百科は東洋全般のことにも歐米のことにも詳密正確である。

量に於ても世界第一

綜合多解説を特色とするブリタニカ（英）は、一語一語の説明こそ長いが、項目は我が大百科の半分しかない。個別的解説を特色とするマイエル（獨）は、語數においてわが大百科にほゞ匹敵するが、一語一語の説明が簡略に過ぎる。わが大百科は右のブリタニカ、マイエル兩書の特色を巧に取り入れた最も進歩した編纂である、語彙も豐富で而も一語一語の説明も割合詳密であるから、その實質分量もまた豐富である。

廉價に於ても世界第一

著名百科事典の價格を比較するに（丸善調）、ブリタニカ（英製）一冊十五圓、ブロックハウス一冊三十七圓餘、マイエル一冊三十五圓餘、ラルッス一冊が五十圓である。わが大百科は一冊僅かに四圓餘（並製特價）である。

満腔の感謝

平凡社長　下中彌三郎

私は殆ど學校教育を受け得ないで育つたために書物にばかりたよつて學問しました。私が教壇を去つて出版事業を始めた動機も、また立派な百科事典を世に送りたいと願つた動機もみな私の經歷が然らしめたのです。私の要求するところ他もまたこれを要求するであらう。私は常にこの信條に立つてゐます。私は完備せる百科事典を要求する。故によき百科事典は隣人同胞の要求であり、萬人家庭の要求であらう。世のため人のため完備せる百科事典を出版して書籍恩に報いたい。これが私の百科事典出版に對する一貫不惑の念願だつたのです。

我が大百科事典は、横に全世界に亘り、縱に全人類史を貫いて、如何なる事象も、凡そ求めて得ざるなく釋いて詳かならぬはない。現代文明が有つ萬有知一切識の巨大なる實藏であり、精神の糧として萬人の日常生活に缺き得ざる一大家庭圖書館であり、坐ながら學び得る一大綜合大學である。

此の大百科事典の刊行に當り、我が學界の諸權威が、快よく參加せられ、知と時と勞とを惜みなく提供せられ、編輯員諸氏また忠實熱心に事に當つてくれ、印字製版製圖寫眞印刷製本に關係せらるゝ諸君またよく責任を以て分擔せられ、お蔭で、我が國にはじめて世界的に遜色のない大百科事典の大成を見るに至つたことを私は茲に我か平凡社を代表して厚く感謝するとともに、全日本三萬の豫約會員諸氏が、我が社を信じて海のものとも山のものともつかぬ最初から豫約者として參加せられ、間接この事業を支援せられたことをもまた深へ感謝致す次第であります。本書廣宣普及のためなほ此の上の御力添を切にお願ひいたします。

規模

計畫後廿余年　改案五たび　固定資七十萬　項目數十八萬　内容語五十萬　總頁數二萬餘　總字數六千萬　執筆者千二百　本文挿圖三萬　別刷圖錄三千　編輯延人員十八萬人　工務延人員三十八萬人　完結前豫約者三萬餘人

規畫　四六倍大判。七ポ四段組。每巻八百頁內外、內別刷原版寫眞版等百五十餘頁

装幀　A特レザークロス裝背金空押模樣上製　B背革角革天金背金堅牢豪華美本

定價　A 每一冊五圓五十錢　B 每一冊七圓

平凡社　東京日本橋呉服橋三　振替東京二九六三九

小兒科專門　金子醫院　醫學博士　金子甚藏　大連西通七八◆電七六六一　◆西廣場電車通中側

性病　梅毒・淋病・軟性下疳・皮膚病　野中醫院　大連吉野町二五・電六四四一

性病・皮膚病・淋疾器病・生殖器障碍　井上醫院　大連市浪速町一丁目　電話五二六〇番

科歯内堀　階二館央中場広西　士学医科歯京東　宗内堀　電話22990番

産婦人科　岩男醫院　大連市三河町十八　電話六四六六番　岩男診察室　保科診察室

眼科專門　王仁医院　大連市西通（西廣場電車通）　電話六七五二番

皮膚・淋病・梅毒　済生医院　西廣場映畫館橫入ル　大連市三河町二　電話七八八七

ぢ疾・性病　神經痛・リウマチス　結核・豫防接種　弘済医院

大連汽船出帆　青島上海行　午前十一時　奉天丸二月三日　大連丸二月六日　青島丸二月九日　天津行（大津滑行）天津丸二月五日　長平丸　天津丸　龍口行　龍平丸　基隆高雄行（船客搭載）　山西丸二月四日後四時　山東丸二月十三日後四時　敦賀伏木新潟行（船客搭載）　河北丸二月八日後五時　河南丸　芝罘・清津・雄基行（船客搭載）　遼河丸二月五日　大連・阪神行　龍鳳丸二月六日　大連汽船株式會社　電話代表番號七一三一番　專屬荷客取扱店（大連敷島町）永和公司　電話七二七五・七八六八　澤山兄弟商會　電話四三二六五・四六八一　丸二商會　ジャパンツーリストビューロー

日本郵船出帆　歐洲行　豐橋丸　神戸大阪横濱行　摩耶丸二月十四日午前

近海郵船出帆　長崎鹿兒島行　千歳丸二月十日午前十一時　横濱行　勝浦丸　宮浦丸　淡路丸　天津行　宮浦丸　淡路丸　岐阜丸　基隆高雄行　第二養老丸

朝鮮郵船出帆　青島仁川行　會寧丸二月十二日　仁川、博多、長崎、鹿兒島、三角行　錦江丸二月九日

嶋谷汽船出帆　北陸、北海道行　天海丸二月七日　明石丸　朝海丸　北鮮新潟直航線　清津發　雄基發　島谷汽船株式會社大連出張所

阿波共同汽船　芝罘、威海衞、青島行　第廿六共同丸　芝罘、威海衞、仁川行　第十六共同丸　芝罘行　第十八共同丸　仁川行　長山丸　天津行　長山丸　阿波國共同汽船會社大連支店

大阪商船出帆　門司、神戸（大阪）行　午前十時出帆　香港丸　うすりい丸　ばいかる丸　亞米利加丸　はるぴん丸　うらる丸　天津行　横濱行　大阪商船株式會社大連支店

日清汽船大連出帆　青島上海行　香港廣東行　大阪商船株式會社大連支店　國際運輸株式會社

松浦汽船大連出帆　芝罘行　昌平丸　尾道行　南、芝罘、仁川行　利通號　門司、廣島、尾道、宇野、今治行　照國丸　松浦汽船株式會社

川崎汽船大連出帆　船客及貨物　各船　清水、横濱行　高雄丸　呉淞丸　山下汽船株式會社大連支店

造花・花環・徽章・裝飾・材料　やらば　大連近江町西廣場角・電三九一〇

按摩　文一　電話　アンマ口　21670

南蠻彩船 (31)

鈴木氏亭作　布施長春畫

石川五右衞門(二)

「あつ！」

遍路姿の南蠻堂坤齋は、いま宿院の大鳥神社の鳥居の下をくゞらうとして、ふと怪しい者が鳥居の頂の笠木の上に、腰掛けてゐるのを發見した。

彼は、今宵助左衞門の利き腕を神變無想の幻術で押へつけ、小平次の危急を救つて、助左衞門に一泡吹かしてやつたことに、復讐の快感を味ひながら、ひとり會心の笑を頰邊に浮べて、百舌鳥村の森林の中の隱宅に歸つたのであつた。

そこで、彼は不思議な人間を見た。

それは、河内國石川村の五右衞門であつた。

彼は、五右衞門が、甲賀流の忍術に依つて亞禮奈を飜弄し、月遁の術に依つて姿を隱し、堺の町に遁れたのを見ると、これたゞごとならずと、彼の跡を追跡して來たのであつた。

仲秋にも比すべき夏の月は、堺の町の甍を夢のやうに照らして、社の縁の下あたりからは、名もなき蟲の聲さへ聞えてゐるのだつた。

しかも、この人無き社の境内に彼ばかりは人間の影を認めて、その人間の正體をつかまうと努力してゐるのである。

それは、通り一遍の人間の肉眼では、見ること出來ないものだつた。

と云ふのは、事實そこには、祇園石の大鳥居の影が、版畫のやうに月の下に印づけられてゐるだけで、外には、犬の子一匹さへ見ることが出來なかつたからである。

にもかゝわらず、坤齋は、鳥居の上に怪しい人影ありと見て、番犬のやうに看守してゐるのである。

「畜生、變な奴が下にゐやがるな！」

鳥居の頂では肉眼には、映らぬ人間が、いま〳〵しさうに呟いて
[illegible]運動を偵察してゐるら
しかつた。

「ようし、彼奴を驚してやれ！」

鳥居の上の人間が、かう腑を決めた時だつた。

小猫位の鼠が砂滑りでもするやうに、スル〳〵と鳥居の柱を下りてくるのを見た。

「ワツハツハ……。まだ若い。若い。小僧ツ子！」

坤齋の口からは、投げつけたやうな嘲笑が飛んだ。

鳥居の上の人間は、その聲に恥てか、粟立つやうな冷汗に、びつしより肌を濕してゐた。

「彼奴め、この五右衞門よりも、術が上と見えるわい。癪だ。もう一度驚かしてやれ！」

彼は、かう獨語すると、鳥居の上から身を跳らして、風のやうに石疊の上に飛び下りた。

落ちたとたんに、遍路姿の老人を存分嘲笑つてやらうと、見廻したが、彼はのけぞるやうな驚きを感じて、ドシンと尻餅をついて了つた。

そこには、老人の姿などは、とうの昔に消えうせて、靜かな月影だけが、織物のやうに落ちてゐるのであつた。

「またやられたな！」

と、思つて、鳥居の下を探さうとすると、

「ワツハツハ、、、、」

と後から起る爆笑の聲。

「あつ！」

と、振り返つて見たが、そこには、やつぱり何者の姿も見えない

「まだ若い、五右衞門！人間の財寶は盜むことが出來ても、天下を偸むことが出來まいぞ」

五右衞門と云はれた男は、襟元に白刄を浴せられたやうな冷氣をぞくりと感じた。

滿日柳壇

火　編輯局選

大連 志筑乃公
飯蓮上紙屑の火に暖まり
錦州 田中はじめ
赤い火を纏つて寒さ身に沁ます
大連 大島緑子
からかはれ娘火のやうに紅くなり
大連 關 健治
火遊びはマダムの御氣に召す遊び
火の様にリングに燃える凄い意氣
大連 尾道九十八
發展はたつた一ツの火の力
老虎灘街道所見
火葬場を眞中にして街は伸び
鞍山 鈴木可笑
防火壁見せて保險に額を增し
火取り虫三べん目には暗に落ち
撫順 齋藤十念坊
道連れの糸口にした煙草の火
奉天 古田部凹一
自動車の戸迷ひをした宵の小火
大石橋 常見岳陽
一本のマッチも貰い討匪行
火の粉が飛んで對岸慌て出し
大連 神谷靜波
火遊びも何んのそのかは勝美ズム
大寒に入つて消防隊めまぐるし

滿日柳壇課題

▽題「鏡」「友情」「湯」編輯局選
▽締切 二月十日(各題五句、別紙の事)
▽祝 滿洲帝國の祝吟高橋月南選
▽締切 二月十日一人一句(三月一日發表)
▽宛 本社編輯局川柳係宛
▽賞 佳吟に薄賞を呈す

撫順 石井矢車
祝ひ事火鉢の灰を入れかへる
電燈を二た股にして妻火熨斗
もう歸る積りの一本火をつける
山海關 松尾小女郎
團欒の宵を炬燵の火へ集め
離縁狀へ怨み晴しの放火罪
同 小黑三原女
燐寸は火の氣なくとも我慢され
吉田 甲子
消火器と並んで金庫無事な夜
同
勉强の息子へ母の火がはいり
丸火鉢居眠る肱の置きどころ
同 田中糸子
煙草の火貰つてそれから話し合ひ
赤峰 若月死通坊
火の車今年も續く裏長屋
皇軍の威武遼源の火の如く
灯がともり又憎ましい夜がせまり
物騒な病火の手が愉快だと
大連 三谷一伸
ルンペンに火の氣が欲しい寒い床
鉢合せ目から火を出す漫畫出來
周水子 田中一蛙
嚴寒の火の子貴重に扱はれ
柳腰火事場の力別に持ち
小平島 梶山房江
干物へ火事場のやうな俄か雨
留守宅の隱居火鉢の番であり
鞍山 鈴木可鳴
それだけの望み死に來る火取虫

○佳吟 十句

撫順 石井矢車
火鉢まで揉手で何か詫びて來る
四平街 坂口フミ子
火が見えて數を數へる揚げ花火
朝鮮 木内鵜栖
喜びの灯は新婚の部屋を洩れ
開原 古市贅六
放火犯悔悟の類も今は落ち
遼陽 天滿千代子
長火鉢待つ夜を猫へ告げてゐる
山海關 松尾小女郎
消火器の塵へ無難の年が過ぎ
撫順 松浦蝶古
火の用心母は護りのやうに貼り
大連 平松蓀笑
爪に火をともす生計へ藥代
山海關 吉田甲子
股火する癖うつかりと他所の家
大連 久川美名都
火の番の音へ心中促がされ

○秀 逸(賞)

撫順彌生町三丁目三 齊藤十念坊
一生を親が詫びてる大火傷

○選者吟

火に足を向けて屋外十三度
お臍まで冷え切つてゐる冬の火事

新刊紹介

婦人倶樂部(二月號) 皇太子殿下御誕生奉祝畫報を始め、お孫さん達と和やかに無邪氣な名士の一日、輝かしき新婚家庭等をグラビヤ版に收めた美麗な畫報あり家政、醫事、育兒、裁縫等を網羅した記事あり、女の友情(吉屋信子)明麗花(菊池寛)月よりの使者(久米正雄)千姫(三上於菟吉)奇蹟の處女(大下宇陀兒)の興味ある小説陣等別册附錄實用結婚學(菊池寛)流行手藝全集、漫畫繪本の三册を添ふ(五〇錢、東京大日本雄辯會講談社)

滿洲國の全貌

滿洲日報社編輯局編…滿蒙發展の好伴侶

序言

滿蒙三千萬民衆が、滿洲事變を契機として、大同元年三月一日建國を宣言して以來こゝに二年、此間内外多事幾多の波瀾曲折に遭ひたるにも拘はらず、よく之を突破して驚異的發展を遂げ、今や帝國と相提携して東洋平和維持の礎石たらんとするは吾人の頗る意を强うする所である。

斯くて帝國の生命線「滿蒙」は、今や世界注視の焦點となり、國際的政治經濟上必要なる地位を占め、非常時日本の朝野は、特に滿蒙に深き關心を有し、一大飛躍を試みんとす。而かも之がためには、日を逐ふて推移し行く現實の情勢を、精細、明確に把握せざるべからず。

こゝにおいてか、我社は新興滿洲國の一大變革を來せる新情勢に關し必要なる知識を與へ新發展に對する現實の好伴侶たるべく「滿洲國の全貌」を描く所以のものはこゝに存するのである

主要目次

發行所 株式會社 滿洲日報社 大連市東公園町三一 振替口座大連六〇番
發賣元 大連市浪速町 大阪屋號書店 (分店)常盤橋(連鎖商店街)振替大連二二七番 (本店)東京 (支店)京城・奉天・旅順 振替大連五五番
【定價金五十錢】送料金二錢

滿洲日報
二日發行
發行人 松本豐三
編輯人 木村武喜代治
印刷人 昇 武盛
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

海軍比率問題に關し日米間に豫備的協定
米國務省が締結を希望

【東京特電二日發】ワシントン一日發電によれば、一九三五年の軍縮會議においてアメリカが五・五・三の比率を固執せんとするに對し、日本は議會における大角海相の聲明等よりして均等要求乃至は比率撤回を要求することは明瞭で、現在のまゝ推移せば會議は必ず暗礁に乘上ぐべく、會議決裂せば日米關係はとみに惡化すべしとの觀測より、アメリカ國務省においては會議に先立ち日米間に豫備的協定を遂げんとする意見有力となり、近く何等かの形式で日本政府に豫備交渉の意なきかを問ふものとみられてゐる

【ニューヨーク一日發國通】米國海軍委員會は近く開會される海軍會議で現行比率の變更を標榜する日本と、從來の五、五、三の比率維持を主張する英米兩國の對立を總つて早くも非常な昂奮を豫想されてゐるが、ニューヨークタイムスワシントン特派員の報道によれば米國々務省當局では來年の海軍會議で起るかも知れないといはれてゐる會議の停頓を豫かじめ避ける目的を以つてこゝ數ケ月以内に日本と海軍會議を開催する可能性を考慮中であると

我海軍當局の意向

【東京二日發國通】米國々務省では一九三五年の軍縮會議の破綻を防ぐため、數ケ月以内に日米豫備會商開催を考慮してゐると傳へられるが、我海軍當局は左の意向の模樣である

一、米國側で暗に傳へる所によると、日本が招請の意思を提示するやう期待してゐるが、日本としては積極的に提案準備なし、アメリカ側で我主張を諒解の上招請する場合參加の用意あり

一、九ケ國條約參加國全部を招請せば會議混亂せん

なほ外務當局は公電未着で意見は述べられぬが、海軍側と協議の上愼重考慮する、問題の性質上海軍側の意見を尊重すると語つた

貴族院の反政府空氣
政府最初から手段を盡さず 最早如何ともし難し

【東京特電二日發】議會の現狀は、衆議院はなほ豫算總會で問答を續け、貴族院はいまなほ國務大臣の演說に對する質疑を行つてゐるが、衆議院は今後農村對策を急速に實行要望することに主力を傾けるに對し、貴族院は例の綱紀問題を中心に現内閣の施設の根本に向つて假借なき解剖のメスを揮ひ、その結果内閣自體の運命に影響を及ぼすも已むを得ずとする空氣が頗る濃厚である、元來貴族院に對する操縱策は歷代内閣の最も苦心するところであるが、現政府は最初から何らの手段を盡さず、殊に貴族院各派は近來會派としての統制に意を用ひず各自の自由行動に任せてゐる嘆きがあるので、院内に濃厚となれる政府不信任の空氣は最早如何ともし難いであらう、要するに議會の中心は早くも貴族院に移つた觀がある

公正會の反政府傾向
成行重視さる

【東京二日發國通】時局問題意見交換の公正會席上「齋藤内閣は五・一五事件後の人心安定と政界淨化のために生れ、政策については期待しなかつたが、政界淨化の上に存在理由がありとされたのに國防第一主義を標榜しながら國家施設燃料對策完全ならず、農村問題にも冷淡であり、一枚看板の政界淨化さへ綱紀問題で非難される樣では存在意義なし」と反政府的意見有力に出たが從來政府に好感を持つて來た公正會の立場は貴院各派に影響ありと重視されてゐる

米の專賣が適當
藏相の米價對策意見

【東京二日發國通】一日政友會の交渉委員が政府側と會見、農村經濟について政府側に好意的警告をなしたる際、米價對策につき高橋藏相は鮮臺米の統制を行ふならば此際は微溫的なものとせず專賣案を採用すべきであると述べたことは政府の米價對策の指針を示すものであるとして各方面から注目されてゐる

滿洲事變費
大藏省調査發表

【東京二日發國通】大藏省は一日九年度滿洲事件費豫算額を發表した、その總額は一億六千三百六十五萬八千圓で各省別左の通り(單位千圓)

省	金額
外務省	三、八五三
大藏省	一〇、〇〇〇
陸軍省	一三三、八三四
海軍省	一一、六三七

越境行動を自由とし國境警備の共同工作
滿鮮間に劃期的取極め

【京城特電二日發】長尾滿洲國民政部警務司長は一日來城、總督府及び朝鮮軍との間に滿鮮國境警備取締に關する打合せ行つたが、仄聞するところによれば左の如き事項につき滿鮮一體となり徹底を期すべく國境に關する根本的共同工作樹立に基き實行されるものであると

一、滿鮮國境の警備取締は滿鮮兩機關共同とし越境行動を自由ならしむること

一、密輸出入特に煙草、阿片鹽等の取締を嚴にし根絶すること

一、豆滿、鴨綠兩江運航の完全を期するための取締を嚴にすること

これにより國境における匪賊討伐等には軍隊の越境行動をも自由を期し得るもので兩者治安維持保全上劃期的取極めが實現されるものであると

黃郛委員長

【北平一日發國通】種々の事情から南下を延期してゐた黃郛氏は近く南下、河北の情況を中央に報告することゝなつた、但し南下の日取はいまだ決定してゐない

衆議院豫算總會(二日)

▲特別會計 朝鮮總督府 關東廳

【東京二日發國通】衆議院豫算總會第七日は二日午前十時三十分開會

武田德三郎氏(政友) ……藏相が公債發行限度を七億八千萬圓とした理由如何、公債發行限度は國民所得により決せらるべきで國民貯蓄は大正二年二十億より昭和八年百四十六億に增加した、然るに公債は二十六億から九十三億に增したのみで率からいへば百九十億迄の發行餘力があり、又消化力にも餘力がある、藏相は何故農村對策時局匡救の豫算一億内外を抑けたか

高橋藏相 私は公債發行限度等定めない、明年度豫算は唯財政切詰めの査定の結果、又國民の貯蓄は總て公債に向けられるものでない

けふの議會

【東京特電二日發】二日の議會は貴族院は本會議を開き劈頭農業倉庫法案を可決して後質疑演說を續行、津村重舍、關直彥氏が登壇する、關氏の思想問題質問が注目されてゐる、衆議院は引續き豫算總會を開いたが、質問通告者が多いので三日までに終る見込みなく總會を更に五日まで延長しそれだけ分科會を短縮することにならう

白衣の勇士 十五名旅順へ

白衣の勇士十五名は二日午前七時着列車で來連、同七時半發列車に乘り換へて旅順衛戍病院へ向つた

軍部の產業機構監督 當然變化あるべきだ
林陸相けふ貴院で言明

【東京特電二日發】二日の貴族院において津村氏が滿洲に對する我資本の進出難は軍部が資本家排斥を唱へ且產業經濟機構の監督を軍司令官の手に收めてゐるためであると思ふが、軍部は何時迄も現狀を續けるつもりかとの問に對し、林陸相は所謂資本家排斥の無根なることを說いた後、經濟機構を軍司令官の手で監督することが資本家の進出を鈍らせるといはるゝは御尤もである只今日迄の滿洲は兵備第一であつたゝめ、斯樣なことは過渡期において已むを得なかつたと見なければならぬ、將來滿洲の兵備が常態に復するに伴ひ、この制度にも當然變化あるべきものと思ふと答へ當局者として何時迄も軍部による產業經濟監督の續くべきものでないことを言明し好評を博した(寫眞は林陸相)

軍部の米麥
產組より購入

【東京二日發國通】疲弊農山村救濟の一助として陸海軍當局は從來主として商人より購入した米麥類を直接產業組合より買入れる事に最近その方針を決定した、之れに應ずるため全國販賣聯合會でも來る九日軍部方面との米麥取引懇談會を開き意見の交換をなす事となつた

船舶安全法實施
關東州はずつと遲れやう
渡邊海務局長歸任談

過般東京において開催された國際船舶安全法會議に列席中であつた關東廳海務局長渡邊浩氏は二日入港のほんこん丸で歸任、船中語る

會議は二十二日から五日間內地朝鮮、臺灣等の代表卅餘名出席の下に開かれました、何しろ短時日に審議するのだから骨が折れた、それでも兎に角案を得たので內地では三月一日から公布實施される筈だが、關東州は種々特殊事情もあつてそれに適應する樣修正を要するからずつと遲れるだらう

前陸相療養

【橫濱一日發國通】荒木前陸相は一日午前十時五十九分新橋驛發熱海へ向ひ同地衛戍病院で療養することゝなつた、荒木前陸相は車中朗かに左の如く語つた

議會のことや政界のことなどについては休養の身であるから何ともいへぬ、眞直ぐな針で魚でも釣つてゐやう

奈良縣知事更迭

【東京一日發國通】奈良縣知事久米成夫氏は今回奉天省總務廳長に就任することゝなり本日左の如く發令された

依願免本官 奈良縣知事 久米成夫
任奈良縣知事 東京府內務部長 兒玉政介

學良就任と將領態度

【天津一日發國通】張學良の剿匪司令就任說が略確實と觀られるに至り、これに伴つて萬福麟、王以哲等の東北軍も南下するものと觀測されるに至つたが、これが具體化迄にはなほ種々の經緯あるべく一方政務整理委員會側ではこの際于學忠をも南下せしめ商震をしてこれに代らしめんと策しつゝありと傳へられるが、これとてもどれだけの實現性があるや疑問で、河北各軍の動きは學良の就任が發表され問題が愈々目前に迫つて來るにあらざれば矢張りこの儘押して行くであらうと觀られてゐる

學良就任確實
三省剿匪司令

【天津一日發國通】南下中であつた王樹常、商震は昨夜歸平したが商震は學良の地位問題につき左の如く語つた

學良の新職は四中全會で安徽、河南、湖北の三省剿匪司令に決定學良も既に同意を示し居り、明日の中政會で再審議の上發表する事となつてゐる、併し學良の駐在地についてはまだ決定してゐない

尙目下杭州にある學良は襄に四中全會終了後南京より飛行機で安徽省に飛び同省主席と打合せをなした事實あり、近く漢口に赴き徐源泉その他同地に在る要人と會見、重要協議する筈で、之等の點から見るも張學良の三省剿匪司令就任(駐地は漢口が最も有望視されてゐる)は愈々確實と見らる

星ケ浦に町名

星ケ浦は大連市に編入後既に六年を經過し急速度の發展をなしたが未だ町名の制定なく從來の會屯名を使用してゐるため警察の整理取締、郵便物の配達、區事務遂行、徵稅など各方面に故障を生じ易く不便不利少からざるため今回至急町名設定されたき旨區役員連名を以て市當局に陳情した

技術者檢定

大連市建築規則に依る主任技術者檢定試驗は三月二十七日より三十日まで工事內にて施行されるが檢定申請書の受付は三月二十日までである

人事

▲石村長七氏(滿鐵ハルビン建事務所長)二日午前七時四十着列車にて來連
▲飛田信氏(神戶市參事會員)一日午後七時三十分着列車で來連ヤマトホテルに投宿
▲渡邊浩氏(關東廳海務局長)日入港香港丸にて歸連
▲高瀨眞一氏(新京大使館二等書記官)同上來連
▲善甫亥三郎氏(東和汽船大連店長)同上歸連
▲佐藤一郎氏(日本電氣營業副長)同上來連
▲アイ・ミッチエル氏(佛國製投資調查員)同上

北支の政情
日支關係の好轉
紐育タイムス特派員の報道

本文はニューヨーク・タイムス紙の記者にして事變勃發以來昨年七月迄滿洲に特派されありしA・T・スティール氏が北平轉任後發信しある情報の一にして最近の北支政情を傳へたるものである(一九三三年十二月三日附同紙掲載)

最近に至つて日支關係には大なる進展を見た、南京政府は滿洲及びそれと關聯せる問題の解決の爲に日本と正式外交交渉に入り一般に不興を買ふ如き態度に出づる事を未だ能くしないが、日本外交は黃郛を首領とする北支政黨と非公式折衝をなしそれに依つて大なる實績をあげつゝある

塘沽停戰協定が日支戰に一段落を劃して未だ半ケ年足らずであるが、此短期間に北支政權の對日態度は辛酸より最善の友情と妥協に一變した、北支政權中の反日分子は漸次一掃され、日本軍部並びに外交家と北支要人との關係は日に增し親密を加へつゝある、特に去る十月中日本は北支に親善の種を播く事に一入熱心であつた

有吉公使が北京に來たつて黃郛始め他の支那側要人連と種々會見をなした事は北支では一般に好評を博した、最近は關東軍ですら北支に對し疑惑と强壓の態度を棄てゝ專ら友好的態度を以て臨みつゝある

×

斯くして南京とは直接交渉の必要なく日本は北支に我意の儘の氣運を釀成しつゝある、そして此新氣運が日本側の希望する如く中部及び南方支那迄普及するか否かは別として、著るしく擴大された日本勢力は親しく共滿洲國々境の安寧を確保するに充分である事だけは一般に期待されて居る所である、而して滿洲國々境沿ひの治安確立が日蘇兩國間の形勢惡化の緊張め……

議會スケッチ
衆議院傍聽の婦人

蛇角

……內閣の鬼門は意外にも貴族院にあつた。

民間側被告 明日判決
五・一五事件

【東京二日發國通】非常時日本の全視聽を集めた所謂五・一五事件の民間側に對する判決は愈々三日午前十時から東京地方裁判所陪審一號法廷で裁斷が下されることゝなつたが、既に陸海軍側が何れも反亂罪で處斷された後を受けて被告等の決行動機を如何に認定し如何にそれが判決に反映するか異常なる衝動を世に起した歷史的事件の大團圓をみせる判決だけに頗る注目されてゐる

建設係長會議

滿鐵々道建設局の各事務所工事、庶務の各係長會議は……八の兩日大連で合同のうへ開かれることゝなつた

うすりい丸船客

【門司特電二日發】四日大連入港豫定うすりい丸の主なる船客

昭和製鋼所社長伍堂卓雄、理事十河信二、滿日囑託日太郎、三共支店長前川幾……物館主事島田貞彥、日清……役古澤丈作、滿鐵社員田所……三井物產支店長阿部重兵衛……ーリスト南方守、中央銀行……永日、宮代昭、三田善靖、……太兵衛、葛和善雄、爲永……鬼倉秀雄、池田友五郎、……吉、野々宮精一、山本謙……

生活の虹 (32)
菊池寬 作
志村立美 畫

怪我 (一)

山羊皮の靴、少し古びたステッキを腕に、身輕に自動車から降り立つた子爵は、近頃自分の出社時間が、目に見えて早くなつてゐるのが、自分でも可笑しく、フ、ッと苦笑を催しながら、眼はいち早く、扉の硝子を通して、正面のエレヴエーターに行くのであつた。

「やあ、お早いですな」

誰かと、もう用談でもするらしくB社の當野が、有手の喫茶部の出口に立つてゐた、挨拶した。

「あなたも、御精勤ぢやないですか」

情痴渦巻く青柳殺し

愈よ核心に觸れ 邪戀の不死鳥を裁く

兒玉事件第二日目公判

邪戀の不死鳥、兒玉邸殺人事件のヒロイン藤森勝美に關する事實審理は愛慾地獄の相貌の一端を公判廷に曝け出し、潔よく過去の罪業を清算せんとする勝美の淡々たる態度は灼熱の戀に身を燒く中園秀雄にとりまさに致命的な陳述となり、終始不利な自供となつて現れつゝある――第二日目依然として殺到する傍聽人の雪崩に、通用門の開扉が午前七時、今日は引續き勝美に關する死體遺棄、證據湮滅に關する事實審理が行はれ終つて同事件の主役、中園秀雄に關する審理が行はれる、かくて公判はいよ〳〵深みへ深みへと法の鋭いメスにより細くこまかく解剖されて行く、午前九時半、胸の惱み、罪の償ひの幾らかを第一日に述べ立て幾分ホッとした落付きを見せた勝美並に裁きの庭でウツチヤリを食つた中園秀雄の兩被告の入廷によつて嚴とした法廷のうちは緊張の度を加へ、滿廷の傍聽人を事件の深みへグイグイと引ずり込んで行く、まづ勝美の口から恐るべき青柳貢の死體の始末に關する血なまぐさい事實が細々と語られ出した……

博士は中園を賞めて 勝美と眠られぬ一夜

青柳殺害後から審理

兒玉事件の第二回目公判は二日午前九時三十分から開廷、川畑裁判長は前日の審理に引續き藤森勝美から青柳殺害の直後行動に就き審理を開始した

裁判長 女中馬場ウメの監視は誰から命ぜられたか、それから女中も一緒に殺して終へとは誰が云つたか

勝美 中園からも兒玉からも命ぜられました、女中を殺さうとは中園が申したのでしたのですが私は女中は感づいてゐないからその必要はないと止めました

裁判長 その時兒玉はチフス菌を飲ませるとすぐ死ぬから自分の手で殺すといつたといふではないか

勝美 そんな事は聞きません早く階下に降りて女中部屋で寢ろと申しましたので私はその通り致しました、女中は目を覺まして知らぬやうな風でしたから私は喧嘩なんかされて困ると申しました、尤もこれは中園が云へと敎へました

裁判長 兇行直後青柳が外出したやうに裝ふたといふがどうか?

勝美 さうです、兒玉と中園がドアーをガタンと開け兒玉の聲で「もう來るナ」と怒號する聲が女中部屋に聞えましたが、これは結局女中に青柳が歸つた如く思はせる狂言であつたのです

裁判長 青柳の死體を被告は見たか

勝美 支那にうつ伏せとなつてゐるのを見ました私が二階へ上つたのは十二時三十分頃でしたがその死體には白い布を被せ、兒玉と中園が死體の處置に就き相談してゐました、血に染つた衣類、ワイシャツまた青柳の所持品等殆んど全部燒却しました、中園はこれで漸く安心した、大連市中も大手を振つて歩けると申してゐました、その時私は兒玉に對し歸國させて下さいと賴みましたが聞き入れて呉れませんでした、中園と兒玉から明朝女中を連れて外出せよと命ぜられました

裁判長 その時中園と被告との關係について兒玉に何か話したか

勝美 私は中園さんとは交際してゐるが淸い仲であると嘘を申しました、すると兒玉も喜び、中園は義俠的な英雄だと賞めました、當日中園は午前三時ごろ歸つて行きました

裁判長 被告達はその夜よく寢ることが出來たか

勝美 夫も私もやすめませんでした、殊に私は青柳が氣絶してゐるやうで、今に起き上つて來るのではないかといふ氣がして恐ろしくてなりませんでした、すると夫は青柳は大丈夫死んでゐるから安心せよと申しました、私はその時夫に對し私の爲こんな事件を惹起して濟まぬから離緣して下さいと申しましたが夫は聞き入れてくれませんでした

裁判長 翌朝の行動は?

勝美 夫や中園からいはれてゐる通り午前九時半ごろ女中を連れて外出し三越や寫眞館で活動寫眞を見物して時間を費し午後四時ごろ歸宅しました、すると夫は死體は三疊押入れの天井裏に隱したから安心せよと申しました

裁判長 死體の傷口は誰の手で縫つたか?

勝美 兒玉の手で縫ひ合せ中園が血止油を傷口に塗りました、その翌朝(七日)再び女中を連れて外出し午後四時半ごろ歸宅しますと兒玉は中園と二人で死體をトランクに詰め「滿鮮おこま」といふ人の床下に埋めて來た」と申し安心した態でした、しかし女中が血腥い臭ひがするといふのでリゾールで家の中を掃除しました

裁判長 被告は女中に「こんなことを外部へ話すではないよ」と口止めしたといふがどうか

勝美 左樣でございます

この時裁判長は兒玉博士の右手の指に傷のあるのは中園に手傳つて兇行を演ずる時受けたといふ說、中園の兇行を制止せんとして負ふた傷であるといふ重大な疑問符を解く爲め鋭く突き込んで訊したが勝美は「制止する時受けたものであります」と極力博士の殺人共犯の點を辯護した、次いで證據湮滅及中園と勝美が旅順で情死を企てんとした新事實の事實審理に移る

兇器を前に勝美の審理

遺書まで認め 旅順で情死の相談

勝美の唇から新事實

裁判長 兇行用の短刀は最初星ケ浦の海中に投ずる考へであつたといふがどうか

勝美 翌日午後七時ごろ兒玉は散歩にゆくといつて外出した際短刀は馬欄河の橋下へ、青柳の靴と燒け殘つた蟇口の金屬類を棄てました

裁判長 七日朝被告は中園と會つたか

勝美 午前十時半ごろ吉野アパートに中園を訪れました、中園は荷物を取り纏めてゐましたが、何んだか泣いたやうな顏をしてゐたのでどうしたかと尋ねますと昨夜鍵をお前の宅へ返しに行つた時、二人の女が聖德街をウロ〳〵してゐた、見ると青柳の母と妹であつたのですつかり氣を腐らして終つた、どうか僕と一緒に死んで呉れと申しますので私も情死に同意しお互に遺書を書きました、中園の母親宛の遺書には寫眞と私の髮の毛を切りました、情死の場所は旅順にしようと相談しましたがその時未だ死體の處置がしてなく兒玉が非常に氣にしてゐたので私は兒玉を安心さすべく死體の處置だけはして死にませうと中園に申し一日歸宅しました、その後種々な事情から情死は決行出來ませんでした

更に裁判長から中園は何處で青柳を發見して被告の宅へ連れて行つたかと問はれ、ペロケダンスホールで青柳を發見し自分は勝美の義兄であると僞り青柳を中園の下宿へ連れゆき、勝美を中心に戀の葛藤を演じた揚句博士邸に連行したまでの經緯を事細に陳述し當時如何に中園が殺意に燃えてゐたかといふ例として

ペロケで一思ひに殺さうかと思つたが思ひ止まり中央公園、バスの中といろ〳〵考へたが遂に私の宅で決行する氣になつたと中園が云つてゐました、しかしペロケで會つた時青柳が今少し惡かつたといふ態度を披瀝すれば殺害までに至らなかつたとも申してゐました

〃惱む青柳の臭ひ〃

勝美の陳述はいよ〳〵青柳の死體遺棄に關する點まで進んで何となく法廷に血のりの臭が漂う樣な氣がする、そしてその陳述によつて死體の臭がいかにしつこく消えないものであるかゞ立證された、拭つても〳〵消えない血あぶら、女中馬場ウメ子に「奥さん何だか腥さいですよ」と質問されビックリした事、リゾールでふいても甲斐がなくアイロンをかけて疊を燒いても無駄で呪ひの青柳の臭には飽くまで惱まされたらしい

愈よ免れぬ 博士の證人喚問

近く第二回召喚狀か

兇行當夜の事實審理の進行に伴れ勝美の陳述に從へば兒玉博士それ自身にもその行動に合點のいかぬところがあり、特に川畑裁判長の審理もその點に力を入れ審理の端々から兒玉博士の當夜の行爲につき何物かを摑み出さんとする意向が歷々と看取されるが、大體において勝美の供述に從へば青柳が死體となる迄、即ち兒玉博士、中園それに被害者青柳の三人が階下に降りて次に博士と中園が二階に上る迄に如何なる事實が行はれたかが全然解らぬところで、從つてこの點を鮮明にするにはこの事件の相當大きな役を背負された兒玉博士が證人として喚問さるゝは當然の事で少くも今日迄の供述によれば博士を證人として喚問するはたゞ時日の問題であると云はれてゐる恐らく中園の審理は不明だが中園の供述を待つ迄もなく第二回召喚狀は兒玉博士に發せられるものと見らる

女性三人の證人喚問

辯護士が申請

藤森勝美に關する事實審理は二日目午前中をもつて終了、これによつて事件の全貌がある程度迄明かとなつたが、午後よりも件の中心人物中園秀雄の事實審理に移る事と呈してゐるが、この事件に關係の深い、ある滿鮮おこま、佐藤三輪子、女中馬場ウメ子等證人喚問し關係辯護士より申請される模樣である

進んで發言し 犯意を否認

遺書のトリック暴露

この時證據調べに入り裁判長は血痕の附着した短刀、鋏、莫蓙、桐製支那トランク等を列べ「これは何れも兇行に使用したものであらう」ときめつけると勝美は僅かに頭を上げて打ち眺め「左樣であります」と微かにうなづく、裁判長が十分間の休憩を宣して立ち上らんとするや勝美は裁判長を呼び止めるが如く發言し證據湮滅、死體遺棄に關する犯意のなかつたことを否認し俄然公判廷に興味を投げかけた

勝美 血痕附着のいろ〳〵の物を處分したり死體遺棄に關し間接的に手傳つたのはこの善惡の判斷がなく只機械的に動いたに過ぎません、これをかうすれば犯行を隱蔽出來るといつた犯意はありませんでした

裁判長 被告は捕へられた時罪の一半は私にありますと自供してゐるではないか、甚くとも血糊の着いた着物や死體が自宅にあれば發見された時不利だといふ考へはあつたであらう

勝美 その時そんな考へまで及びませんでした、皆がバタ〳〵動くので私も自然に動いたもので湮滅といふ意志は少しもありませんでした

裁判長 しかし成るべく發見されないやうにと思つたであらう

勝美 それはさうですが中園や夫が大丈夫發見されないと申しますので安心してゐました

と裁判長との間に微妙な言葉のやり取りがあり、裁判長は充分被告の心證を摑んだもの、如く「それでよい」と休憩のためサッサと退廷する、十五分間の休憩の後午前十一時十五分より再開

裁判長 九月八日死體の處分をして安心し次の日中園と會つたか

勝美 九日に自分は兒玉に內地へ歸つても好いかと尋ねたら、それなら歸つても好いとの事でした、その時は出來たら早い方が好いので十一日の船にしようと思ひました

裁判長 歸り話は被告からか兒玉からか

勝美 兒玉はたしか中園を嫌つてゐるそうもないから自分から離緣をさつて行つても好いと申しました

裁判長 歸國の話は中園と相談したか

勝美 致しました、兒玉は最初半年か一年位遊んで來いと申してゐましたがいよ〳〵となると母を連れて早く歸れと申しました中園は一人で上海へ行く考へであつたらしいが、私と行動を共にすることゝなり九月十三日の船で內地へ出發しました、その日兒玉は埠頭まで見送つて呉れました、船中では離ればなれになつた位で船室では離れ〴〵になつてゐました、女中馬場ウメ子は私が內地へ發つ前日暇を出しました

裁判長は十五日門司上陸後の行動につき訊問を續けたがこれこそある意味で死の道行であり、また不安ながらもどこか樂しい愛の道行でもあるのだ、門司から別府へ、別府で三日、そして更に門司に引返して宮島に赴きそこで記念撮影をなし尾の道を訪ひ二十二日大阪に到着、それ迄に罪を犯したもの、戰き勝ちの足取りを判然と述べ二十六日の朝高野に登り、高野において中園の自首說勝美の自殺說でお互に氣まづい思ひをした事を述べた、そして例の遺書を全く中園の口述そのまゝを書いたもので全然自分の意志でなかつたと語り問題になつた遺書がトリックであつた事を暴露した、かくてアダリンによる心中の顚末を述べ二十九日午前九時頃高野警察署の手に捕へられるまでを詳述した、斯くて零時半勝美の審理を終了した

午後、中園審理

先づ佐藤三輪子が登場

午後一時二十分開廷、午前中の公判において勝美の事實審理を終り午後は情痴劇の立役者中園秀雄の審理に移つた、二日間に亘り愛する女から反逆的な陳述をされて不利な立場に陷られた中園が果してどんな陳述を行つて勝美の陳述を覆へすか?兒玉博士がどの程度まで兇行に關係をもつてゐるか?興味はこの二點に集注されてゐる――裁判長中園を差し招くと高野山以來着たまゝの鼠色立縞の合洋服はヨレ〳〵となり獄中生活の苦心を物語るかのやうだ、先づ

裁判長 昨日注意した通り男らしく制裁を受けよ

と因果を含め、中園の經歷を訊すと大正二年春十七歲の時上京、雜貨店の店員となり一年で飛出して神戶へ行き、大阪商船のアメリカ航路の神聞丸のボーイとなつた、それから再び上京、十九歲の時明大に入り僅かで退學、更らに神戶、橫濱と轉々流れ歩いたマドロス生活の半生を事細かに小さい聲で陳述したこの間中園は微かに打ち慄へて少しも落ちついたところがない、更に運命の地大連の土を踏んだのは昭和五年福浦丸の司厨長の時代でそれから大連に住居することゝなつた、間もなく問題の女佐藤三輪子と知り合つたことを陳述した

……となつた、かくて中園、勝美事件を繰り公判はいよ〳〵本格的に移つたわけで法廷內はとみに緊張な

恐いもの見たさ

兇行を物語る證據品

兇行に用ひた短刀、中園の血汐のついたワイシャツを切つたハサミ、それにまた點々と血あぶらの浮いてゐる疊表、さうした兇行當夜を如實に物語る證據の品の數々が出される度に、法廷聯れのしない傍聽者の群、ことに御婦人連中は恐いもの見たさでおよび腰になつて覗き込まうとしては看守の鋭い目にさへぎられる、それにも增してビクついてゐるのは勝美の審理の進行により犯行當時のおのれの姿を再現して傍にひかへた中園は眞蒼な顏をしてゐる【寫眞は兇器を法廷へ】

十字に開かぬ 鴨綠江鐵橋

安義名物が無くなる

【安東特電一日發】國境名物鴨綠江大鐵橋の開閉については昨年夏ごろから僅かな大型ジャンクのために一日三度宛開橋して橋脚の破損を加速度に早めるのは非常時の日滿大交通路を動脈硬化症に陷らしめるものだといふ鐵橋愛護論が出て朝鮮總督府でも開橋の可否を愼重に研究中であつたがいよ〳〵開橋しないことに決定し一月三十一日附總督府官報で本年から斷然開閉を休止すると正式に發表された、開橋しないため困るのは帆柱の高い少數の大型ジャンクだけで安東、新義州間の徒歩や自動車には却て大いに便利になる譯だから拉濱線松花江鐵橋などが出來た今では「かけし鐵橋は東洋一」どころか滿洲一とも言はれなくなり「十字に開けば眞帆片帆」だけで名を賣つてゐたのがこれから開かずの橋となると共に只の平凡な鐵橋でしかなくなり安義兩市民は唯一の誇りが永久に失はれると非常に名殘を惜んでゐる【寫眞は十字に開くところ】

神兵隊事件の山口中佐急死

【東京二日發國通】神兵隊事件の豫備海軍中佐山口三郎(四五)は慶應病院に入院加療中一日午後六時腦溢血で急死した

天氣予報

三日 北西の風(晴)一時曇

各地溫度(二日)

	午前五時	午前十時
大連	零下九	零下七
旅順	同八	同六
營口	同十三	同九
奉天	同十七	同十二
新京	同二十	同十二
新義州	同七	同五

今日の小洋相場(十一時半) 金百圓に付百十七圓七十五錢

耕一 母重傷直ぐ歸れ 妹 幸枝

新講談　丹下左膳 (5)

林不忘作　小田富彌畫

罪ですネ源ちやんは

發端篇

源死の司馬十方齋先生は、同じ劍家、柳生一刀流の大御所對馬守との間に話のきまつた、その弟伊賀の源三郎の江戸入りを、けふか明日かと待つて、死ぬにも死ねないでゐます。

源ちやん、品川まで來たのはいいが、蟠引出のこけ猿の茶壺を失つて、目下大騷ぎをして搜してゐることは、一同ひた隱しにして先生の耳へ入れないでゐる。

「源三郎の顔を見て、萩乃と祝言させ、この道場を讓らぬうちは、行くところへも行けぬわい」

といふのが、死の床での司馬先生の口癖。

ところが。

當の萩乃は、總不知火のむすめ十九、京ちりめんのお振袖も、袂重い年頃ですなア。

「源三郎樣なんて、馬が紋つきを着たやうな、見つともない男にきまつてるわ」

非道いことを考へてる。

「おゝ嫌だ！伊賀の山奥から、猿が一匹來ると思へばいゝ」

まだ品物を見ないうちから、身ぶるひするほど怖毛をふるつてゐる。

すると……。

紺の香のにほふ法被の上から、棕梠繩を横ちよに結んで、それへ鋏を差した植木屋の見イ――見慣れない職人が、四五日前から、この不知火御殿と言はれた壯麗な司馬の屋敷へ這入つて、盛んにチヨキ／＼やつてゐましたが。

「觸るまいぞへ手を出しや痛い、伊賀の暴れン坊と栗のいが」

口の中で、いやに氣になる鼻唄を歌つてゐる。こいつが萩乃に、變に馴れなれしく口をきいてるのを見て、怒つたのが師範代峰丹波だ。

短氣丹波と言はれた男……。

「植木屋風情が、この奥庭まで入り込むとは何事ッ！誰に許しを得て――無禮者めがッ！」

發矢！投げた小柄を、植木屋、肘を楯に、ツーイと横に外らしてしまつた。柳生流秘傳銀杏返しの一手……銀杏返しといつたつて、髪じいんぢやアない。ひどく髪しくない劍術のはうだが、峰丹波はサツ！と顔色を變へ、ドサリ、縁に坐つて――指を折りはじめた。

「ハテナ、柳生流をこれだけ使ふ方は、先づ第一に、對馬守殿、これは無論。次ぎに、代稽古安積玄心齋先生、高大之進……ヤ、ツ！これは迂濶！その前に、兄か弟かと言はるゝ柳生源三――おゝウツ！」

傲岸、丹波の額は汗だ。その呻き聲を後に……觸るまいぞへ手を出しや痛い――唄聲が、植込みを縫つて遠ざかつて行く。■

根岸の植留の若えもンで、渡り職人の金公てエ半チク野郎――かういふ名で入り込んではゐるが。

これが、實は、伊賀の若樣源三郎その人なんだ。

かういふところが、源三郎の源三郎たる所以。

供の連中は品川を根城に、眼の色變へてこけ猿の行方を、探索してゐる。その間に自分は、ちよつと退屈しのぎに、斯くは植木屋に化けて、この婿入り先司馬道場の樣子をさぐるべく、みづからスパイに――そんなこととは知らない萩乃は、この美男の植木屋に、ひそかに、熱烈なる戀ごころを抱くにいたりました。

「あんなしがない植木屋なぞを、こんなに想ふなんて、あたしは一體何うしたといふのだらう……あゝ、それにつけても源三郎さまが、あの植木屋の半分も、綺麗であつて呉れゝばいゝけれど――」

小さな胸に餘る大きな思案。

罪ですネ、源ちやんは。

北陸線雪地獄　日活で映畫化

二十八日午後日活撮影所食堂で鈴木傳明は「雪地獄の北陸線、除雪に軍隊出動」の新聞記事を讀んでゐたがフト雪地獄を背景とするドラマチックな映畫製作を思ひつき直に重役室へ杜重常務、甲斐所長を訪ひ、意向を訊して贊成を求めたところ、兩氏ともこの思ひつきに共鳴、早速傳明を一枚加へた重役臨時協議を開いた結果、これが映畫化を可決村上徳三郎を督勵して二十九日中に脚本を作り、名古屋鐵道局の援助を得て、この種のものには獨特の手腕を有す鈴木重吉監督を起用、傳明主演で題名決定を待たず北陸雪の世界へロケ隊急遽出發といふプランが極つた

而して主役の傳明はスキーに自信がある上に松竹蒲田時代「大都會勞働篇」北海道ロケでラッセル機關車運轉の技術を獲得してゐるところからこの映畫でもラッセル機關車を使用して物凄い撮影を敢行しようとある

なほ鈴木傳明は更生を誓つて日活に踏み止まつた大島屯の首途を餞らう心持ちからこの北陸方面撮影の映畫に大島を共演者に推薦して再度、男をあげた

うわさ話

白藤六郎君が約二週間の豫定で奉天平安座に特別應援出演中で目下松竹映畫「双眸」を解説してゐる

▲花の四月のＰＣＬ寶塚ピクター聯盟松竹の華やかな映畫戰となる「さくら音頭」のＰＣＬ作品は日活館が早くも契約した模樣である

▲また松竹映畫は全發聲豪華版で伏見晃の脚本で監督は五所平之助と決定した

名畫と大衆映畫　面白い混合プロ　日毎に盛況の日活館

名畫「夢みる唇」に集まる人氣は愈々灼熱化し鐵嶺に盛られた歡蹤を俸へて日毎に益々盛況を呈しつゝあるが、一方毎なればその大衆的映畫「ふるさと晴れて」及びやくざものなれば、その憾みを撼いた股旅物「陣屋の正太郎」も好評で、而も讀者優待割引券を利用すれば階下四十錢で名畫「夢みる唇」を加へた三本立混合プロが見られるので日活館へファンは殺到してゐる

名畫『夢みる唇』觀賞會
讀者優待割引券
この券持參者階上六十錢階下四十錢
後援　滿洲日報社

名畫『夢みる唇』觀賞會
讀者優待割引券
この券持參者階上六十錢階下四十錢
後援　滿洲日報社

社説

帝國外交の基調を明示す

芳澤氏廣田外相の質問應答

日本の國力増進と共に、各國等しく日本の外交政策には非常に注意してゐる。只今議會開會中なので、我國に密接な關係を持つ諸國は、議會の言論に飛耳張目してゐる有樣だ。此際二十三日の外相の演説は各國の注意を惹き、概して好評を博した。その後貴衆兩院の質問及び政府の答辯によつて各國は我邦の意思を探り當てやうとしてゐる。質問は斷片的に相當の要點に觸れたが、三十一日の貴族院に於ける芳澤前々外相の質問演説は我邦外交の各要部に涉つてゐるのと、氏が國際聯盟の日支問題當時の代表で、後に外務大臣であつた點から特に外國の注意を引くべきものである。隨つてそれに對する廣田外相の答辯も注意さるべきもので、此の兩者の言論により諸外國は、我邦外交の基調を計量するのであらう。又計量せられて丁度都合のよい言論であつた。

◇

芳澤氏の疑問にしてゐる所はすべて外國人の疑問にしてゐる點である。又吾々日本人もどうかと思うてゐる點である。先づ海軍比率問題は是非共問題になる問題であるが、議に海相は今の比率に滿足せぬと言明してゐる。外相も、各國の勢力を數字できめるのはどうかと考へてゐるといふ。從來の外相の答辯に比して頗る徹底したものだ。海相のは實際的の問題だが、外相のは理論上の問題である。此の兩者の意見により我政策は定まつてゐる。國民はこれによつて覺悟が出來る。諸外國も日本の意思を知り得た。そこで直ぐに衝突といふ事になるなら外交なきに等しい。そこを外交によりて衝突せずに各國間の諒解點を發見しやうといふのが廣田外相の意見である。芳澤氏もそれには贊成だと云ひ、首相もその積りで考へてゐるのだといふ。外國から見ても同樣で、それなら日本と戰爭してやらうといふなら外交無しだ。諸國もそれ程無鐵砲でもあるまい。日本の此の意向が明瞭になつた上は、諸外國もその上に打開法を慮ずるであらう。卽ち此の問答によつて此の問題が解決に一歩を進めたわけだ。

◇

次いで芳澤氏は南洋委任問題では、外國から日本の永久保管に苦情が出ても、取り上げるに及ばぬと云ひ、日露問題でも、通商問題でも戰爭などする必要はなく、すべて政治的平和工作にて解決すべきだと論じてゐる。併しながら、十分に平和的外交手段を取りても、尚外國が諒解せずして兵力にでも訴へて來やうといふものがあるなら、それには屈するわけにはいかぬとも論じてゐる。それに對しても、首相外相共に同感の意を滿し、同樣な精神で外交を進めてゐると答へてゐる。議會と政府の外交二樣の意見の一致したこそによりて、諸外國も日本の意思が平和解決にあることを知るべく、然も無理押してはいかぬものだとのことも明らかであらう。

◇

從來の日本の外交に、動もすれば曖昧の點があつて、明白に意思主張を表示せず、單に妥協を主とした憾みがあつて、それが他に乘ぜられたり、侮られたりする問題を作り、爲めに却て難問題を起したり、後日に累を殘すといふことにもなつた嫌ひがある。それが清算されたことによつて、諸外國は眞劍になつて、日本の國力なり、主張の理論なり、遺漏なきやうに研究する必要を感ずるであらう。そこに始めて合理的な解決案が出る。

◇

芳澤氏は、日本の世界的信望を得る第一の急所は滿洲國の確立安定にある。日支問題の如きも、それによつて解決すべきものだといふ。廣田外相の方針も亦そこにあることは前から言明してゐる。更に廣田外相は帝國外交の推進の爲めには確乎たる信念を以て把握してゐなければならぬと云ひ、國民全部が世界の前に立つて、大きな顏をして少しも恥かしいことがないといふことが必要で、それにより て國家の信用を高めるといふことが、外交基調の必要條件だといふ。

◇

これは、所謂外交工作といふのが權謀術數の意味ではなく、又御無理御尤もの苟合でないことを示したものだ。誠意を以て合理的なる日本の意思を開披し、或は反省を促し、或は協調を求めんとするの意だと解釋される。これに應じて諸外國も、權謀でごまかさんとしたり、兵力で威壓せんとしてもだめだと分つて正義と理論を以て我れに對して來ることを豫期し得る。是れ蓋し諸難問の合理的解決に進むべき重要な段階であらねばならぬ。

皇帝萬歳の聲

熱河に遍き王道の光

◇張海鵬將軍の談

【奉天特電二日發】一日飛行機で來奉した熱河省長張海鵬氏は二日はさて新京に向つた　滿洲建國の際は侍從武官長であつた氏は溥儀執政が三千萬民衆の要望により皇帝に登極されるにいたつたことを非常に喜び左の如く語つた

大典がいよいよ行はれることになつたことは滿洲國の將來のため喜ばしい、熱河省も既に日本のお蔭をもつて匪賊も一掃されたが大典をひかへてゐるので省警備軍においても萬全を期する覺悟である、なほ執政にも拜謁するが熱河省四百萬民も皇帝卽位は非常に要望してゐる

大典の日

奉天の催ほし

きのふ打合せ會議

【奉天特電二日發】滿洲國の三月一日に行はれる大典の盛儀に對し奉天省公署においては二日午後三時から市長及び市政公署、日滿各代表者會合し大典に關する打合せ會議を開いた、省公署では一般祝賀式を擧行する外市政公署では市民の大祝賀會を開催し同日各機關公衆等三層飾り城内數路に裝飾を施しイルミネーション等を設けて市民の大典に對するその日を祝福する意向で二日の會議で大體の方針を決定した

宣傳工作

奉天省教育廳

【奉天特電二日發】省公署教育廳にては三月一日の滿洲國大典の盛儀を一般民衆に知らしめるため宣傳班五班を組織し滿洲建國の精神たる王道仁政と建國二年來の國家の業績その他を映畫につき認識せしめることになり各班は三月五日各沿線に出發、宣傳工作を行ふこと

滿洲國人ボーイの

ソ領事館員傷害事件

"地方的に解決したいものだ"

外交部當局の談

【新京特電二日發】一月三十一日朝大黑河滿洲國警務局長臧順氏のボーイ馬某が主人臧氏を殺害せんとして果さず居合せた職員四名に重傷を負はせ對岸のブラゴエスチエンスクに逃走せんとした際折柄ブラゴエより大黑河に歸還せんと自動車で現場を通りかゝつたソ聯領事館書記生ウーソフ氏が犯人を逮捕せんと威嚇發射をなしたところいよいよ逆上した馬に同氏に襲ひかゝり負傷せしめた事件に關し滿洲國外交部當局は左の如く語つた

事件の原因經過に關して詳細取調べを行つて居るがこの單純なる突發的犯罪行爲に對し側杖を喰つて負傷したソ聯領事館員には甚だ御氣の毒に堪へない、勿論犯人は滿洲國に引取り處罰するのが正當であり、また事件は地方的に處理されることを望んで居るがソ聯側も諒解してゐることゝ思ふ

極寒征服討匪行

全軍の士氣あがる

司令部局子街へ前進

【敦化二日發國通】討匪司令部は二十七日朝敦化より更に局子街に進出した、之に依り前線の空氣は彌が上にも緊張し一齊に第二期的行動を開始した、卽ち〇〇部隊は東京城より圖寧線方面へ入見部隊は京圖線より圖們以南へ滿洲國軍飛行隊亦之に呼應して一擧に粉碎すべく各軍の士氣は益々旺に東部吉林の山野を壓する觀あり司令官も馬を陣頭に進め全軍の指揮に當つてゐる

匪賊團擊退

哈市同江間

【奉天特電二日發】鐵路總局ハルピン同江間自動車は、巴彥西方十三支里の地點において一日午後三時頃數十名の匪賊團の襲擊を受けたが警乘員は勇敢に奮戰、三十分にしてこれを擊退し賊二名を捕虜、長銃一挺、彈丸六十發を鹵獲した、乘客その他には被害なし

アムール事情（四）

物資の缺乏甚しき蘇聯側沿岸

暗黑世界から黎明へ

五、蘇聯沿岸狀況

一九三〇年以來蘇聯邦は第二次五ケ年計畫の重點は極東地方へ指向せらるべしと稱し、同年十二月には極東地方開發計畫を發表官傳し事實又極東開發の爲に相當の努力を拂ひつゝある、しかし漸に蘇支紛爭によりて對岸滿洲國との交易を不可能にし更に五ケ年計畫なるものは徹底的に強壓と誣壓によつて強行せられ、其犧牲として悲慘なる搾取と極度の物資缺乏に民の疲弊其極に達し全く生色なしといふも過言でない、沿岸航行に方りて武市よりストレルカ間の三十餘部落を觀るに村落の疲弊民衆の困窮狀態は敢て住民の直話に據らざるも明瞭に看取される、今其狀況を簡單に列擧すれば

一、全部落を通じ革命以後建築せられたりと思はるゝ木造家屋は僅かにゲ・ペ・ウの兵舍及びコルホーズ（共營若くは集團農業）の建物數棟に過ぎず

二、各部落の民家は軒は傾き屋根破れ窓硝子無く、部落の三分の一は廢屋にして住民疎らなり

三、民衆の服裝の如きハルビンの乞食以下なり、上流沿岸においては既に冬なるも兒童にして靴を穿つもの極めて稀にして八〇%は跣足なり

四、河岸に現るゝ兒童何れも榮養不足、發育不良にして中には飢餓地の兒童の標本かと思はれる非道いのがある

五、アムール州一帶は牧畜林業地帶なるに拘はらず沿岸地方には豚と馬牛豚等の家畜及び犬の群を見ず

六、目下强制勞働者を沿岸森林地帶に入れ伐木中であるが、伐木運搬に從事するもので牛馬に依らず自ら搬出するもの以上は單に航行中に瞥見したるまるが、若し上陸して更に實地を踏査したら驚くべき慘狀に目を蔽はざるを得ぬ

六、蘇聯の不法行爲

滿洲國成立以來黑龍江沿岸において蘇聯人不法に越境し滿人に對して或は暴行を或は掠奪し更に又殺傷等の擧に出でし十數件を數ふべく等しく看過せざるを得ざる所である、擧ぐれば左の通りである

一、蘇聯內の極度の物資缺乏に原因及び目的とする官民の扇動化せる

二、物資の掠奪及犯行擧他の掠奪

一、大同元年……（以下數件）

二、大同二年四月、依西肯卡（黑河上流四七二露里）において侵入せる蘇聯人三名は掠奪の上放火一名を傷殺す

三、同年四月所屬及び兵數不明の蘇聯兵鴎浦縣依西肯卡を襲び建物を燒き番人を射殺し死體を燒却す

四、同年四月二十四日夜、巴爾嘎力卡（漠河下流一一五露里）において卡官赴黑中蘇聯人數名亂入し、留守人を殺害して家屋を燒く

五、同年五月初旬前記巴爾嘎力上流十支里上地營子において蘇聯人のため滿人五名殺害され家屋二戶燒却さる

六、同年七月二日蘇聯人二名呼瑪縣地方に越境し來り農民二名及白系露婦人一名を殺害す（尙此外事態明白なるもの十數件あるも略す）

數名の蘇聯人、滿人六名を射殺し家屋十五棟を燒き掠奪を恣にす

殺人暴行

三、掠奪殺人等の犯行擧敢の爲

ば此種暴虐事件にして公ならざるもの枚擧に遑なかるべく、しかも彼等の一度襲擊せる痕は全く文字通りの廢墟と化するに到りては何人と雖も憎惡を感ぜざるを得まい

七、結言

黑龍江沿岸地方は過去十數年の暗黑の世界より漸く曉を迎へんとする黎明に入らんとして居る、過去十數年間における沿岸住民の粒々辛苦に對して酬いられたるものは蘇聯の暴壓と數度の水災とこれに伴ふ物資の缺乏、貪官汚吏の搾取であつた、幸ひ滿洲建國の業なりて其王道樂土の惠澤此邊地にもやがては及ぶであらうが吾人はこの地沿岸一帶の持つ經濟、軍事、國交上の重要性を思ふ時、それが一日も早からんことを祈つてやまぬものである

伸び行くは滿洲の空

飛行機商奉天で語る

【奉天特電二日發】滿洲航空會社へ飛行機を提供してゐる三井物產機械部根岸芳男氏は社用を帶びて一日午後十一時來奉語る

滿洲は地形の關係上將來航空路が非常に發達するのではないかと考へられる、勿論これらの計畫についてはこちらの航空會社で既に研究されてゐるので交通業について飛行機も色々試驗されると思ふ今度も何か新しい種類の飛行機を納めやうと思つてやつて來たのであるがまだ外のものは需要はないかも知れないそれから日本の航空機製造能力は數年前に倍加してゐるがまだまだ充分なものとはいへない

煙草公司罷業

賃銀値下げに反對

【奉天特電二日發】小西邊門外達興煙草公司は昭和六年事變前四萬元にて設立され一時業態不振にて休業中であつたが事變後煙草界の好轉により再び操業を開始し生產過剩を來したので職工も當初より人員を減じ、なほ隔日作業とし女工賃も五萬本一箱包裝につき五元五十錢を支拂つてゐたところ最近にいたり同工場のストック品もなくなつたので職工の隔日勤務を廢止し女工の包裝賃銀五萬本につき四圓五十錢のところを五十錢値下げすることに決定したので女工七十五名は二月一日よりこれに反對し一齊に同盟罷工を決行するにいたつた

目下同公司においては對策を講じてゐる

ウンとガンバリます

氷上スピード大會　奉天選手出發

【奉天特電二日發】三、四の兩日安東において開催される全日本氷上スピード選手權大會に出場する奉天側男女選手は二日午前七時發の急行で多數見送りを受け出發晴れの舞臺に上つた、一行は出發に際しうんとやつて來ます、コンデシヨンさへよかつたら自信をもつてゐますと朗かに語つた

青訓入所奬勵

滿鐵地方部學務課が沿線子弟の靑訓教育に非常な力を注いでゐることは周知のことであるが、滿鐵では靑訓教育の徹底は先づ入所生の增加が第一條件であるとしてこの點に改善をはかることゝなり、先日の主務者會議の結果今年は各地思ひ思ひの宣傳を行はしめ滿鐵、軍部双方でこれを後援自發的に靑訓教育の徹底を圖らしめる方針をとることゝなつた

外人旅劵檢査

普蘭店瓦房店間

【新京二日發國通】外交部では昨年九月三日以降休止してゐた普蘭店瓦房店間の列車內の外人旅劵檢査を二月一日より開始した

ク女史童子軍改善を叫ぶ

【ハルビン三十一日發國通】當地に達した情報によれば、故レーニン未亡人たるクルプスカヤ女史は蘇聯におけるボーイ・スカウトの教育指導方針は徒らに宣傳ビラを撒布乃至は農村における共產主義の宣傳の道具に供するを目的としてゐるため兒童の健康は勝れず、且つ兒童を愚弄するのみならず農村における反動團體の犧牲となるのみであるから英國のボーイ・スカウト教育方法を學び改善する必要ありと痛烈に蘇聯當局者をこき下してゐる

駐哈獨逸領事

北滿狀態報告

【ハルビン一日發國通】駐日ドイツ大使館附商務官クノリ氏は南北滿洲國の經濟狀態を調査視察するところあつたが、在ハルビンドイツ領事バリツエル氏は來る八日頃ハルビン發東京へ向ふことゝなつたが、右は北滿の經濟狀態を詳細に同國大使に報告するためである斯くてドイツの滿洲國との緊密なる經濟關係の設定に奔走しつゝあるが、兩國の親善關係は益々順調となりドイツは列國に率先して滿洲國を承認するに至るの大勢にあるといはれてゐる

東邊道縱貫鐵道

具體的運動開始

【新京二日發國通】安東より瀋海線に連する鐵道施設を目的に昨年十一月安東商工會議所內に設立された東邊道縱貫鐵道期成委員會は愈々具體的運動を開始すべく去る二十九日安東商議內で委員會を開

女兒の入學難

女兒の保護者

◇在大連男兒の中等學校は保護者各位の熱心なる運動と當局者の同情ある諒解を得て兩中學及び滿業の各學級增級の外にそれこそ思ひがけない市立中學校設立の運びにまで立ち到つてゐる。

◇これによつて男兒中等學校志望者は大分緩和されることゝなつたが、一方女兒はと見ると、滿洲建國以來居住者の增加は生徒の增員となり、又女學校への向學志願は男兒と何等劣らぬ率を示してゐる。

◇本年は殊に烈しく志望四人に對し一人の割しか入學出來ぬと聽いては試驗地獄は既に通り越してゐる。

◇女學校卒業の有無は女として社會に立つ上にたての價値は勿論お嫁入の資格に大變な關係がある。親は親馬鹿だ、子が出來ないで無い限り、諸事節約しても女學校だけは卒業させたい。

◇女兒の保護者よ眠つてゐるのではないか、如何に待てどもわれ等が運動しない限り學級の增加も學校の新設も覺束ない話だ、起てよ保護者と叫びます。

善處を望む

一父兄

◇今期大連における高女入學志願者一千名に對し收容豫定數は三百餘名なりといふ、今可憐の子六女生は必死の勉強をなして居る我々父兄としては實に可哀想でたまらぬ、若し入學出來なかつたら彼女等はどんなに歎くであらう。

◇男子側は中學の增級設備で大いに緩和されると聞いて居る、其上大連市の方でも一校を新設するとの事、然るに高女の方は父兄會も各小學校長さんも各女學校當局も一向に之に對し無關心のやうだ、少くも對應策に付聲を聞かぬ。

◇學務當局よ、右實情に對し急速にせめて志願者の半分丈でも收容出來る樣御盡力を請ふ。

大觀小觀

白系露人は、赤化がユダヤ人の魂膽に出づるものとして、極端にこれを憎んでゐる▲その言ふ所によれば、ユダヤ人は既にロシアの國土を奪ひ、その財力を以て征服してゐる▲アメリカ人は手の出しやうなく、これも神の攝理だとあきらめてゐる▲ドイツのユダヤ狩りに對しては、各國の內部に策動して、外交とボイコットを以て對抗する策を定めた▲ユダヤ人は英佛其他の諸國にも、深く內部に喰ひ込んで響めてゐるのだが、ひとり意の儘にならぬのが日本人だ▲例の國際聯盟はユダヤ人の考案に係り、その重要人物はすべてユダヤ人だ▲日支問題當時で云へば、ドラモンド事務總長、アブノール次長、ハース交通部長、ライヒマン衞生部長、ソルター經濟部長、コンメン宣傳部長、など國籍こそ異なれすべてユダヤ系だ▲それに各國代表の中、スペインのマダリアーガ、ベルギーのイーマンス、チエツコのベネツシユ、フランスのレーゼー、イギリスのレーヂング、サイモン、アメリカのフエツセンデンが皆ユダヤ系▲その上支那の顧維鈞、顏惠慶、王正廷もユダヤ人の秘密結社たるフリーメーソンの會員だ▲が敗れたのも由つて來る所あり▲次で英米蘇を驅れて、軍事的に並に經濟的に、日本を包圍攻擊せんとする、これぞユダヤ人が目の上の瘤たる日本を潰さんとするのだ▲ユダヤは世界惡魔の王、日本は人類救濟の選手、兩者が今や正面衝突の場合になつた、日本は宜しく發憤して此の魔王に痛棒を加ふべし▲以上は白系露人の口吻で、こんなおだてに乘つてはならぬが、興味ある觀察ではある▲皇道は一視同仁、ユダヤ人とて靈兒ならぬ筈だが、一面の言ひ分をも聞いておくのも惡くはあるまい

（近く關係當局宛送附の筈である）

市況（二日）

株式

內地株强調　當市軟り

新東强保合、日產、日魯高を入れ地場株も軟りであつた

◇定期（單位十錢）後場

銘柄	當限	先限
新豆（寄・引）	—	二四五
東新（寄・引）	—	一八〇五
五品（寄・中・引）	二七〇〇	二七四三

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	一六九	一六九	一六九	一六九
新豆	一四〇	一四〇	一四〇	一四〇
大新	一二一〇	一二一〇	一二一〇	一二一〇
東新	一七六	一七六	一七〇	一七〇
鐘新	一	一二〇	一二〇	一
滿鐵新	六六三	六六三	六六五	六六六
日產	一四〇	一四三	一四〇	一

◇雜取引

商取一八五、滿興二六〇、日魯五七五、六〇〇、六一、地下鐵一八五、一八七、郵船新一八二、滿鐵二新一六六

特產

買氣旺盛に大豆續騰

後場の定期は大豆は邦商及び油房筋買ひに續騰を辿り豆粕は邦商の買ひに强保合を示し豆油は仕手薄の區々保合高粱は銀安を眺めて强保合を呈した

◇定期後場（銀建）

▲大豆（續騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
二月末	三三八〇	三三八〇	三三八〇	三三八〇
三月末	三三〇	三三〇	三三〇	三三一〇
四月末	三三〇	三三〇	三三〇〇	三三二〇
五月末	三三八〇	三三八〇	三三八〇	三三八〇
六月末	三三八〇	三三八〇	三三八〇	三三八〇

出來高　百九十五車

▲豆粕（强保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
四月限	一二一〇	一二一〇	一二一〇	一二一〇
四月末	一二一〇	一二一〇	一二一〇	一二一〇
五月限	一二二五	一二二五	一二二五	一二二五
五月末	一二二五	一二二五	一二二五	一二二五

出來高　九萬九千枚

▲豆油（區々保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
二月限	九五	九五	九五	九五
三月限	九五	九五	九五	九五
四月限	九五	九五	九五	九五
五月限	九五	九五	九五	九五
六月限	九一五	九一五	九一〇	九一〇

出來高　六千箱

▲高粱（强保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
四月末	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇
五月末	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇〇
六月末	一九一〇	一九一〇	一九〇〇	一九一〇

出來高　十七車

▲包米（出來不申）

◇現物後場（銀建）

銘柄	寄付	大引
混保大豆（袋込・裸物）	三三六〇	三三八〇
普通大豆（袋込・裸物）	三三九〇	三三〇〇

出來高　百八十車

銘柄	寄付	大引
豆粕	一一二〇	一一二〇
豆油	九二〇	九二〇

豆粕出來高　一萬四千枚　豆油出來高　一千箱　高粱　出來不申　包米　出來不申

錢鈔

寄安乍ら引軟り

後場材料薄で五六十錢安と軟調を辿つたが引際フランス金本位制離脫を懸念される情報を入れ引締り結局保合に引けた

◇定期後場（單位錢）

寄付　高値　安値　大引
期近　二六五五　二六四〇　二六五五　二六四〇
出來高　期近三百一萬圓

商品

◇現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時	二六五五	一三六九〇	一二六五
二時	—	一三六九五	—
三時	—	一三六九五	—

出來高（銀對金十四萬七千圓／銀對洋一萬五千圓）

綿糸軟り

綿糸　大阪三品後場各限共强調を入れたが當市は氣乘薄閑散

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	四月限	一九九〇	二〇

出來高　二十梱

麻袋變らず

麻袋　出來不申

市場電報

神戶特產

銘柄		
大豆現物 先物	五三五	四〇五
豆粕現物 先物	一四三	三一二

東京期米

限月	後場寄	後場引
二月	二三六〇	二三七〇
三月	二三八九	二三九五
四月	二四〇二	二四一三

大阪期米

限月	後場寄	後場引
二月	二三二七	二三三八
三月	二三五一	二三六八
四月	二三八九	二三九一

神戶期米

限月	後場寄	後場引
二月	二二〇五	二二一三
三月	二二四四	二二五一
四月	二二六六	二二八〇

橫濱生糸

限月	後場一節	後場二節
二月	六七〇〇	六五九〇
三月	六六九〇	六五七〇
四月	六六六〇	六五六〇
五月	六六三〇	六五三〇
六月	六六二〇	六五三〇
七月	六六四〇	六五六〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
二月	二〇二九〇	二〇二九〇
三月	二〇〇九〇	二〇一〇〇
四月	一九九〇〇	一九九〇〇
五月	一九七九〇	一九八八〇
六月	一九七九〇	一九八四〇
七月	一九九〇〇	一九九二〇
八月	二〇〇〇〇	二〇〇九〇

家庭

宴會に殘された美酒と美肴

……どう整理されてゐるか

當業者に聽く

酒は 全部一緒にしちまつて滿洲人のボーイ連中に分けるさいふ。日本酒のつく宴會だと殘るのは大抵壜ですから洋酒のやうに粗末にはなりません。これが一宴會に五本から十本見當のこりますが一緒にして日本人のホテル員達の家庭で煮物に使つたりぬかみそに入れたり、それでもなほ使ひ切れぬほどださいふ。パンは手もつけず殘るものも澤山ありますから稀にはこれをパン粉にしたり料理に使つたり——でもそれはほんの僅かで食べ殘りと一緒にして毎日社會事業協會へ下渡す量が多い日は十斤以上平均四五斤さいふさころ料理の殘りは前肴も、魚も、アントレーもローストも一緒くたに四斗樽に投り込んでおくと免囚保護協會から豚の餌にと貰ひに來ます。多い日は一樽に入り切れないが平均一日三分の二樽見當でせう。その代償として裏口さゴミ箱のお掃除だけは協會で綺麗にしてくれます。かういふ風に

殘物 は別に金にはなりませんが決して無駄にならず、唯捨てゝしまふより豚の一匹でも肥やすことになれば何よりです——さ幸澤支配人のお話

ンパンさなれば一壜十二圓から十八圓、これが大きいカクテルグラスに八杯ざりさして一杯二圓にも當りませうか、葡萄酒でも一壜五圓前後、十杯ざりさして一グラス五十錢さいふんぢや滅多に捨てられません。食前のカクテール、食後のリキユール、また、なかなか馬鹿にならないわけ、さころが百人もの宴會になるさかういふ呑み殘しの酒が壜に三本から五本にもなるさいふのです。殘つた

遼東ホテル は大衆的なだけあつて大人數の宴會が多いので和洋食を司る地下室の司厨部には毎朝夥しい殘り物が集まります、部員勞務の趣旨から殘つたもので手のつかぬものは殘りのお酒で司厨部員が一杯よろしくやるさいふ寸法これは司厨部員の娯しみの一つなんです、きたなくなつたものは一しよくたにして一ケ月八圓位の約束でさる滿洲人へ豚の餌に拂渡すのですが、希望者が多過ぎてこれには頭痛鉢巻さきゝます。其處へ行くさ

支那 料理は元來大勢でつつき合ふやうになつてゐるし、冷めれば幾度あたゝめても味が變らないから、宴會後これも食堂員が一同で殘物整理を娯しむさいふ、もつさもこれは日本人の宴會だけで滿洲人はどんな殘り物でも自宅へ届けさせる習慣だから滅多に殘り物にありつけないさこれは遼東ホテル北平料理部の話です。

名流 人士の歡迎會や送別會、さては華やかな結婚披露宴や金婚式銀婚式さ未だ春淺いこのごろもあちこちのホテル、目ぼしい料理屋、支那料理店のサロンは快よい樂の音さ美酒美肴を盡しての盛宴に連夜いさまもないやうに見えます、がさて宴果てゝまろうど等の去つてしまつたあさの宴席を覗いてごらんなさい、其處には價高い外國の酒が、灘の

銘酒 が、普通の家庭ではなかなか手に入らないやうな珍味美肴があたら手もつけず或はきたならしく食べ殘されて宛ら落花狼藉の趣きがありませう、このおびたゞしい殘滓金にすれば數百金にも値しやうこの贅澤な殘り物がどう整理されてゐるか? 大連ヤマトホテルさ遼東ホテルについてきいて見ました

ヤマトホテル の洋酒さいへば流石に吟味されてゐるだけシヤ

奥村五百子さん微笑む

愛國婦人會の〝報國運動行進曲〟

九段下の本部の晝さがり、慰問袋を縫ふ手を休めた一同、名流夫人から受付孃まで總動員で圓陣を作る、寒風も物かは……かよわいながらも、風に折れぬ大和島根の、女郎花

アー大和なさめに、アノまかせて出征やれ、お國大磐石ゆるぎやせぬヨーイヨーイよさこナ名づけて「愛國婦人音頭」最近更生の意氣で活躍を始めた愛國婦人會御手製の「報國運動行進曲」だ

あざやかな事、見おろしてゐる奥村五百子刀自の銅像までつり込まれさうだ(寫眞は愛國婦人會の庭で手ぶり面白く愛國音頭)

▲**大連彌生高女** 學藝會並に成績品展覽會を二月四日午前九時より同校にて

各國大同小異の惡魔拂ひの行事

スコットランドのホグマネーやチベットの鬼やらひ

節分の夜 煎り大豆を放つて「福は内鬼は外」と喚びながら豆を打ち撒く追儺の行事は今も各戸に廢らない。豆打が終るさ一家團欒して、その餘り豆を己れの年の數だけ數へて食ふところがある。或は厄拂と稱して豆撒き以前にその炒豆を己れの年數だけとり、更に一粒を加へこれを紙に包み置き豆を撒き了つて後、來合せた厄拂人を選んでこれに與へ、別に金をそへて祝歎を唄はせるところがある。厄拂者はその日にかぎつて出てくる豆藏のごとき者であつて、その祝歎の目出度いものやまた唱へ方の上手なものは澤山人に纏まれる。また、この包んだ豆は錢又はその身につけた物などを添へて四つ角に捨てておいて、人に踏ませて厄を拂ふものもみあたる。

そのほか 地方によつて種々の異風があつて、たさへば大阪では、節分の夜、五六人の人が同じ着付の着物を着て——中には不同の服もあるが、その中の一人が生海鼠に繩をつけて地上をひきめぐる。その餘の人たちは、各々銅鑼鉦太鼓等を鳴らして、うごろもちは内にかさらごさんのおんまひぢや

さ、呼んで自家知音の家にも行つて、お祝ひするのである。うごろもちさは土龍のことであつて、江戸ではむぐらもち、九州長崎邊ではもぐらもちさいふ。さらごさんさは、生海鼠のことであつて、九州ではさうらごさいふ。虎子殿さ書いた本もある。この踊りをやつてもらふさ、その年その家では、土龍が地を動かさぬさいふことで一種のまじなひなのである。京阪あたりでは、節分の夜のみくるが江戸では、文化元年以來、大晦日さ正月六日、同十四日に出るのが常例である。また

京阪では 「やくはらひませう」さいふが、江戸では物の本によるさ「おんやく、おんやくく」さ御字を付けたやうである「厄おさし」さ呼んだのもある。厄拂の辭は音節及び文句さもに三都共通してゐるが、文句は年々變化してゐた。

あゝらめでたいな、めでたいなだんな、住吉御參詣そり橋から西をながむれば七福神の船あそび、中にも夷さ言ふ人は、命長柄の棹をもち、めざすおぎすの糸をつけ、金と銀との針をたれ釣たる鯛が姫小鯛、かほどめでたきおりからに、いかなる惡魔が來るさも、此厄はらひがひさつさらへ、西の海さはおもへども、ちらりが沖へさらり

このほか役者名盡し魚盡しなどいろいろのものがあつて、當時の時代相を窺ふことが出來る。

前記した やうに追儺の式は外國にも見ることが出來る。蘇格蘭の傳説で有名なスコットランドでは、毎年々末になるとホグマネーさ云ふ儀式をやる。これはやはり惡靈退散の式であつて自分の家の周圍をホグマネーと唱へながら三度廻るさいふことである。いま一つは、昔ローマに行はれたレムリアさかいふ祭で、死んだ人を祀る式である。そして死んだ人間の靈は、生きてゐる人に害を與へるさいふので、これを追つぱらふために豆を撒り付けるさいふのだからおもしろいものである。次にこれは何さいふ國であるか詳かでないが、アイロネーフさいふところでは、そこの一番偉い人が市役所にやつてきて、また、普通の人は一軒々々自分の家で、鞭をもつて奴隷を叩いて家の外に追出す風習がある。そしてそのとき日本と同じやうに「飢餓は外、健康と福は内」さ、叫びながら奴隷を叩くさいふことを耳にしてゐる。

いま一つ チベットにこの鬼やらひがあつたさうである。それは乞食を追ひ廻すのである。乞食は動物の毛を被つて、つまり日本の夜叉と同じ意味の扮裝であつて、その年の不幸や病氣やを一切身に引受けたつもりで、お寺から飛び出して來るさ、町の者は太鼓を打ちラッパを吹き、石を投げつけたり、棒で叩いたりして乞食を追ひ廻す。そうするさ乞食は打たれながら人里離れたところまで逃げて行つて、その町から一切姿を消してしまふのである。そこで始めて惡靈が退散したさ云ふのであらう。各國大同小異のこの行事は想ひ合せてみるさまた面白いものである。(松尾義明)

日本棋院(秋季)大手合戰譜(第十一局)

先 三段 中山季晋
初段 松林茂比古

イロハニホトヘチリヌルヲワカヨタレソツ

—【7】—

●一二一リ十一 ○一二二ロ 二
●一二三ヘ 三 ○一二四ヘ 二
●一二五ヘ 四 ○一二六チ 二
●一二七カ十五 ○一二八ワ十五
●一二九ワ十二 ○一三〇カ 八
●一三一ヨ 七 ○一三二カ十四
●一三三カ十六 ○一三四ト 十
●一三五ト十一 ○一三六ホ十八
●一三七ニ十七 ○一三八ニ十九
●一三九イ 六 ○一四〇ロ 六

所要時間累計(白 五時十六分 黒 三時五十一分)(制限時間各七時間)

對局者のことば

黒 白百二十二を打たれたのでついでに百二十三、百二十五を利かせましたが、白百二十六と受けさせれば滿足できるやうなものゝ(チ二)のツケを失つてゐますから大した事はないやうです

黒 百二十七と打つてこの方面を守ることが出來たのはありがたいやうに思つてゐました、白百二十二の手あたりで百三十三にウチコマれ黒(カ十七)白(ヨ十七)とハネ出されても隅は無事では濟みさうもありません

黒 百二十九は單に百三十三にヒイておいてよかつたでせう

白 百三十六、百三十八とワタられるヨセをうつかりしてゐたのは申しわけのない次第です 百四十のツキアタリは先手を取る意味でした、しかし普通に(ロ七)と受けておく方がよかつたかも知れません

戰の跡

◇白百二十二は當に左下隅にウチコムべき機會だつた、對局者の言ふ如く百三十三にウチコミ、黒(カ十七)白(ヨ十七)黒(ヨ十六)白(カ十八)黒(ワ十七)白(タ十七)と手を著けて行けば勿論こゝに問題が起つたのである

◇黒百二十七と先鞭して守る事は出來たが、これにて必ずしも黒優勢とする譯には行かない

◇白百三十六、百三十八は巧みであつた、それにしても往々現れる形であるのに、これを看過したのは黒の不覺である

大連 JQAK

二月三日

▲午前六時卅分 ラヂオ體操第二
▲午前七時 ラヂオ體操第一、各地温度通報
▲午前十一時 相場(錢鈔、特産株式、各地相場、公設市場値段)
▲正午 時報
▲午後零時五分 相場(錢鈔、特産、株式、各地相場)ニュース
▲午後三時三十分 相場(錢鈔、特産、株式、各地相場)ニュース
▲午後五時三十分「獨逸語講座」テキスト第五十七課(九一)大連語學校講師荻榮
▲午後六時 ニュース、職業紹介事項
▲午後六時卅分 子供の時間(一)コドモノシンブン(二)童話、節分童話「鬼の着物」大連童話協會編曲及伴奏山田健二、香川岩雄
▲午後七時(東京より)「節分追儺式實況」——淨土宗大本山増上寺より中繼——導師増上寺法主、大僧正道重信教、外一山大衆一、法讃、喚鐘一、導師昇殿(奏樂)一、誦經一、枡受興(引聲念佛(一)、鳴弦式一、豆撒(導師發聲)
▲午後七時四十分(東京より)「歌澤」唄歌澤寅松、三味線歌澤寅小滿(一)梅が香(二)紀伊の國
▲午後八時(東京より)舞臺劇「三人吉三巴白浪」河竹默阿彌作、場景(一)兩國橋西河岸の場(二)大川端庚申塚の場、配役、和尚吉三(片岡我當)お孃吉三(坂東しうか)お坊吉三(市川松蔦)木屋手代十三郎(坂東龜之助)傳吉娘おさせ(片岡當若)鷺屋又六(片岡門次郎)金貸太郎兵衛(坂東好三郎)厄拂の八五郎(坂東彌好)土左衛門傳吉(澤村源之助)鳴物連中(芳村伊久四郎社中)
▲午後八時三十分 時報(東京より)
▲午後八時卅一分 趣味講座「樂聖ワグナーの樂劇に就て」(第一日)「序説及ラインの黄金」村岡樂堂
▲ニュース、氣象通報

實用的滿洲語 初歩講習會

市内伏見町大連語學校内で開催した第四回滿洲語短期講習會は一月末日を以て終了したので、來る二月七日より更に第五回講習會を開始し、主として初學者、晩學者の爲め極めて速成に實用的滿洲語初歩を學習させるべく期間は三ケ月で、時間は午後七時より九時まで土曜及日曜は休講する由

本社特選 新棋戰(其三)

平手 先四段 △加藤富久 四段 ▲建部和歌夫

【圖は六四銀迄の局面】 加藤氏持駒歩

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香			金		王	銀	桂	香	一
	飛					金	角		二
步			步		步	步	步	步	三
		步	銀	步					四
									五
		步		步		步	飛		六
步	步		步	銀	步			步	七
	角	金							八
香	桂	銀	玉		金		桂	香	九

建部氏持駒歩

△三五歩 ▲七五歩
△同歩 ▲同銀
△五五歩 ▲八六歩
△同歩 ▲同銀
△六六角 ▲七五銀
△同角 ▲八九飛成
累計四十手

土居八段講評 加藤君は三五歩を素早く突き出し敵角を牽制し、そして味方の飛車の横筋を通したのは可なるも、以下敵の七五歩に對し同歩は拙策、五五歩さ突き、敵同歩なら、其の時始めて七五歩と指す所、又五五歩に對し六六歩なら同飛、三七桂にて差支ない、五五歩、七五歩、二六飛、建部君は自角の活用不可能な際に七五銀と犠牲にして飛車を侵入したのは、些か無理な嫌ひあるも、ここ茲に至つては、騎虎の勢ひ已むを得ない。

萩原七段解説 加藤氏の三五歩は、敵の六四銀の早計に乘じたもので、この邊の順は新進棋士の元氣横溢な處が十分に現れてゐる、建部氏の七五歩は、次に六六銀と上られるさ、敵に三五歩と突かれる關係上、位負けとなって面白くないので、七五歩に出たのである、加藤氏の同歩の時同歩なら七五歩と急戰の評の如く五五歩を突くべきで、其の角出があつて良い、建部氏の八六歩は、五五歩を同歩さ取つては、同角と出られて面白くないので、八六歩さ攻め、一氣に飛車を破せんとするのである、加藤氏の六六角は至當で、敵に七七歩と打たれては、同金、八七歩で惡いのである、建部氏の七五銀は八三歩、同銀では八三歩と打たれて惡いので、同飛、八四歩と打たれて飛車の侵入を圖つたのである。

拉濱線の出廻澁滯　根本的原因伏在か

特産品質の改善、共販組合等　總局、對策に乘出す

【奉天】拉濱線の使命は軍事的産業的に又其の結果として對北鐵との政治的使命を持つものであるが既に開通以來數旬を數ふる今日に至るも其の特産出廻期に在るに拘らず全く悲觀材料の加重により各方面より相當憂慮の眼を向けられる樣になつたが例年の出廻りに比し拉濱線に當然持込まるゝ貨物も

北滿 泰安、寧年、安達等に餘り出廻つて居ない狀況よりして又南滿特産物とさるゝものは例年の如く社線國線下九臺、龍潭堡等に出廻るに鑑み何等かの特殊事情あるのではないかと調査が進められて居る、尤も濠江撫松等の特産は匪賊跳梁のため海龍への出廻り非常に少いといふ事情に在るが北滿の不出廻りに比し理由確然たるものである、茲に北滿大豆不出の理由として海外特に歐洲の需要減、銀高、品質の粗惡等が考へられるが粗惡はその需要の減退を來し殆どそれが根本的なものと考へられるので總局地方科では品質改良を目指して先づ優良種の配布を今播種期より

先づ 鐵道沿線に行ふ筈である、農事改革には相當長年月を要し公主嶺農事試驗所では北滿用の改良種が生産出來ないため北滿大豆の徹底的改良には意外に長年月を要するのではないかと見られて居る、その外油類小麥の生産も大いに奬勵する筈で茲一、二年の特産安のために受ける農民の苦痛に對してはその政治的影響も考慮され何等かの對策が要望されて居る、その對策として生れた特産共販組合も小農者には搾取機關としてしか映じて居ない狀勢に對する對策も要請されて居る

奉天の天然痘　百名を突破

入院患者の一大脅威

【奉天】當地の天然痘は後をたゝず患者續出し三十一日は更に六名の新患者が現れ本年に入つて遂に百名を突破し合計百四名の發生數を出してゐるが三十一日の新患者は

宮島町一二白石三代乃（二九）大連聖徳街木田滿子（二六）鈴木春子（二九）淺間町山本壽（一四）琴平町一渡邊吉市（三〇）江の島町二江崎節子（五つ）

で更に三代乃と滿子は醫大醫院精神病舍に入院中の患者又春子も眼科入院患者で醫大醫院の入院患者で天然痘にかゝつたものが十數名の多數に達してゐるが殊に精神病舍の入院患者が天然痘にかゝるなどは極めて珍しい事であり入院患者は多大の脅威を受け病院當局としても大狼狽し之れが防疫と豫防に努力してゐる

更に臨時種痘

【奉天】奉天署で先月施行した臨時種痘では之を受けたものがまだ管内人口の半數にも足りない有樣で依然天然痘患者續出に鑑み一日から左の如く種痘を施行することゝなつたので種痘を受けないものは此際是非共之を受けられたいと

▲二月二、三の兩日午後一時から三時まで奉天署と消防隊の二ケ所で施行
▲同五日午後一時から三時まで彌生小學校
▲同六日春日小學校

金州臨時種痘

【金州】當地警察署では去る十七八の兩日希望者のみに臨時種痘を行つたがその後痘瘡が各地に猛威を振ふので更に管内全部に臨時種痘を行ふ事となり左記日割により各警官派出所で施行すると

一月三十、三十一日八里庄、七頂山、二月一日相川村、清橋子二日三十里堡、馬橋子、三日廣庄、董家溝、十三日劉家店、董家溝

奉天驛の改札　愈々始まる

第一日のナンセンス

【奉天】愈々一日から奉天驛の改札が實施された、通過列車は着車五分前、始發列車は二十分前、輕油動車は發車十分前何れも改札してゐるがいつもならホールからホームへ素通り出來たものが今日は出口に柵を設けられて通ることが出來ないので改札口へ詰寄せ汽車に乘遲れはせぬかと氣をもんでゐるのを驛員が一々説明して追返すが又集まつて來るので整理に苦しんでゐる、そして改札が始まると一度に押寄せるのでこれ亦一列に整列させてゐるが自分の持つてゐる切符で改札を通して呉れるか何うかと心配して驛員に確めてやつと安心するなどのナンセンスを産出す、入場者數は無料のため通常と少しも變らず今日は却て多い位で午前十時半までに發行した入場券數は四百八十二枚で此調子で行くなら今日中には豫想八百枚を遙かに突破して一千枚以上に達するものと思はれる

インチキ商賣人

奉天署斷乎一掃の肚

【奉天】市内千代田通二十九番地細井松太郎氏は東京市生れ彌生町四十番地石部清藏（四〇）を相手取り奉天署に告訴したが探聞するところによれば石部は昨年一月東京より來奉し市内富士町よねや旅館に投宿し大同協會員、皇華會員の名刺をバラまき自分は軍部に自動車を仕入れを仕事してゐるものであると出鱈目をいつて大袈裟なことを宣傳してゐたものであるが結局金に窮し瀋速自動車商會に泣きこみ昨年八月から外交員となつて働いてゐた處その間取引先よりの集金三千圓を横領したものでこの外滿洲の景氣につけこむ内地よりのインチキ商が多數奉天にも入りこみ内地から大資本家が近く來滿するからと詐稱して共同出資を求めその間悲事を働き警察沙汰となつてゐるものが數件に上つてゐる始末で善良な人々に迷惑を及ぼすこと甚だしく奉天署ではかうしたいまはしいインチキ業者を一掃するため徹底的取調べをなし不良分子を驅逐することゝなつた

各地片々

◇營口　港灣に關する權威者直木倫太郎博士は今回新に滿洲國國道局長に就任、營口地方を巡視することゝなり第二技術處長宮博士後藤治水科長、本庄水利科長等を伴ひ二月二日遼河上流を視察し三日午後一時二十分着で來營し遼河に對し詳細な視察を行ふと

◇營口　三井物産株式會社牛莊出張所は二月一日より從來の牛莊を廢し三井物産株式會社營口出張所と改稱した

◇營口　滿洲國の度量衡器は從來より製造修理販賣等自由にして放任せられ其器物極めて粗惡なりしも何等監督の制度は固より不正商人の取締等の事なく放漫の態であつたが今回度量衡法令發布さるる事となれば實地調査の必要を認めこれが調査員を近日中營口に派遣する旨實業部より通達を授けた來營實地調査員は二名で奉天省一齊に調査に着手する筈にて之れが完成の曉には一般の利益は多大なるものなるべしと

◇營口　營口地方事務所にては二日午後六時より武藏野に於て情報關係者を招待し盛宴を張つた

◇鳳凰城　鳳凰城滿鐵煙草試作場では今回朝鮮專賣局製造課長宇治川技師を聘し三十一日午前九時から鳳凰城小學校で葉煙草に關する講習會を開催した、講習科目は滿洲産葉煙草の製造上より見たる價値並に栽培上の改善に就いて聽講者多數頗る盛大であつた

◇營口　太田營口領事、松木營口警察署長の兩氏は三十一日瓦房店地方の初巡視を行ひ一日午後五時十一分着列車で歸營した

◇奉天　桝井司法領事は二日溝幇子に向つたが國際運輸の出張員殺害事件に關する證人取調べのためである

◇金州　小學校長中山武氏は母堂死去のため三十一日夫人帶同郷里三重縣に歸省

懲役一年六ケ月、中谷道三、同一年罰金田村佐假名、同八ケ月罰金二百圓吉村牛次假名、同一年罰金百圓入江清一郎、同八ケ月罰金五十圓田原友太郎で田村入江、田原の三名は何れも三ケ年の執行猶豫を言渡された

金州神社神苑　築造委員會

【金州】三十一日午後一時より民政署に各委員參集先づ圖面につき大體の協議を行ひしも結局實地につき計畫する事となり一同神社境内に至り境界其他諸種の施設、植樹の種類、位置及方法等につき各委員より色々意見あるも容易に纏まらざるため結局大和田、佐多の兩委員に具體的の計畫を一任する事となり植樹の勞力は青年團、郷軍分會員其他一般市民邦人にて奉仕する事にすると

チチハル花街　十二月の稼高

【チチハル】黑龍江省の歡樂鄕、チチハル花街の師走は黄金洪水だつた、官廳會社員のボーナス、土木請負業者等の純益の大半は、紅灯、青い灯に吸ひ込まれる樣に流され、暖かい懷が冷えた時には天主教の除夜の鐘が鳴り渡つてゐた

——チチハル領事館警察署の調査による十二月中の市内カフエー料理店の稼ぎ高は

料理店	九六二一〇圓三二錢
カフエ	五四八七一圓七二錢
合計	一五一〇八一圓九五錢

即ち十五萬圓以上の金がバラ撒かれたわけで、これを軒別にみると料理店では滿壽花の一萬二千七百六十一圓十錢を筆頭に青樓、ハルピン館、一樂、松の家、七福等がつゞき、カフエーでは紅屋の五千五百二十二圓六十錢が依然トップを切り第一ミスチチハル、サロン地球、ロンドン、キング等の順である

情婦殺し　滿洲に高飛

【奉天】大阪府豐野村理髮業杉本重里（二九）は去る十八日嫉妬で情交關係のあつた同村吳服行商毛利善太郎の妻とく（三五）が裏庭に於て用達中突然背後より斬りかゝり慘殺して逃走滿洲方面に逃走したので手配により目下嚴探中である、重里は女もあらうに十七を頭に四人の子供を有するとくを慕ひ常にとくに滿洲まで駈落しやうとすゝめてゐたが十八日とくは之を聞き入れなかつたのでスッカリ變心したと見てこの始末に及んだもので、彼は張昌宗が大分縣別府に亡命中支那軍の指導員として採用方を熱望してゐた事もあると

太田總局次長

【奉天】鐵路總局では目下豫算編成中であるが各路局の申請に對する査定のために太田次長、山領工務處長、龜岡經理處長、木村運輸科長等一行は去る十五日以來沿線出張中であつたが一月末視察一段落を告げ歸奉した、三日更に京圖線視察に向ふ筈である

横領駈落男に　判決

【奉天】二萬圓からの鮮いセメントを喰つて情婦を落籍し京城まで巧に落ちのびたが遂に發見されその後領事館において取調べ中であつた元滿鐵社員中谷道三に係る横領事件は一日午前十時から總領事館法廷において桝井司法領事高田書記生、長川檢事事務取扱立會の下に左記の判決言渡があつた

遼陽片々

▼遼陽縣治安維持委員例會は三十一日午後十時から驛樓上會議室に於て開催、鞍山守備隊、警察署地方事務所、縣公署其の他から關係者出席道路敷設其の他の件に付協議があり十二時散會したと

▼警察署では去る一月十八日關東廳に於ける資源調査會議に於ける注意事項に付三十一日午前十時から工場關係者を招集指示協議する處があつた

▼滿鐵道場の寒稽古納會では青年組の地稽古幼年組の紅白、高點試合を催したが入賞者は堀川（一等）池田（二等）小笹（三等）猿渡（四等）伊藤（五等）で劍道部有勳者は青年組鮎野虎彥、久保重雄、松原寬人、古澤篤次、橋本一男、高木富治、宍手善市、幼年組折戶、中村、鯉貝、金、小笹、嶋田（兄）嶋田（中弟）嶋田（弟）廣田、伊藤、小川、鈴木、池田、藤井、大浦、堀川

▼輸入組合では三十一日午前十時から渡邊帽子店の見本展示會を催した

▼新京鐵路局に榮轉の中村前地方係長は三十一日はさて赴任、平原新任地方係長は同日はさて家族攜行着任した

財布を盗む

【奉天】市内青葉町二十一番地森口俊夫の不在中洋服の下にあつた現金四十七圓入りの二つの折財布が紛失してゐるのを二十六日發見屆出により奉天署では犯人搜査中三十日同町居住無職梁浦某町（二三）を取押へたが彼は係官の取調に對し犯行を自白すると共にその金で西塔朝鮮料理店快樂に登樓遊興に消費した事をも自白した

女の部屋（82）

林芙美子作　一木弴畫

花束（一）

初霜がおりたらしく、窓の硝子が白く乳色に曇つて、その裏からうらゝかな朝陽が、黄ばんだ暖かさうな光で照り初めてゐた。

中田は何時になく清々しい氣持で眠りから覺めた。

昨夜は何時もに比べて、局部の疼痛も遙かに輕くなり、約二週間不眠の爲めに頭の隅に鉛のやうに重くたまつてゐた眠氣もやうやくいくらか拭ひ取られて、頭もずつと輕くなつてゐた。

パッチリ開いた眼で、先づ室内を見廻した。笠間夫人の心づくしから、室も東南向きのこぢんまりとした清潔な特別室に、看護婦も三人程交替でつけられてゐた。

中田は自分が大手術を受けて瀕死になるかならないかの境を彷徨してゐる大怪我人である事も忘れて此の病室を恰も何處かの高級旅館に語らせる方の女であつたので、そのまゝ默つてベッドの傍に立つてゐた。中田も病狀を説明するには餘りに患部の痛みが激しいので時々顔を顰めながら默つてゐた。

看護婦が花束を花瓶に挿した。

中田はその大輪の薔薇を見てゐる中に心のこりが少し宛されて行くやうに思つて、ほつとした。

——お痛いでせう？

——ちつとも眠れないので閉口です。

「それから歸る迄約十分程、君江は酸つぱい時にするやうな表情でいた〳〵しげに中田のげつそり削げた頬、血色のなくなつた頬を見てゐた。そして來た時と同じやうに音もなく歸つて行つた。

後には薔薇の香ばかりが馥郁と香つて殘つた。間もなく夕闇が總てをのんで了つた。

中田は電燈をつけやうとした看護婦を遮つて、少しこのまゝにしておいてくれるやうに賴んだ。

それから色んなとりとめのない事を小一時間も考へてゐたらうか彼は夕食もとらずにそのまゝ昏々と深い眠りに陷入つて一氣に今朝まで眠り通したのだつた。

看護婦が取つてくれた熱いタオルで顔を拭いた。二の腕から首の邊りにかけては看護婦が自分の手でやつてくれた。

彼は何となく歎び出し度い程快活になつてゐた。

——すぐ珈琲御取りになります？

中田は點頭いた。看護婦が向ふの端の硝子窓を半分程引きあけると、雀の衾しい囀り聲が急に室一杯に流れ込んで來た。遠くを走る電車の音が山越しに津浪を聞くやうに荘重に響いて來た。

その時、輕いノックの音がした。

の一室かのやうに一瞬間思つた。

床頭臺の上には青磁の花瓶が大輪の薔薇の花束を抱へて立つてゐた。花束の根本は緋色の絹のリボンで結んであつた。

——君江さんが持つて來てくれたのだつけな。

別に何と云ふ事もなしにふと君江が訪問してくれた時の事を憶ひ出して微笑した。

それは昨日の夕方であつた。西に廻りすぎた夕陽が病院の建物に沿つて長く斜に尾を引いて、窓硝子の枠の片側丈を明るく照らしてゐる頃であつた。白衣の看護婦の後から、職業にも似合はずすらりとした令嬢趣味の裕姿の君江が、夕暮の氣分に相應しい淑な笑みをたへて薔薇の花束を胸にかゝへて、入つて來た。

——如何？

——えゝ、ありがたう。

君江は口に語らせずに目や表情

御盛典を前に泰然と御讀書
匆忙裡の執政を伺ふ

【新京特電二日發】曠古の御盛典を目睫の間に迎へんとする執政府の近状——二日午前十時執政府を訪問すると、内務廳を始め府内は極度の多忙である、しかしその繁忙の中にも喜びの色が溢れ、どことなく春めいてゐる、滿洲國最初の御即位大典であるため狹隘なる執政府とはいへ出來るだけの善美を盡すこととし、御即位式場たる勤民殿は全室内を改善新裝し、正方の中廊側に階上も階下も新に廊下を増設して式場室内の混雜を緩和し、室内も廊下も新しい燃えるやうな絨毯を敷き詰め一切の調度品は全部新裝されたものである。

◇……◇

第一代の新帝として輝かしい御登極の式を擧げさせられる執政は本年二十九歳、又國母陛下として婦道の範を垂れさせられる同夫人は二十七歳、若きこの元首夫妻は御揃ひでいとも健やかで、殊に執政は最近讀書に餘念なく常に極て研究的に御勉強の樣子である、又毎日の新聞は漢字紙を始め邦字紙も殘らず御讀みになり、議會の模樣から諸國の事情に至るまで驚く程精通されて居るやうで、側近者を始め府内の人達はその御賢明に驚歎してゐる

北鐵赤大根が苦肉の一策か
理事會・管理局に怪自動車
用心棒は平氣の平左

【ハルビン特電二日發】一日午後十一時三十分頃何者とも判明せぬ數名の暴漢が自動車で北鐵理事會前に乘附け、鋼鐵性の器物を理事會玄關の扉目がけて投げつけ扉をメチヤ〜に破壞して逃去つたが、これと殆ど同時刻に管理局前にも一臺の自動車現れ同樣の手段で扉を破壞し姿を消した事件があつた

北鐵問題を中心に蘇滿關係の緊張してる折柄重大な外交問題化するやも知れぬ虞があるが、警察當局の取調に依れば奇怪にも右器物は蘇聯鐵道に於てのみ使用する器材である事及び理事會、管理局玄關内に徹宵警戒してゐる赤系從業員（用心棒）は犯人追跡もなさず、又犯人捜査上何等緊急處置をも講じてゐないことが明らかとなり、赤系分子の陰謀か又は讓渡交渉を妨害せんとする一部從業員の暴行でないかと見られてゐる

中園を俎上に ＝二日目午後の公判＝
勝美の陳述を中園強く覆へす
滿廷固唾を呑んで肅然

公判二日目、裁きのメスはいよ〜冴えて犯罪の全貌は紙をメクルやうにジリ〜明るみにさらされる、殊に事件の立役者中園秀雄の出現は火に油を注いだやうに興味の炎をかきたてる、しかも中園は蒼白な顏の身を以てその事實審理に當つて、飽まで勝美夫人の供述を覆へす數々の新事實を述べ立て、まさに公判廷は勝美夫人の紅唇を突いて出た事實を眞とするか或ひは中園が杜切れ〜に述べ立てる供述を眞とするか、こゝもと審理は漸次その最高潮に向ひつゝある「勝美が正しい」「中園が本當だらう」の兩論に分れ興味は興味を呼んで行く、公判最中、中園が腦貧血を起しその安心立命の覺悟に動搖を來したかと見られるものがあるかと思へばネクタイのプレゼントを勝美が中園へ贈つた事に端を發しこの邪戀が生み出されたと云ふ勝美にとつて不利な事實が現れるなど、第三日に移された公判を前にし中園のその後の陳述如何は關係者は勿論一般市民の注目の的となつてゐる、しかもこうした空氣によりいよ〜兒玉博士の證人喚問は免れぬところであるとの説高く、三日目は更に波紋を大きく描く事であらうと見られる

呼び方變更

四ケ月前、高野の山から大連まで護送される途中中園は例の芝居氣たつぷりの情夫氣取りで、勝美夫人の事を新聞記者や警察官に至極無造作に「あれ」「あれ」と心易そうに話してゐたが、今日法廷では流石に「あれ」とも云へず「勝美さん」「勝美さん」とさん附けで呼んでゐたが如何にも中園の體々しい態度は一種のくすぐつたい氣持を廷内に漂はした

手足を慄はせて核心をそらす
僞名を否定しながら"逢初めの一くさり"

夕刊つゞき＝情痴劇の裏面に躍つた謎の女、ピアノ教師佐藤三輪子との關係につき中園秀雄はしどろもどろの句調で陳述を續けた——

昭和六年春私の下宿先で佐藤と知合ひました、その當時彼女は夫御幡某との間にギャップが生じ別居生活をしてゐたので毎日私の下宿先へ遊びに來ました、ラブレターもよく來ました、それには「淋しい誰か愛して呉れない」といふ意味が綴つてありました、私の愛を求めてゐるやうでした、しかし肉體的な交渉はありません、それは子供を置き去りにしたり、若い男を歩いてゐるのを度々見たりしたので、だらしのない女だと思つたからです

と三輪子をコキ下し裁判長から「當時被告に内縁の妻があつたか」と問はれ「東京で四年間同棲してゐた中靜秋子（二五）といふのがありましたが所在は知りません」と答へて傍聽席を笑はせる、更に奇しき縁に結ばれた藤森勝美と知り合ふ動機の審理に移る、この點は前日公判廷で勝美の口から「中園が勝美の初戀の人川崎秀雄に化け込んで誘惑した」と述べてをり裁判長も情痴劇の核心を成す主要點として重大視し訊問の舌鋒はえぐるが如く尖鋭化してゆく

"ユーモア警官"

何分傍聽者中には法院が初めてなんて連中がその大部分、物見遊山にでも來た氣で實にのんびりしたもの、第一日目で懲りた藤原巡査開廷に先だつて「靜肅にして下さい、口で見るんぢやないから口を開けてゐないで下さい、辨當を食べてもよいが梅干の種子なんか下に落さないやうに」とまるで嚙んで含める樣……

裁判長・被告が勝美を知つた動機は？

中園・七年四月十四日三輪子から手紙がありました、それには聖德街一丁目兒玉方へ住居を移したといふ通知でした、それで私は兒玉家に三輪子を訪れて行つたことがありますが、その時勝美さんの顏を一寸見ました、數日後三輪子が訪れて來た時「勝美さんは貴男を見たことのある人だ」と云つてゐたといふことを話しました、その次三輪子に會つた時「貴男は鎌倉にゐたことはないか」とか或は「姓名が僞つてゐるのではないか」などと尋ねるので私は鎌倉にゐたこともあり姓名も僞つてゐると申しました、すると三輪子は「勝美さんに一度會つて上げなさい精神的に苦しんでゐる人ですよ」といつて電話番號まで知らせました、それで私は翌日かに勝美さんの家へ電話をかけそのうち一度會ふ約束をしましたが、川崎秀雄といつた覺えはありません

裁判長・被告はほんとうに姓名を替へてゐるのか

中園・替へてなりません

この時裁判長はしどろもどろの陳述をする中園に對し冷靜になれと注意を與へる、裁判長からその後の模樣を問はれ、連鎖街ドミノ喫茶店の一件を述べ

中園・それから間もなく勝美さんから手紙が來た、それには「偶然貴郎と大連で會ふといふことは意外である、佐藤さんから私が精神的に苦んでゐると聞かれたことでせう」と書いてありました、これに對し私は電話で貴女が想像してゐる人と私とは違ふといふことを申しました

と述べ、當時三輪子から「淋しい死んで終ひたい」といふラブレターが來てゐたと三角戀愛をぶちまけ、いよ〜中園が「勝美の初戀の男に化けた覺えはない」と事件の核心を巧に言ひ遁れんとあがく彼の手と足の慄へはます〜ひどくなつてゆく——

自分を罪の陷穽へ追ひ込んだ中園の陳述を片言だも聞き逃すまいと被告席から耳をそばだてゝゐた勝美は、自分とは正反對の陳述をして行く中園の後姿へ冷たい眼差しを送り、時々深い溜息をつく

面白くない

中園に云はすと、女と男は汽車と船で戀愛競爭をやつた、事實だとすればドッコイドッコイの代物らしい、中園が大汽の船に乘込んで神戸、大阪、名古屋、武豐と轉々とすれば勝美の方でも船と陸とで大體打合せてその寄泊地々々でグッショリ濡れたわけで、この邊の話を聽いてゐるとそこにどんな理由があらうとなまじい教養のある女だけに勝美といふ女も面白くない

想ふ人でなくてもよいから來い
◇裁判長と際どいやり取り◇

中園・前に勝美さんが私を見たことのある人だといつてゐたといふことを佐藤から聞き、私も或は東京にゐるころいろ〜の人とお茶を飲みに行つたので、そのうちの誰かではないか知らん位に思つてゐました、ドミノで會つた直後、電氣遊園下で再び會ふ約束をし、私が先に來て待つてゐると間もなく勝美さんが來ましたが一目見て、未知の人だと判つたので會ふ必要はないと思ひ私は違ふといふ意味で手を振りつゝ馬車に乘つて立ち去りました、すると勝美さんは自動車で追跡して來ました、その時私は餘り慌てゝ現金七百圓と重要書類とを馬車の上から落して終つたのです、翌日勝美さんから電話が掛り「貴男が落した書類は私が拾つてゐます」といふことであつたので私自身が貰ひにゆくのは變だと思ひ、山縣通カフエーサッポロの女給に賴んで取りにゆきました、その時三越のマーク入りのネクタイが一本添へてありました、その後私は航海に出て七月上旬歸航すると同時に勝美さんへ電話をかけました、すると勝美さんは「私の思つてゐる人と違つてゐてもいゝから會ひませう」といふことであつたのでその翌日二人で老虎灘へ行きました

この時裁判長は「被告はその時勝美に顏を見られないやうにしてゐたといふではないか」と鋭く突き込むと「そんなことはありません」と平然と答へ海岸邊における痴態繪卷を法廷にくり擴げた

中園・話をしてゐるうちに勝美さんが私にもたれかゝつて來たので私ももたれました、そして私が情交を迫ると彼女は「私が人妻であることを知つてゐるか」といつて拒みました……結局翌日小平島で會つて凡てを許すことを約束しその日は何事もなく別れました

この間裁判長と被告との間に勝美の陳述にある「初戀の男に化けた」といふ點につき、際どい言葉のやり取りがあつた

勝美夫人の部（昨紙つゞき）
光る嫉みの刃
どうにもならぬ勝美の心境
中園の虐待は續く

戀の勝利者を氣取る中園秀雄は惡魔的な戀愛性慾者でしかなかつた彼の野獸の如き虐待振りは勝美の陳述によつて法廷に暴露され、俄然勝美に對する同情の私語が傍聽席のあちこちで湧いた、以下勝美の陳述——

昨年三月三日歐洲航路から歸つた中園は丁度當時夫が内地へ歸つた留守中であつたので私の自宅に屢々泊りました、私は四月八日青柳と二人で湯崗子溫泉へゆく約束がしてあつたので中園の眼を脱れて溫泉へ出掛けたのです、その時の旅費は中園から貰つた百圓を當てました、九日歸連すると中園は怒氣を含んで私に詰め寄り「誰と一緒に行つた」と難詰し毆る蹴るの暴行を加へ殺しかねない樣子でした、當時私は姙娠中でありましたがお腹の子供を青柳のものだと疑ひ出し、それからといふものは一層虐待が募る一方でした、そのころ「友の會」の用件を帶び青柳とハルビンに行く計畫でしたが、中園の邪魔で行けませんでした、それがかりでなく同月十三日夫は内地から歸連したのに中園は自分の下宿から私をはなしません（當時美濃町關リユウ方）そのうへ青柳に對する嫉妬心は狂的に近いものと變つてゆきました、湯崗子に行つて二人の行動を調べたり、青柳の名を騙り電話で私の氣持を探つたり、暴行を加へますので遂に私は青柳との關係を「強姦」されたと嘘をいつてしまつたのです、遺書のうちにゴリラの如き青柳から金錢を捲き上げられたとありますがそれは中園が勝手に考へ出したことです、しかしそれでも毎日虐められ四月三日中園と甘井子に遊びに行つた時などは殺されるかと思ふほど責められ、終ひには海中へ身投げしようかと思つた位でした、こんな調子でお腹の子供を青柳のものだと疑つて虐めぬくので私は姙娠六ケ月の證明を取つて中園に見せ、私と青柳との關係は二月であるから受胎の月から數へて誤解が解けるでせうと説服したが駄目でした、遂に中園は私がかうなつたのは佐藤三輪子の爲めだと憤激し青柳と三輪子さんの殺害を企てるに至りました、が中園は私に向ひ青柳との肉體關係を夫博士に告白せよと強請しました、それは結局夫がそれを聞けば私を離別する、そうすれば私と結婚出來ると考へた結果ではなかつたかと思ひますが私はさう〜夫に告白致しませんでした

殺害を決意
裁判長の審理鋭し

裁判長は佐藤、青柳兩名殺害決意に就き急所々々を突いて審理を進める

裁判長・中園は兩名を殺害するから被告に贊成せよといつたかどうか

勝美・私は別に贊成も不贊成もしませんでした、それは殺すといふことは出來ぬと思つたから…

裁判長・昨年六月頃殺害の目的で中園が野球用バットと短刀を被告に預け被告の家の戸棚に隱してあつたといふがどうか

勝美・相違ありません

この時裁判長は證據物件としてバットと短刀を示すと「確にこれでせう」と答へる

裁判長・先づ佐藤を被告宅に呼び出し、佐藤から青柳を呼び出させ、二人揃つたところを殺害する計畫であつたといふが眞實か

勝美・それはどうか知りませんが三輪子さんを呼び出せば、お前の疑ひは晴れるからといひ、そばにゐて私に三輪子さんへ呼出しの電話をかけさしました、また青柳も電話で呼び寄せよと申しますので、私は青柳に對し電話で金の請求をして喧嘩してゐるが如き態度を中園に見せたこともあります

裁判長・兩名共に出て來なかつたからいゝもの、來れば殺されるとは思はなかつたか

勝美・來て話をすれば判ることで殺害するには至らないと思ひました、私はむしろ中園の芝居位に感じてゐました

裁判長・被告は當時三輪子と仲が惡かつたか

勝美・別段惡いといふ程ではありませんでしたが一月以來會りませんでした、それに青柳とぐるになり私を苦しめてゐると思ひ心よくは感じてゐませんでした

裁判長・被告は中園が二人を殺害しても仕方がないとは思はなかつたか

と鋭く急所を突かれ勝美は暫くためらつてゐたが「左樣に思つてゐました」と答へた、この點は勝美に對する情狀の點に大なる影響があるので記錄に留められる、それより勝美は中園から責められるが辛さに六月十八日カルモチン自殺を企てた事實を申述べ「夫博士は深く理由を訊しませんでした」と簡單に答へる

その時何んと云つたか」と問はれ「深く理由を訊しませんでした」と簡單に答へる

勝美の自殺未遂があつて中園は青柳、三輪子殺害が兼ねる恐れバットと短刀を博士宅から引揚げて自分の下宿に持ち歸つた點及七月末中園の下宿先で中絶しの虐待に遭ひ、遂に妊娠七ケ月で流產の餘儀なきに至つた顛末を包み隱さず陳述したが子供のことになると勝美はホロ〜と涙を流し聲はむせんで出ない、當時中園から虐待される爲め勝美には生傷の絶えたことがなくこれに對し彼女は「主人はお岩の顏のやうだ」と申したのみで深く立ち入つて聞いては呉れませんでした、私は中園の疑ひを晴らしてから別れる氣持ちでした」と終始中園に取つて不利な言葉ばかりで一般の注目を惹いた、これに引かへ中園は反逆的な勝美の態度に顏面神經をヒリ〜震はせ、苦り切つたまゝぢつと聞き耳を立てゝゐた

墮胎か流產か一問一答

眞實のところ誰の子供か判らない種を宿した勝美に對し濃厚な墮胎の嫌疑を掛けられてゐたがこの點に就き裁判長との一問一答——

裁判長・人工流產ではなかつたか

勝美・違ひます、全く自然です

裁判長・中園に蹴られた時の傷が原因で流產したとは思はないか

勝美・さうとも思はれません

裁判長・中園と相談して流產したのではないか、また夫博士はどんな感じを抱いてゐたか

勝美・相談したといふことは絶對ありません、夫は姙娠にも流產にも無關心で冷淡な態度を執つてゐました、そして中園が好きなら結婚しろとまで云ひましたが其後夫の心境に變化を來しお前がどんな事をしてゐるか知らないが自分も自覺したから家庭の妻となつて呉れと申しその翌日中園との關係を率直に尋ねました

と陳述し多角的な戀愛關係に身を投じた惱みを告白してゐる

凄慘・兇行場面
血腥き思ひ出惱まし

審理はすら〜と進みいよ〜凄慘極まる青柳殺害の血腥い兇行場面の審理に移つた、昨年九月五日中園は勝美に對し「今夜こそ青柳の奴をやつつけるのだ」と兇行の決意を示すと勝美は「仕損ずれば大變だらうから殺すなら確かりやらねばいかね」と中園を勵ましたといふ言葉のやり取りがあつたことを申立て、凄慘な兇行當夜の模樣を次の如く陳述した

五日夜九時ごろ私達夫婦は床に就く爲め二階に上つてから約二十分位たち、表戸を激しく叩く者があるので私が階下へ降りて行くと主人も續いて降りました、戸を開けるや血相を變へた中園と青柳が入つて來ました「二階へ上れッ」と中園が促し私達四人は二階に上り私が着物を着替へてゐる間に中園は戸棚からウイスキーを出して呷りました、それから中園は兒玉に青柳を紹介し「最前のことを此處で云つて見ろ」と中園が青柳に詰め寄りましたが、すると青柳は私との關係を暴露し、更に私と野菜係やさか呉服屋とか關係があるといふ醜聞をさこまで放言するのです、これには兒玉も憤慨し「それでも君は滿鐵社員かッ」と叫んで青柳を毆打すると續いて中園が立ち上り、二人は組み合ふやうにして部屋を出て摑み合ひを始め兒玉もその後を追ひました、私は恐ろしさの餘り二階にジッとしてゐるとやがて階下で子供が泣き叫ぶやうに「キャアー」といふ叫び聲がし、あとは物凄いうめき聲と變りました、同時に「もう總てが破滅だッ」といふ兒玉の聲が聞え、續いて中園が「大丈夫か？」と兒玉に聞いてゐるやうでした、暫くして中園は「惡黨の制裁だッ」と叫びつゝ二人が血のしたゝる短刀を提げて二階へ上つて來ました、この時兒玉は短刀を白い布の上に乘せ「よく斬れるなア」と讚めました、すると、中園は「この責任は僕が負ふ、兒玉さんには負はせませんよ」と申しました

と當時の兒玉博士の奇怪な言動を法廷にさらけ出し新らしい驚異を事件の上に投じたかの觀があり法官席も急に緊張の色がみなぎつた、裁判長はこの點を明かにすべく

裁判長・夫は中園の兇行を制止したと思ふか

勝美・制止したと思ひます

裁判長・兒玉は短氣であるといふから嫉妬的に殺害を手傳つたのではないか

勝美・私はさうは信じてなりません

裁判長・殺された青柳に對する被告の感想は

勝美・當然の制裁とは思つてゐません、あの場合私が制止しなかつたのは私も一緒に殺されさうであつたからです

裁判長・兇行後兒玉が被告に向ひ女中馬場ウメ子の監視を命じたといふが？

勝美・左樣であります

裁判長・被告が中園を今少し巧みに操縱すれば例へば中園と一緒に駆け落ちするといつた調子…すれば青柳は殺されずに濟んだのではなからうか、これを放任してゐたといはれても仕方あるまい

勝美・まさかあの夜殺すとは思ひませんでしたから……

かくて審理を中止し午後四時五十分閉廷、第二日目公判は二日午前九時から勝美にかゝる死體遺棄、證據湮滅の事實審理に移る【寫眞は勝美夫人】

喪の凱旋
二十六勇士が四日の香港で

非常時滿洲警備の尊き犠牲者として護國の人柱となつた故陸軍歩兵少佐江本敏武氏以下二十六勇士の遺骨は四日午前十時出帆の香港丸で離連、悲しき喪の凱旋をなす事となつた

棺桶は動く
青山を追はれて
故郷山東へ運搬さる

パンを求め、安住の地を探し西に東に移住する渡り鳥支那民族の「骨を埋める墳墓の地」は何處——一日午後七時龍口へ向け出帆する榮興號の船艙深く不氣味に積みあげられた二十數箇の棺——水上警察高等係の探偵眼がピカリと光つて時を移さず呼び出された男は——ハルビン裕長棧主任原旭東——二十五枚の死體診斷書と税關の護照を前に、實は斯樣シカ〜と語り出した話はかうだ

支那三千年の傳統に織り込まれた怪しげな宗教的習慣は、死者を棺に詰めたまゝ易者の占により吉の方向をトして野であらうと山であらうと處かまはず安置し、「人間到處有青山」と澄ましたものであるが、この牢固たる傳統も遂に寄せ來る文化の波には勝てぬと見え、最近素晴らしい勢で發展して行く滿洲國は新京及ハルビン近郊の鐵道用地及び工場建築豫定地は決定したもの、とぐろを卷く約五千箇の棺に惱まされ、衞生的立場からもこれ等の癌を除去せざるべからずとの結論に達し、斷然惡傳統を破つて「棺を原籍地に持ち歸るべし」と嚴命を下したものである、前記二十數個の棺はその犠牲者のトップを切つて故山に歸るもので、原の語るところによると花咲く春の終るまでこの不氣味な行列が續くとのことである

成功裡に改札店開き
一日二千四百枚

【奉天特電二日發】一日から實施した奉天驛改札制度は最初のことゝて多少間誤ついたが、それでも入場者と改札者の間に何等の紛爭も發生せず了つたことは成功で、この日の入場券發行が驛豫定の八百枚を三倍も突破して二千四百枚も出たのには係員も流石に大奉天であると驚いてゐる、今までのホーム入場者はこの數字から見れば約四千名内外の者が一日の中に入場してゐたと見られる、なほ收札の約三百枚も未收であつたことは入場者の公共機關に對する訓練がないことを物語つてゐるが、無料入場券を使用して無賃乘車の薩摩守を極めこんで發見されお目玉を受けたしぶとい男のあつたこともこの日のナンセンスである

罪の重荷を負うて ……中央 中園……

證人喚問されん

中園秀雄の審理は第二日目午後より行はれたが途中同人が腦貧血を起し一時休憩するなど相當の波瀾を見せ、午後四時四十五分第二日目公判を打切つた、尚三日目は午前九時過ぎより引つゞき中園秀雄に對する事實審理が行はれる、三日目の審理の結果辯護士側より滿鮮お驗こと横山キミ、邪戀仲介業佐藤三輪子、下女馬場ウメを證人としての喚問申請があるのは殆ど決定的と見られてゐる

私に話した通り
中園の陳述について
長辯護士語る

中園秀雄の陳述ぶりはあゝした恐ろしい犯罪を行つた男にも似あはず、殊に日頃の大言壯語もどこへやらすこぶるアイマイなもので、その話のつじつまの合はぬ點や、見えすいた嘘言を吐く點で「もつと男らしくしろ」の聲が高いが、二日目中園秀雄の事實審理が一まづ終るや、同人の辯護人長辯護士は語る

とかくあゝした教育のないものはあゝですが、大體鹿兒島の男で言葉がハッキリしないところがあるのです、自分からも奧々も語尾をハッキリしろ、そして本當の事を陳述する樣に公判前よく注意したのでしたが今日の供述は大體私に云つたところと同じです、とにかく腦貧血を起した時もくれ〜も正直にしてお上に手數をかけるなと云ふ事を注意しておきました

十餘萬圓の拐帶露人
上海→奉天へ

【奉天特電二日發】上海某銀行から「十餘萬圓を拐帶逃走し奉天へ潜入した形跡あり手配乞ふ」との上海領事からの通牒に依り奉天領事館警察署では奉天署と協力し市内各ホテルを虱潰しに調査の結果市内千代田通オリエンタルホテルに投宿中の露西亞人カーピンを容疑者として拘引取調中であるが、カーピンは二年前奉天に在住せることあり上海ザリヤ紙に勤務中の者で、上海からは特に人目を忍び奉山線で來奉したことも彼の犯行に疑惑の影を投げてゐる

兒玉博士邸の殺人事件は公判の開廷で再び世間の好奇な記憶を呼び起したが、この事件において脇役ながら色々な意味で重要な役割を演じた御噂みわ子こと佐藤みわ子は現在大連の一隅で自由な空氣を吸つて居るとはいへ、法の裁き以上の社會的制裁はその後ヒシ〜と彼女の身邊に重壓を加へつゝある

◇……

即ちあの事件が表面化して以來世間の人々は勝美夫人を此處までに至らしめたみわ子に對し限りない憎惡の念を抱いたものであつたが夫と別れたその後のみわ子には流石に生活の糧を與へるものもなく生活に困り果た彼女は先ごろも滿鐵音樂會に身の振り方を色々相談して來たものである。

◇……

勿論音樂會では體よくこの依賴を斷つたが、世間の蔑視の中に強制的に自己の生活を再批判すべく運命づけられた彼女の心境の變化、乃至は今後の生活の立直しこそ兒玉事件餘聞として注目すべきものがあらう【寫眞はみわ子】

けふのスポーツ

◇氷上…▼全日本氷上競技選手權大會第一日目 午前十時より安東鴨綠江リンクで

二十六殉教者祝賀　二月五日（月曜日）に於ける長崎二十六聖人殉教者の祝日は來る二月四日（日曜日）午前九時伏見臺カトリック教會において祝賀さる

南蠻彩船（31）

鈴木氏亨作　布施長春畫

石川五右衛門（一）

「あつ!」

遍路姿の南蠻堂坤齋は、いま猶院の大鳥神社の鳥居の下をくゞらうとして、ふと怪しい者が鳥居の頂の笠木の上に、腰掛けてゐるのを發見した。

彼は、今宵助左衛門の利き腕を神變無想の幻術で押へつけ、小平次の危急を救つて、助左衛門に一泡吹かしてやつたことに、復讐の快感を味ひながら、ひとり會心の笑を頰邊に浮べて、百舌鳥村の森林の中の隱宅に歸つたのであつた。

そこで、彼は不思議な人間を見た。

それは、河内國石川村の五右衛門であつた。

彼は、五右衛門が、甲賀流の忍術に依つて亞禮奈を翻弄し、月遁の術に依つて姿を隱し、堺の町に遁れたのを見ると、これたゞごとならずと、彼の跡を追跡して來たのであつた。

仲秋にも比すべき夏の月は、堺の町の甍を夢のやうに照らして、社の縁の下あたりからは、名もなき蟲の聲さへ聞えてゐるのだつた。

しかも、この人無き社の境内に彼ばかりは人間の影を認めて、その人間の正體をつかまうと努力してゐるのである。

それは、通り一遍の人間の肉眼では、見ることの出來ないものだつた。

と云ふのは、事實そこには、花崗石の大鳥居の影が、版畫のやうに月の下に印づけられてゐるだけで、外には、犬の子一匹さへ見ることが出來なかつたからである。

にもかゝわらず、坤齋は、鳥居の上に怪しい人影ありと見て、番犬のやうに看守してゐるのである。

「畜生、憎な奴が下にゐやがるな!」

鳥居の頂では肉眼には、映らぬ人間が、いまいましさうに呟いて、坤齋の[illegible]運動を憤慨してゐるらしかつた。

「ようし、彼奴を驚してやれ!」

鳥居の上の人間が、かう腑を決めた時だつた。

小猫位の鼠が砂滑りでもするやうに、スルスルと鳥居の柱を下りてくるのを見た。

「ワッハッハ……。まだ若い。若い。小僧ッ子!」

坤齋の口からは、投げつけたやうな嘲笑が飛んだ。

鳥居の上の人間は、その聲に恥てか、粟立つやうな冷汗に、びつしより肌を濡してゐた。

「彼奴め、この五右衛門よりも、術が上と見えるわい。癪だ。もう一度驚かしてやれ!」

彼は、かう獨語すると、鳥居の上から身を踊らして、風のやうに石疊の上に飛び下りた。

落ちたとたんに、遍路姿の老人を存分嘲笑つてやらうと、見廻したが、彼はのけぞるやうな驚きを感じて、ドシンと尻餅をついて了つた。

そこには、老人の姿などは、とうの昔に消えうせて、靜かな月影だけが、靜物のやうに落ちてゐるのであつた。

「またやられたな!」

と、思つて、鳥居の下を探さうとすると、

「ワッハッハ、、、、」

と後から起る爆笑の聲。

「あつ!」

と、振り返つて見たが、そこには、やつぱり何者の姿も見えない。

「まだ若い、五右衛門!人間の財寶は盗むことが出來ても、天下を偸むことが出來まいぞ」

五右衛門と云はれた男は、襟元に白刄を浴せられたやうな冷氣をぞくりと感じた。

滿日柳壇

火　編輯局選

大連 志賀 乃公
飯進上紙屑の火に暖まり

錦州 田中はじめ
赤い火を塞つて寒さ身に沁ます

大連 大島 敏子
からかはれ娘火のやうに紅くなり

大連 關 健治
火遊びはマダムの御氣に召す遊び
火の樣にリングに燃える凄い意氣

大連 尾道九十八
盛衰はたつた一ッの火の力
老虎灘街道所見
火葬場を眞中にして街は伸び

鞍山 鈴木 可笑
防火壁見せて保險に額を增し
火取り虫三べん目には暗に落ち

撫順 齋藤十念坊
道連れの糸口にした煙草の火

奉天 古田部間一
自動車の戸迷ひをした宵の小火

大石橋 常見 岳陽
一本のマッチも貰い討匪行
火の粉が飛んで對岸慌て出し

大連 神谷 靜波
火遊びも何んのそのかは勝美ズム
大寒に入つて消防隊めまぐるし

撫順 石井 矢車
祝ひ事火鉢の灰を入れかへる
電燈を二た股にして妻火慰斗
もう歸る積りの一本火をつける

山海關 松尾小女郎
團欒の宵を炬燵の火へ集め
離縁狀へ怨み晴しの放火罪

同 小黑三原女
孀电は火の氣なくさも我慢され

同 吉田 甲子
消火器と並んで金庫無事な夜
勉强の息子へ母の火がはいり
丸火鉢居眠る肱の置きどころ

同 田中 糸子
煙草の火貰つてそれから話し合ひ

赤峰 若月死通坊
火の車今年も續く裏長屋
皇軍の威武遼源の火の如く
灯がともり又懐ましい夜がせまり
物騒な病火の手が愉快だと

大連 三谷 一伸
ルンペンに火の氣が欲しい寒い床
鉢合せ目から火を出す漫畫出來

周水子 田中 一蛙
嚴寒の火の子貴重に扱はれ
柳腰火事場の力別に持ち

小平島 梶山 房江
干物へ火事場のやうな俄か雨
留守宅の隱居火鉢の番であり

鞍山 鈴木 可鳴
それだけの望み死に來る火取虫

○佳　吟　十句

撫順 石井 矢車
火鉢まで採手で何か詫びて來る

四平街 坂口フミ子
火が見えて數を數へる揚げ花火

朝鮮 木内 鶯栖
喜びの灯は新婚の部屋を洩れ

開原 古市 贅六
放火犯悔悟の頬も今は落ち

遼陽 天滿千代子
長火鉢待つ夜を猫へ告げてゐる

山海關 松尾小女郎
消火器の塵へ無難の年が過ぎ

撫順 松浦 蝶古
火の用心母は護りのやうに貼り

大連 平松 磊笑
爪に火をともす生計へ藥代

山海關 吉田 甲子
股火する癖うつかりと他所の家

大連 久川美名都
火の番の音へ心中促がされ

○秀　逸（賞）

撫順彌生町三丁目三 齊藤十念坊
一生を親が詫びてる大火傷

○選　者　吟
火に足を向けて屋外十三度
お腑まで冷え切つてゐる冬の火事

滿日柳壇課題

▽題「鏡」「友情」「湯」編輯局選
▽締切 二月十日（各題五句、別紙の事）
▽祝 滿洲帝國の祝吟高橋月南選
▽締切 二月十日一人一句（三月一日發表）
▽宛 本社編輯局川柳係宛
▽賞 佳吟に薄賞を呈す

新刊紹介

婦人倶樂部（二月號）皇太子殿下御誕生奉祝畫報を始め、お孫さん達と和やかに無邪氣な名士の一日、輝かしき新婚家庭等をグラビヤ版に收めた美麗な畫報あり家政、醫事、育兒、裁縫等を網羅した記事あり、女の友情（吉屋信子）明麗花（菊池寛）月よりの使者（久米正雄）千姫（三上於菟吉）奇蹟の處女（大下宇陀兒）の興味ある小說陣等別冊附錄實用結婚學（菊池寛）流行手藝全集、漫畫繪本の三册を添ふ（五〇錢、東京大日本雄辯會講談社）